

磯子区民意識調査 報告書

平成 19 年 12 月

磯子区

目次

I	調査の概要	1
II	質問と回答	11
III	調査結果の要約	25
IV	調査の分析	33
1	磯子区内における生活環境について	35
1	自治体サービスの満足度	35
2	自治体サービスの重要度	46
3	自治体サービスへのニーズ	57
2	地域活動について	61
1	参加している地域活動	61
2	地域活動に参加する目的	64
3	地域活動に参加していない理由	66
4	問題が解決した場合に参加したい地域活動	68
3	自治会・町内会との関わりについて	70
1	自治会・町内会への参加状況	70
4	近隣にお住まいの方々とのつきあいについて	73
1	近所づきあいの程度	73
2	近所づきあいについて思うこと	76
5	区政情報の入手について	80
1	「広報よこはま磯子区版」の閲読状況	80
2	「広報よこはま磯子区版」の有用度	82
3	「広報よこはま磯子区版」が役に立たない理由	84
4	「磯子区ホームページ」の認知度	85
5	「磯子区ホームページ」の有用度	87
6	「磯子区ホームページ」が役に立たない理由	88

6	広聴事業について	89
1	区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験	89
2	意見・要望・提案の伝達手段	91
3	意見・要望・提案を伝達した結果の満足度	92
4	意見・要望・提案を伝達した結果に不満な理由	93
5	意見・要望・提案を伝えない理由	94
7	区政の現状について	96
1	磯子区制80周年記念事業の認知度	96
2	地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度	98
8	区政全般への満足度について	101
1	区政全般への満足度	101
2	定住意向（再掲）	105
9	自由意見	108

I 調査の概要

1. 調査の目的

区民の日常生活に関わる様々な事項について調査することで、区民のニーズや意向を的確に把握し、今後の区政運営の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の内容

- (1) 磯子区内における生活環境について
- (2) 地域活動について
- (3) 自治会・町内会との関わりについて
- (4) 近隣にお住まいの方々とのつきあいについて
- (5) 区政情報の入手について
- (6) 広聴事業について
- (7) 区政の現状について
- (8) 区政全般への満足度について

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 磯子区全域
- (2) 調査対象 磯子区に居住する20歳以上の男女個人
- (3) 標本抽出 住民基本台帳及び外国人登録原票からの無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収・はがき督促を1回）
- (5) 調査時期 平成19年8月21日（調査票発送）～9月5日

4. 回収結果

標本数	有効回収数	有効回収率
3,500件	1,806件	51.6%

5. 集計と分析にあたって

- (1) n は比率算出の基数であり (Number of Cases の略)、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答はすべて百分率 (%) で表し、小数点第 2 位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は 100%を前後する場合がある。
- (3) 複数回答を求める質問の回答については、すべての数値を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、その誤差は次の公式によって算出される。

$$b = 2 \sqrt{\frac{X - n}{X - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 X = 母集団数
 n = 回収数
 P = 回答率

今回の調査の実際の質問にあてはめてみると、「磯子区役所の取り組み全体についてのあなたの満足度はどのくらいですか。」という質問に答えた人は1,806人であり、そのうち、5.2%の人が「満足している」と答えた。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$2 \sqrt{\frac{163,187 - 1,806}{163,187 - 1} \times \frac{0.052(1 - 0.052)}{1,806}} \doteq 0.010$$

従って、±1.0%が誤差の範囲となる。つまり、この回答に対する磯子区民の真の値は4.2%～6.2%の間と考えられる。

- (5) 図表及び文章中、選択肢を一部省略している場合がある。
- (6) 図表中の「-」は該当者なしを表す。

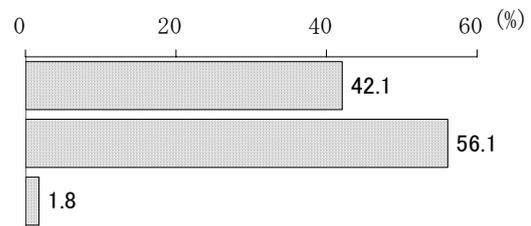
各回答比率における標本誤差早見表

回答の比率(p) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,806	±1.4%	±1.9%	±2.2%	±2.3%	±2.4%
1,605	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.4%	±2.5%
1,006	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
762	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
677	±2.3%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±3.8%
462	±2.8%	±3.7%	±4.3%	±4.6%	±4.7%

6. 調査回答者の属性

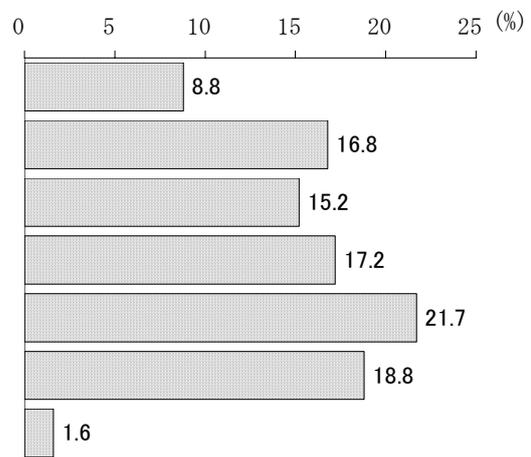
(1) 性別

	基数	構成比
男性	760	42.1%
女性	1,013	56.1%
無回答	33	1.8%
合計	1,806	100.0%

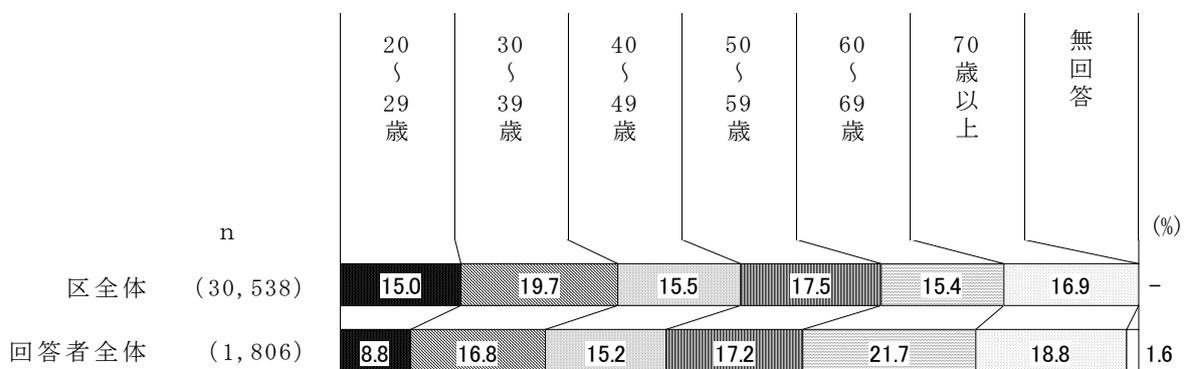


(2) 年齢

	基数	構成比
20～29 歳	159	8.8%
30～39 歳	303	16.8%
40～49 歳	274	15.2%
50～59 歳	311	17.2%
60～69 歳	391	21.7%
70 歳以上	339	18.8%
無回答	29	1.6%
合計	1,806	100.0%

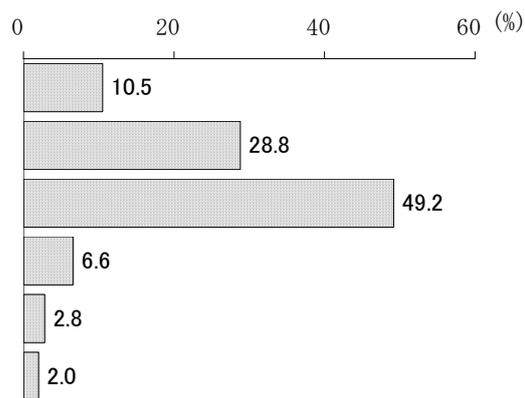


【参考：年齢】



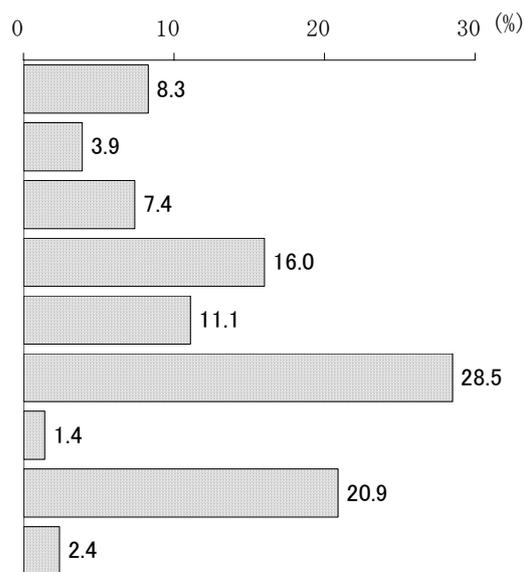
(3) 家族構成

	基数	構成比
ひとり暮らし	190	10.5%
夫婦のみ	521	28.8%
親と子（2世代）	889	49.2%
祖父母と親と子（3世代）	119	6.6%
その他	51	2.8%
無回答	36	2.0%
合計	1,806	100.0%



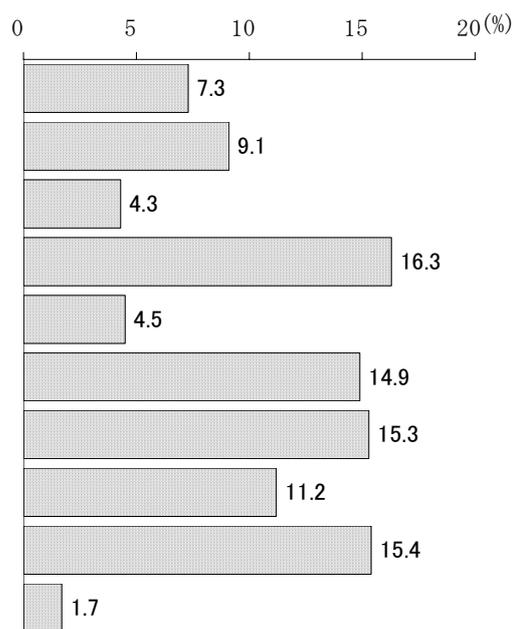
(4) 職業

	基数	構成比
自営業・自由業	150	8.3%
管理職	71	3.9%
専門技術職	134	7.4%
事務職	289	16.0%
生産・販売等の職業	200	11.1%
主婦・主夫	514	28.5%
学生	26	1.4%
無職	378	20.9%
無回答	44	2.4%
合計	1,806	100.0%

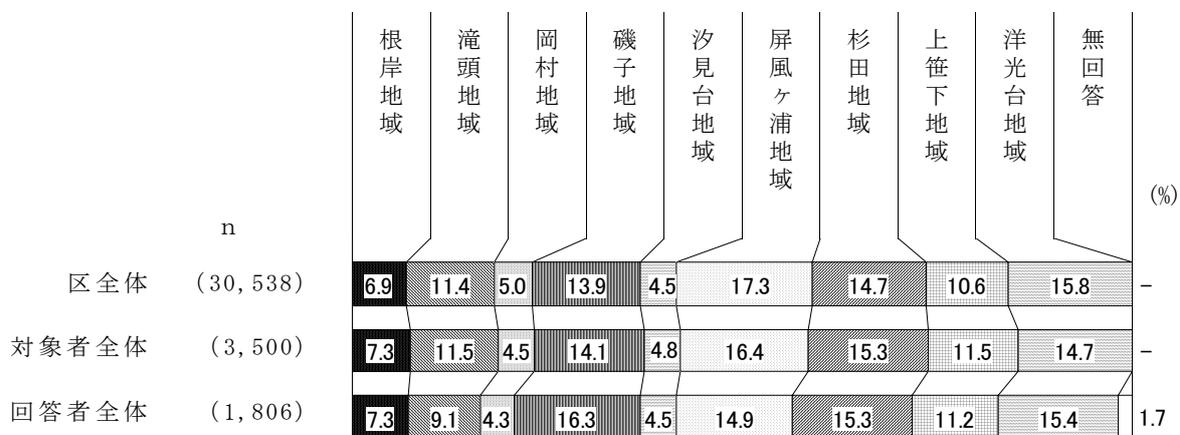


(5) 居住地域

	基数	構成比
根岸地域	131	7.3%
滝頭地域	164	9.1%
岡村地域	77	4.3%
磯子地域	294	16.3%
汐見台地域	82	4.5%
屏風ヶ浦地域	269	14.9%
杉田地域	277	15.3%
上笹下地域	203	11.2%
洋光台地域	278	15.4%
無回答	31	1.7%
合計	1,806	100.0%

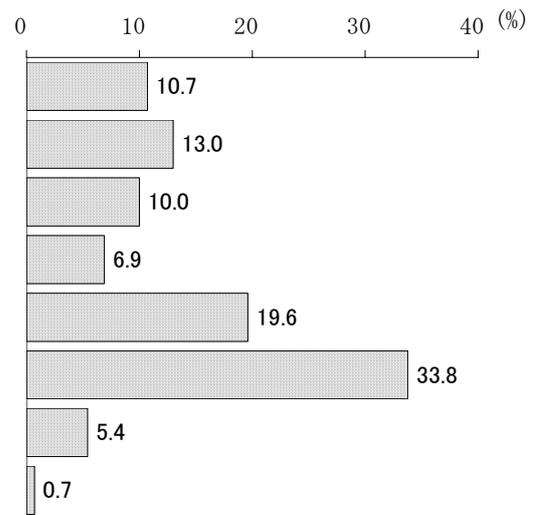


【参考：居住地域】



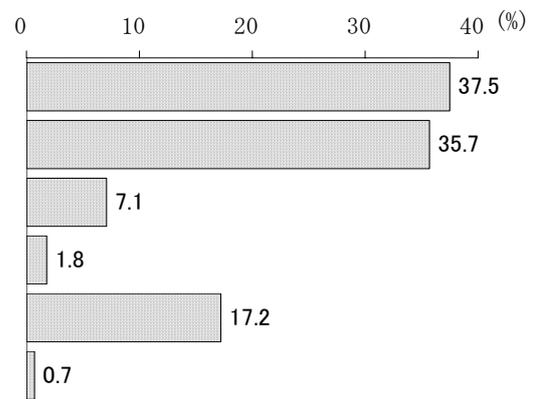
(6) 居住年数

	基数	構成比
3年以内	194	10.7%
4～9年	234	13.0%
10～14年	180	10.0%
15～19年	124	6.9%
20～29年	354	19.6%
30～59年	610	33.8%
60年間以上	97	5.4%
無回答	13	0.7%
合計	1,806	100.0%



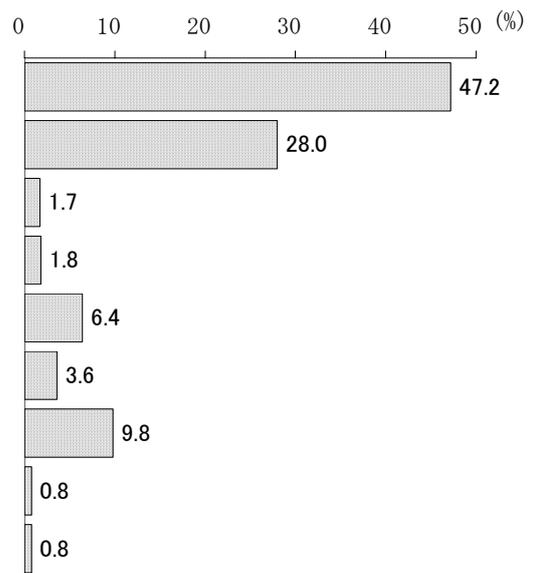
(7) 定住意向

	基数	構成比
住み続ける	677	37.5%
たぶん住み続ける	644	35.7%
たぶん移転する	129	7.1%
移転する	33	1.8%
わからない	311	17.2%
無回答	12	0.7%
合計	1,806	100.0%



(8) 住居形態

	基数	構成比
持家（一戸建て）	852	47.2%
持家（マンション・共同住宅）	505	28.0%
借家（一戸建て）	31	1.7%
借家（県営・市営の共同住宅）	32	1.8%
借家（都市再生機構・公社の共同住宅）	115	6.4%
社宅、公務員住宅	65	3.6%
民間アパート、民間賃貸マンション	177	9.8%
その他	14	0.8%
無回答	15	0.8%
合計	1,806	100.0%



II 質問と回答

平成19年度 磯子区民意識調査

区民の皆様には、平素から区政にご理解・ご協力をいただき、お礼申し上げます。

今年、磯子区は区制80周年を迎えます。この記念すべき年を契機に、誰もがよりいきいきと幸せに暮らし、「これからも住み続けたい」と実感できるまちづくりをさらに進めてまいりたいと考えております。

区民の皆様が、日ごろ、磯子区内の生活環境や行政サービスについてどのように感じられているのかをお伺いするために、今回アンケート調査を実施することといたしました。得られました結果を基礎資料とし、区民の皆様にご期待されるサービスの本質を見極めた区政運営に努めてまいります。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

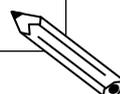
磯子区長 守屋 直

ご記入にあたって

この調査は、磯子区内にお住まいの20歳以上の区民の方々の中から3,500人の方を無作為に選ばせていただき、お願いしております。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人のお考えが公表されることは一切ありません。

1. 封筒の宛先にお名前を書かせていただいた方ご本人がお答えください。
2. ご回答は、行政サービスの実際の利用の有無に関わらず、すべての質問について住民として費用を負担している立場からお答えください。
3. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
4. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
5. 質問によって、○をつける数を「1つ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えくださるようお願いいたします。
6. 「その他」にあてはまる場合は、()内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入がおわりましたら…



ご記入いただいた調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて**9月5日(水)まで**にご投函ください(切手は貼る必要ありません)。

なお、調査の内容、記入の仕方などについて、わからないことがございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

■ お問い合わせ先 磯子区役所 区政推進課 企画調整係 奥村・松井
☎ 045(750)2331
FAX 045(750)2533
Email is-kusei@city.yokohama.jp

- ◎ 各選択肢に続く数値は回答結果(%)をあらわしている。
- ◎ 比率算出の基数(n)はことわりのない限り、1,806 である。

まず、磯子区内における生活環境についてお伺いします。

問1 あなたは、自治体が行っている次のサービスや業務について、どの程度満足していますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

問2 また、あなたにとってこれらのサービスや業務は、今後行政が充実させるべきものとしてどの程度重要ですか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

記入例：「バス・地下鉄などの便」に「満足」していて、「バス・地下鉄の便」が「重要」と思う場合。

項目 (サービスや業務の種類)	問1 満足しているか (〇は1つ)					問2 重要だと思うか (〇は1つ)				
	満足	どちらかといえは満足	どちらともいえない	どちらかといえは不満	不満	重要	どちらかといえは重要	どちらともいえない	どちらかといえは重要でない	重要でない
1. バス・地下鉄などの便	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5

項目 (サービスや業務の種類)	問1 満足しているか (〇は1つ)						問2 重要だと思うか (〇は1つ)					
	満足	どちらかといえは満足	どちらともいえない	どちらかといえは不満	不満	無回答	重要	どちらかといえは重要	どちらともいえない	どちらかといえは重要でない	重要でない	無回答
1. バス・地下鉄などの便	17.8	33.5	20.5	17.6	7.6	3.1	60.7	26.4	6.1	0.9	0.3	5.5
2. 幹線道路や高速道路の整備	14.9	37.7	31.9	7.5	3.0	5.0	38.4	31.0	17.7	3.6	2.0	7.2
3. 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	11.4	29.1	22.3	23.8	9.6	3.9	56.9	27.7	7.6	0.7	0.6	6.5
4. 違法駐車防止や交通安全対策	5.4	17.9	29.6	28.8	14.3	3.8	53.8	27.4	10.7	1.2	0.6	6.4
5. 駐車場の整備	4.9	15.6	40.4	22.4	12.5	4.2	38.6	30.7	20.0	2.8	0.8	7.0
6. 最寄り駅周辺の整備	10.5	29.8	26.6	19.6	9.7	3.8	42.7	34.4	13.9	1.7	0.7	6.5
7. 横浜の都心、副都心の整備	10.0	31.2	39.6	11.4	3.0	4.9	30.5	28.6	27.5	4.3	1.9	7.3
8. 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	7.9	24.0	53.2	6.8	2.8	5.3	19.4	26.2	37.7	6.8	2.8	7.0
9. 観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興	7.1	22.6	58.0	5.3	2.0	5.0	17.4	24.3	39.9	8.0	3.6	6.8
10. 中小企業振興や雇用の創出	2.4	7.0	59.2	17.7	7.8	6.0	32.5	28.1	29.3	1.5	0.9	7.6
11. 商店街の振興	3.1	12.6	41.2	27.4	11.2	4.5	32.7	34.9	22.5	2.6	0.8	6.5
12. 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	2.3	6.9	61.8	17.0	6.3	5.7	18.0	24.0	41.6	6.1	2.8	7.5
13. 公園・動物園の整備	8.5	30.8	35.7	15.2	5.5	4.3	27.6	36.0	25.5	3.0	0.9	7.0
14. 緑の保全と緑化の推進	7.3	26.4	34.8	18.6	8.4	4.5	47.2	32.3	12.2	1.1	0.5	6.7
15. 河川改修と水辺環境の整備	5.1	18.1	48.2	16.8	7.2	4.7	37.0	32.4	21.4	1.8	0.4	7.0
16. 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	5.3	19.9	42.6	19.0	8.9	4.3	51.3	28.6	13.1	0.4	0.3	6.2

項目 (サービスや業務の種類)	問1 満足しているか (〇は1つ)						問2 重要だと思うか (〇は1つ)					
	満足	どちらかといえは満足	どちらともいえない	どちらかといえは不満	不満	無回答	重要	どちらかといえは重要	どちらともいえない	どちらかといえは重要でない	重要でない	無回答
17. 良質な水の確保や安定供給	20.6	42.2	23.2	8.1	2.4	3.4	71.4	17.4	4.7	0.2	0.2	6.1
18. 環境汚染や騒音などへの対策	3.9	18.2	40.6	22.5	10.6	4.1	60.6	26.0	6.5	0.3	0.1	6.4
19. ごみの分別収集、リサイクル	15.0	40.0	21.5	13.6	6.3	3.6	60.2	25.8	6.4	0.7	0.2	6.7
20. ごみの不法投棄対策や街の美化	4.3	18.8	33.3	26.9	12.8	3.8	60.4	26.2	6.8	0.4	0.1	6.1
21. 地震などの災害対策	2.4	11.2	56.5	17.4	8.4	4.0	68.9	15.4	8.8	0.3	0.1	6.5
22. 防犯対策	3.6	15.2	49.7	18.1	9.4	4.0	67.5	17.9	7.5	0.4	0.2	6.5
23. 食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.5	15.3	60.5	11.1	4.9	4.7	50.7	25.6	16.0	0.7	0.3	6.7
24. 訪問販売などに関する消費生活相談	3.0	10.9	67.4	9.5	4.3	4.9	27.4	29.7	32.7	2.2	0.9	7.0
25. 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	3.3	12.7	55.6	14.6	8.1	5.6	45.9	26.4	19.4	0.7	0.4	7.3
26. 学校教育の充実	3.6	13.5	54.7	15.1	7.5	5.6	53.5	20.2	17.9	0.8	0.3	7.2
27. 青少年の健全育成	2.3	9.6	57.2	17.3	7.9	5.7	50.4	23.3	17.8	0.6	0.7	7.3
28. 病院や救急医療など地域医療	5.7	22.7	33.2	21.5	12.8	4.0	70.5	17.5	4.9	0.4	0.2	6.5
29. 高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)	8.1	28.2	30.8	19.2	9.7	4.0	58.2	26.5	7.5	0.9	0.4	6.5
30. 高齢者福祉	4.0	15.3	52.7	14.7	9.4	4.0	53.3	25.5	13.4	1.0	0.4	6.4
31. 障がい者福祉	3.6	11.2	61.7	11.4	7.3	4.7	49.4	25.1	17.3	0.8	0.7	6.7
32. 経済的に困っている人の保護	2.5	5.8	69.5	10.2	6.9	5.1	32.2	26.4	30.4	2.9	1.5	6.7
33. 公的住宅の整備や住宅取得への融資	2.2	8.6	66.2	10.9	5.9	6.3	22.7	25.6	38.3	4.4	1.3	7.7
34. 仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	4.4	19.3	60.0	9.9	1.7	4.7	12.5	27.6	42.3	8.1	2.8	6.7
35. 地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	6.1	22.9	54.1	9.8	1.8	5.3	15.3	30.4	38.5	6.3	2.3	7.1
36. 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興	8.0	28.8	46.7	9.6	2.4	4.5	18.1	34.1	34.7	5.3	1.5	6.4
37. スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	5.8	20.4	54.8	11.2	2.8	5.0	14.7	30.5	40.5	5.8	1.7	6.9
38. 国際交流・協力の推進	2.7	11.5	74.1	4.2	1.5	6.1	12.5	21.4	49.3	6.0	3.1	7.6
39. 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	3.9	17.4	63.9	7.6	1.8	5.3	17.1	31.8	38.6	3.8	1.3	7.4
40. 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	3.1	9.5	74.3	6.1	1.4	5.6	15.9	23.2	46.8	4.5	2.2	7.5
41. 身近な住民窓口サービス	7.8	24.2	49.6	10.9	3.5	4.1	31.9	32.2	27.4	1.3	0.9	6.4

地域活動についてお伺いします。

問3 あなたは現在、どのような地域活動に参加していますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

1. 自治会・町内会の活動	32.1
2. 子ども会、婦人会、老人クラブの活動	9.7
3. 高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動	4.7
4. 身近な道路などの清掃活動	10.3
5. 文化、芸術、スポーツへの参加や振興	11.6
6. 祭や盆踊り、運動会などのイベント	14.8
7. 資源回収やごみの分別、リサイクル活動	27.7
8. 公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全	3.2
9. 在日外国人や海外との交流・支援などの活動	0.9
10. PTA活動	6.1
11. 保育ボランティアなどの子育て支援	1.6
12. 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	6.9
13. 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	1.3
14. その他の社会奉仕などボランティア活動（ ）	3.8
15. 参加していない	42.2
無回答	2.1

▶(問3で「1」～「14」と答えた方に)

問3-1 あなたが、地域活動に参加する目的は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

n=1,006

1. 自分の住む地域に役立ちたいから	50.3	4. やりがいを求めて	9.7
2. 自分のためになるから	33.1	5. 付き合いで	16.6
3. 住民の義務だから	53.8	6. その他（ ）	5.8
		無回答	2.6

◀(問3で「15」と答えた方に)

問3-2 あなたが地域活動に参加していない理由は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

n= 762

1. 仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから	56.7
2. 活動場所や日時の都合が合う地域活動がないから	13.1
3. 一緒に活動する仲間がないから	15.5
4. 交通費等の経費がかかるから、又は報酬がでないから	1.7
5. 自分の興味に合う地域活動や、趣味や特技を活かせる地域活動がないから	11.9
6. どのような地域活動があるかわからないから	31.0
7. その他（ ）	16.1
8. 地域活動には興味がないから	8.7
無回答	2.5

問3-2-1 にお答えください

(問3-2で「1」～「7」と答えた方に)

問3-2-1 あなたは、今後問3-2の問題が解決した場合にはどのような地域活動に参加してみたいですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

n= 677

1. 自治会・町内会の活動	11.5
2. 子ども会、婦人会、老人クラブの活動	5.5
3. 高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動	14.6
4. 身近な道路などの清掃活動	10.3
5. 文化、芸術、スポーツへの参加や振興	30.7
6. 祭や盆踊り、運動会などのイベント	10.3
7. 資源回収やごみの分別、リサイクル活動	7.5
8. 公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺や緑地(里山など)などの自然環境の保全	16.5
9. 在日外国人や海外との交流・支援などの活動	14.2
10. P T A活動	0.4
11. 保育ボランティアなどの子育て支援	7.7
12. 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	9.3
13. 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	4.3
14. その他の社会奉仕などボランティア活動()	8.4
無回答	23.6

自治会・町内会との関わりについてお伺いします。

問4 あなたは、自治会・町内会とどのように関わっていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 委員・役員として積極的にかかわっている	8.7
2. 自治会・町内会の行う行事に参加している	26.1
3. 自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない	43.6
4. 自治会・町内会には加入していない	12.2
5. その他()	4.2
無回答	5.1

近隣にお住まいの方々とのつきあいについてお伺いします。

問5 あなたは、近隣にお住まいの方々と普段どのようなつきあい方をしていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 顔もよく知らない	8.6
2. 道で会えばあいさつをする	52.2
3. たまに立ち話をする	23.6
4. 買い物に一緒に行ったり、気の合った人と親しくしている	6.8
5. 困ったとき、相談したり助け合ったりする	6.9
無回答	1.8

問6 あなたは、近隣にお住まいの方々とのつきあいをどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. お互いに干渉しあわず、サバサバして暮らしやすい	64.5
2. 人間関係が薄く、皆がバラバラな感じで寂しい	18.9
3. 濃密な人間関係があって、暮らしやすい	11.2
4. 人間関係が濃密過ぎて、わずらわしい	1.4
無回答	4.0

区政情報の入手についてお伺いします。

磯子区役所では、身近な地域の情報や区役所・福祉保健センターからのお知らせ、区民の皆様のご活動などについて、様々な方法で区民の皆様にお知らせしています。そのうち、次のものについてお答えください。

問7 あなたは、「広報よこはま磯子区版」を読んでいますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. よく読んでいる	34.1	3. あまり読んでいない	13.3
2. 時々読んでいる	41.5	4. まったく読んでいない	9.6
		無回答	1.5

(問7で「1」「2」「3」と回答した方に)

問7-1 「広報よこはま磯子区版」は、あなたが区政情報を入手するのに役立っていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

n=1,605

1. 役に立っている	28.8	3. どちらともいえない	16.3
2. 少し役に立っている	47.0	4. あまり役に立っていない	5.9
		5. 役に立っていない	1.2
		無回答	0.7

(問7-1で「3」「4」「5」と回答した方に) ←

問7-1-1 「広報よこはま磯子区版」が区政情報の入手に役に立っていない、または、どちらともいえないと思う理由は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)

n= 377

1. 知りたい情報が載っていないから	50.7	4. 情報が探しにくいから	19.9
2. 情報の説明が不十分であるから	11.9	5. 最新の情報が載っていないから	4.5
3. 情報の内容が理解しにくいから	16.2	6. その他()	15.1
		無回答	3.4

(全員に)

問8 あなたは、「磯子区ホームページ」(<http://www.city.yokohama.jp/me/isogo/>)を知っていますか、また利用していますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. よく利用している	0.8	4. 見たことはないが、あることは知っている	35.2
2. 時々利用している	5.9	5. あることを知らない	36.2
3. あまり利用しないが見たことはある	18.9	無回答	3.0

問8-1 にお答えください

(問8で「1」「2」「3」と回答した方に)

問8-1 「磯子区ホームページ」は、あなたが区政情報入手するのに役立っていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

n= 462

1. 役に立っている	16.9	3. どちらともいえない	23.2
2. 少し役に立っている	46.5	4. あまり役に立っていない	7.6
		5. 役に立っていない	2.6
		無回答	3.2

(問8-1で「3」「4」「5」と回答した方に)

問8-1-1 あなたが、「磯子区ホームページ」が区政情報の入手に役に立っていない、または、どちらともいえないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n= 154

1. 知りたい情報が載っていないから	38.3	4. 情報が探しにくいから	29.9
2. 情報の説明が不十分であるから	12.3	5. 最新の情報が載っていないから	7.8
3. 情報の内容が理解しにくいから	11.7	6. その他 ()	18.8
		無回答	4.5

広聴事業についてお伺いします。

横浜市では、一番身近な行政機関である区役所が窓口となって、区民の皆様の声を受け止め、ニーズを把握し、区民の皆様とともに課題を解決する「広聴事業」を実施しています。

問9 あなたは、区役所や市役所にあなたの意見・要望・提案を伝えたことがありますか。

(〇は1つ)

1. ある	8.9	2. ない	88.9
		無回答	2.2

(問9で「1」と回答した方に)

問9-3へお進みください

問9-1 どのような手段で伝えましたか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

(〇はいくつでも)

n= 161

1. 直接窓口へ出向いて	51.6	4. インターネットの専用フォームで	7.5
2. 手紙で	13.0	5. その他 ()	5.6
3. 電話で	34.2	無回答	3.1

(問9で「1」と回答した方に)

問9-2 意見・要望・提案を伝えた結果、区役所や市役所の対応に満足しましたか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

n= 161

1. 満足している	14.9	3. どちらともいえない	12.4
2. どちらかといえば満足している	23.0	4. どちらかといえば不満である	17.4
		5. 不満である	23.6
		無回答	8.7

問9-2-1にお進みください

(問9-2で「3」「4」「5」と回答した方に)

問9-2-1 不満を感じた、または、どちらともいえない理由は何ですか。あてはまるものをいくつかでもお選びください。(〇はいくつでも)

n= 86

1. 返事が遅かったから	5.8	4. 改善されなかったから	48.8
2. 返事がなかったから	11.6	5. その他()	26.7
3. 返事が否定的だったから	27.9	無回答	5.8

(問9で「2」と回答した方に)

問9-3 あなたが意見・要望・提案を伝えない理由は何ですか。あてはまるものをいくつかでもお選びください。(〇はいくつでも)

n=1, 605

1. 意見・要望・提案を伝える方法がわからないから	23.1
2. 個人が意見・要望・提案を伝えても変わらないから	24.5
3. 意見・要望・提案を伝えるための時間がないから	12.8
4. 区政・市政に関心がないから	6.3
5. 意見・要望・提案がないから	37.9
6. その他()	5.4
無回答	9.6

区政の現状についてお伺いします。

問10 磯子区は平成19年10月1日に80周年を迎え、磯子区制80周年記念事業実行委員会や区民が主体となった様々な記念事業の実施が予定されています。あなたは、この事業を知っていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 内容もよく理解している	1.3	3. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない	38.8
2. だいたいの内容は知っている	8.7	4. 知らない	47.1
		無回答	4.1

問11 磯子区では、誰もが幸せに暮らせるまちを目指し、地域の福祉や保健を中心とする生活課題に区民が主体的に取り組む計画「スイッチ ON 磯子」を平成18年3月に策定し、推進しています。あなたは、この計画を知っていますか、また活動に参加していますか。あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 内容も知っており、活動に参加したことがある	1.4
2. 内容も知っているが、活動に参加したことはない	4.0
3. 名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	23.4
4. 知らない	67.4
無回答	3.7

区政全般への満足度についてお伺いします。

問12 磯子区役所の取り組み全体についてのあなたの満足度はどのくらいですか。別紙の「平成18年度 磯子区区政運営方針 期末振り返り」を参考に、あてはまるものを1つだけお選びください。(〇は1つ)

1. 満足している	5.2	4. どちらかといえば不満である	7.0
2. どちらかといえば満足している	28.8	5. 不満である	2.7
3. どちらともいえない	50.9	無回答	5.4

最後に、あなたご自身のことについてお伺いします。

F1 あなたの性別をお選びください。 (〇は1つ)

1. 男性	42.1	2. 女性	56.1	無回答	1.8
-------	------	-------	------	-----	-----

F2 あなたの年齢をお選びください。 (〇は1つ)

1. 20～29歳	8.8	3. 40～49歳	15.2	5. 60～69歳	21.7
2. 30～39歳	16.8	4. 50～59歳	17.2	6. 70歳以上	18.8
				無回答	1.6

F3 あなたのご家族（同居されている方）の構成をお選びください。 (〇は1つ)

1. ひとり暮らし	10.5	3. 親と子（2世代）	49.2	5. その他（ ）	2.8
2. 夫婦のみ	28.8	4. 祖父母と親と子 （3世代）	6.6	無回答	2.0

F4 あなたのご職業をお選びください。 (〇は1つ)

1. 自営業・自由業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者）	8.3
2. 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上）	3.9
3. 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など）	7.4
4. 事務職（事務職、営業職、教員など）	16.0
5. 生産・販売等の職業（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など）	11.1
6. 主婦・主夫	28.5
7. 学生	1.4
8. 無職	20.9
無回答	2.4

F5 あなたの住んでいる地域をお選びください。 (〇は1つ)

1. 根岸地域（上町、馬場町、坂下町、下町、原町、西町、東町、鳳町）	7.3
2. 滝頭地域（丸山一・二丁目、滝頭一～三丁目、岡村一～三丁目、中浜町）	9.1
3. 岡村地域（岡村四、五、六、八丁目）	4.3
4. 磯子地域（磯子一～八丁目、磯子台、広地町、久木町、岡村七丁目、新磯子町）	16.3
5. 汐見台地域（汐見台1～3丁目）	4.5
6. 屏風ヶ浦地域（森一～六丁目、中原一～四丁目、新中原町、森が丘一・二丁目、新森町）	14.9
7. 杉田地域（杉田一～九丁目、杉田坪呑、新杉田町）	15.3
8. 上笹下地域（田中一・二丁目、栗木一～三丁目、上中里町、峰町、氷取沢町）	11.2
9. 洋光台地域（洋光台一～六丁目）	15.4
無回答	1.7

F6 あなたは磯子区にどのくらいの期間お住まいですか。お選びください。 (○は1つ)

1. 3年以内	10.7	4. 15~19年	6.9	7. 60年間以上	5.4
2. 4~9年	13.0	5. 20~29年	19.6	無回答	0.7
3. 10~14年	10.0	6. 30~59年	33.8		

F7 あなたはこれからもずっと磯子区に住み続けたいですか。 (○は1つ)

1. 住み続ける	37.5	3. たぶん移転する	7.1	5. わからない	17.2
2. たぶん住み続ける	35.7	4. 移転する	1.8	無回答	0.7

F8 あなたのお住まいの形態をお選びください。 (○は1つ)

1. 持家（一戸建て）	47.2	5. 借家（都市再生機構（旧公団）・公社の 共同住宅）	6.4
2. 持家（マンション・共同住宅）	28.0	6. 社宅、公務員住宅	3.6
3. 借家（一戸建て）	1.7	7. 民間アパート、民間賃貸マンション	9.8
4. 借家（県営・市営の共同住宅）	1.8	8. その他（ ）	0.8
		無回答	0.8

区政へのご意見・ご提案

最後に、区政運営についてご意見・ご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

※返信用封筒には、お名前やご住所は記入しないでください。

区民が主役の自立した地域社会

磯子区は、すべての区民の方々が、持てる力を発揮し、自らの力で生活の豊かさを創り出せる社会を目指します。行政の役割は、区民の皆さんを取り巻く環境（個人・団体、制度、物的条件、情報）を良好に整えることだと考えます。これからの行政サービスについては、区民が生活していく上で不可欠とはいえない「選択的」サービスをスリム化し余力を生み出し、それを「必需的」サービスの充実にあてることにより、区民満足度を高めていきます。

<区役所の基本目標> 期待されるサービスの本質を見極め 的確に対応します！

- ☆ 透明性、効率性、活性化、利便性、市民参加の視点をもって、**顧客主義、成果主義**を徹底します。
- ☆ 官が担ってきた「**公共**」の領域を常に見直します。
- ☆ 環境問題など地球的、現代的課題の解決に向け、地域の視点で取り組み、社会に**情報を発信**します。
- ☆ 区民の満足を喜びとする**温かい心**を持った職員を育成します。

重点推進施策/事業の取組状況



1 犯罪と災害に強く安全な地域づくり

●みんなでまちを守る

- ・防犯拠点を増設（5箇所）、保育園・小学校（全17校）で見守り体制確立
→地域防犯活動拠点を区内の小学校7校に設置しました。
また、全小学校に学援隊を結成し見守り活動を開始、保育園でも地域の防犯ボランティアが園児の見守り活動をしています。
- ・来庁者を守るため区総合庁舎に自衛消防隊を結成
→自衛消防隊を新たに結成し、消防操法技術訓練会に参加、入賞を果たしました。
- ・要援護者のリストアップと、災害ボランティアのネットワーク化促進
→区内の全自治会・町内会に要援護者把握に関するアンケートを実施、約2割の自治会・町内会が災害時要援護者の支援体制づくりに着手しています。また、災害ボランティア連絡会が8月に設立され、地域の防災訓練に参加するなど、積極的な活動を進めています。
- ・ひとり暮らし高齢者世帯等の家具転倒防止器具の設置
→区内全地区で転倒防止器具の取付を行い、256件設置しました。

2 健康・福祉・子育てを支える基盤づくり

●つながりづくり・場づくり・人づくり

- ・生活課題の解決に向けて地域福祉保健計画の取り組みを推進
→区民提案事業として募集した結果、5事業を行うことになりました。
- ・隠れた人材などの「地域の宝」を発掘し、活躍の舞台へ
→しあわせバンクの基本的な考え方をまとめました。

●地域で子育て

- ・身近な場所での子育て環境の充実
→子育て広場を新たに2か所設置し、16か所になりました。地域の育児グループとともに子育て情報冊子を作成しました。また、地域子育て支援拠点の設置場所の検討を行いました。

3 人に優しいまちづくりと魅力アップ

●地球環境保全に向け区役所から発信

- ・平成13年比35%減量を目標に、G30をさらに推進
→家庭ごみの排出量は、35%以上の削減を達成しました。
- ・区庁舎駐車場対策による自動車利用抑制など地球環境保全
→有料化を含め自動車抑制について他区とプロジェクトを立ち上げ、検討を行いました。

●海・水辺環境の復権

- ・堀割川魅力アップ活動の支援、動物検疫所の移転可能性を調査
→区民による「堀割川の日」イベントや沿岸の清掃活動を支援しました。また、関係局と河口周辺のまちづくりについて検討しました。
- ・磯子海の見える公園（仮称）や杉田臨海緑地の計画を推進
→磯子海の見える公園（仮称）は、19年春の開園に向け工事を進めています。また、杉田臨海緑地は、基盤整備の実施設計を行い、一部工事に着工しました。

4 区民が手を携え元気にいきいきと活動できる仕組みづくり

●若者の自立・就労支援

- ・「おしごと情報コーナー」の運営、キャリア・コンサルタントによる就職相談
→多くの媒体を利用し、PRに努め、延べ1,032人の利用がありました。また、企業、NPO、区が協働で若者向け支援プログラムを実施し、600人の参加がありました。

●区民活動への支援

- ・「団塊の世代」の大量退職に備え、地域デビューを支援
→区内地区センター等5か所で地域デビュー講座を開催しました。また、地域ボランティア名簿を更新し、区内公共施設に配付しました。
- ・地区センターが「まちの事務局」として自治会町内会の会計事務等を支援
→区内4地区センターで会計事務の支援や地域活動に関する相談などを開始しました。また、自治会町内会に対し、町内会館開放の啓発を行っています。
- ・区民活動振興協会（仮称）の設立を支援し、官民の役割分担を明確に
→協会の体制、業務、手続き等について、検討を行いました。

5 お客様のご都合に応じた心のこもる行政サービス

●土曜日も区役所オープン

- ・要望の多い「法律相談」と福祉保健センター業務案内を新たに実施
→5月から第二土曜日に法律相談を実施、利用率は90%を上回りました。
- ・毎週土曜日の開庁を検討するとともに、証明書自動交付機の導入を研究
→開庁1回当たりの平均利用件数はほぼ目標を達成しました。なお、土曜日の開庁については、全市的に第2、第4土曜日に実施することになりました。また、証明書自動交付機については具体化に向け検討を行います。

●夜間も安心ホットライン

- ・子育て、健康、介護、年金、税金等に関する夜10時までの電話相談
→4月から民間委託により「夜間安心ホットライン」を開設しました。

6 目に見える改革と情報提供

●民でできるものは民へ

- ・庁舎案内窓口・電話案内を委託化し、民間のノウハウでさらにソフトな対応
→4月から1階ロビーにおける庁舎案内業務を民間業者に委託しています。
- ・「市場化テスト」（官民競争入札）導入に備え、窓口業務等の委託化を検討
→19年度に窓口業務の一部に民間従事者を試行的に導入し、検証を行います。

●PDCA（計画・実施・点検・是正）サイクルの確立

- ・外部委員による事業評価を継続し、新たに横浜型行政評価システムにも対応
→横浜型行政評価の実施に合わせて、事業評価委員会を開催しました。また、ホームページを活用したWebアンケートの試行を行い、その効果を検証しました。

●持続可能な財政の確立

- ・区庁舎壁面の企業広告など収入確保を推進し、経費節減を徹底
→庁舎入口に広告スペースを設け、募集の告知を行いました。



Ⅲ 調査結果の要約

1 磯子区内における生活環境について

(1) 自治体サービスの満足度

自治体が行っているサービスや業務についての満足度では、「満足」が『良質な水の確保や安定供給』で2割に達している。また、「どちらかといえば満足」は、『良質な水の確保や安定供給』と『ごみの分別収集、リサイクル』で4割に達している。一方で、「どちらかといえば不満」は、『違法駐車防止や交通安全対策』と『商店街の振興』、『ごみの不法投棄対策や街の美化』の3項目で2割台後半となっている。「不満」は多くの項目で1割未満であった。

平成16年度の結果と比較すると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた《満足》は『良質な水の確保や安定供給』、『ごみの分別収集、リサイクル』、『幹線道路や高速道路の整備』の3項目で10ポイント以上増加している。

(2) 自治体サービスの重要度

自治体が行っているサービスや業務についての重要度は、『良質な水の確保や安定供給』と『病院や救急医療など地域医療』で「重要」が7割台となっており、8項目が6割以上となっている。

《重要》、《重要でない》とも上位10項目は平成16年度の結果と特に大きな変化はない。

(3) 自治体サービスへのニーズ

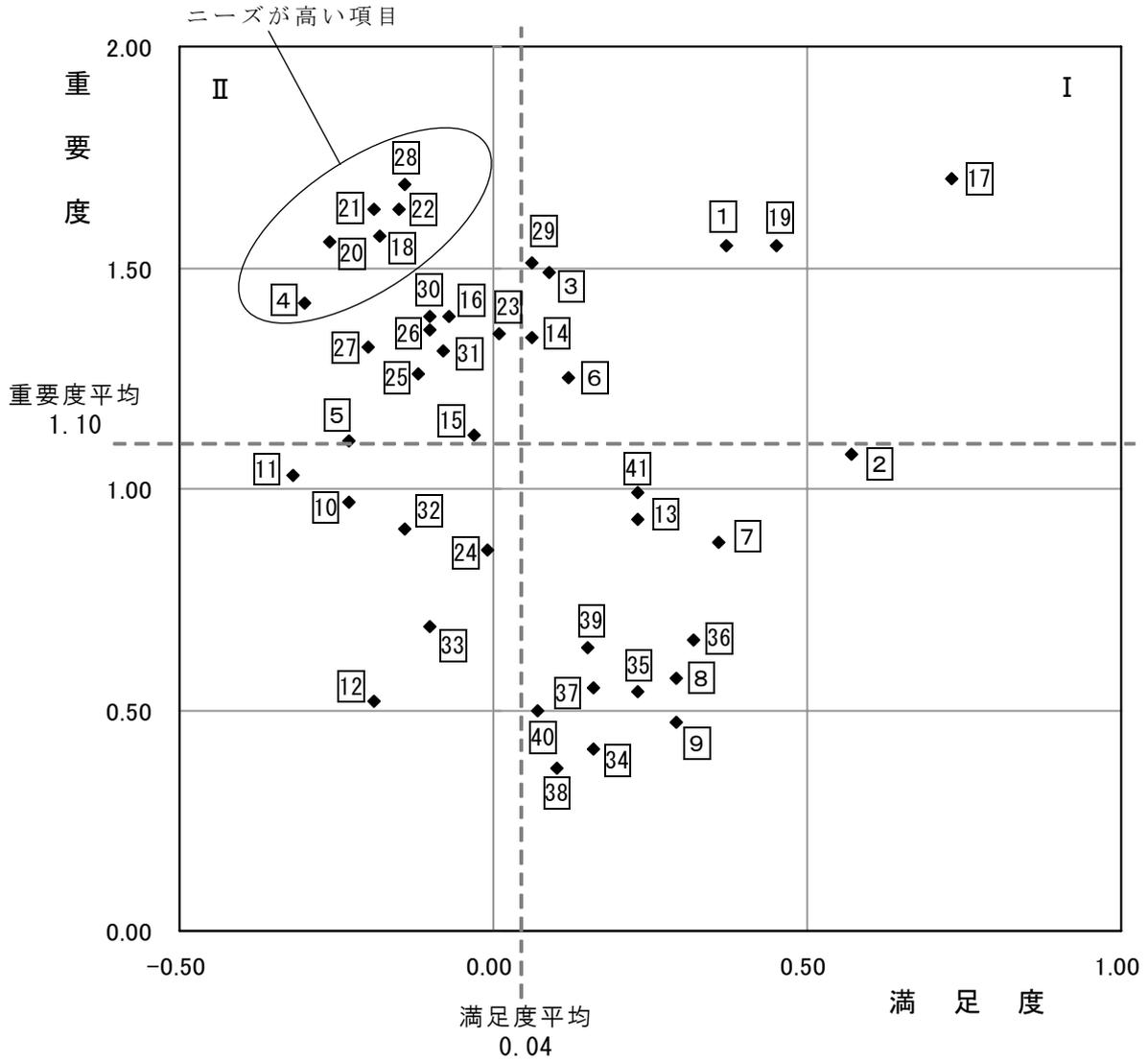
各項目について「満足」を2点、「どちらかといえば満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「どちらかといえば不満」を-1点、「不満」を-2点として「満足度」の平均点を、「重要」を2点、「どちらかといえば重要」を1点、「どちらともいえない」を0点、「どちらかといえば重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点として「重要度」の平均点を求めた。「重要度」と「満足度」の差を「ギャップ値」とすると『病院や救急医療など地域医療』と『ごみの不法投棄対策や街の美化』、『地震などの災害対策』が特に高くなっている。

「満足度」を横軸に、「重要度」を縦軸に41項目の位置をあらわした。

『病気や救急医療など地域医療』、『地震などの災害対策』、『ごみの不法投棄対策や街の美化』、『防犯対策』、『環境汚染や騒音などの対策』、『違法駐車防止や交通安全対策』の6項目は「重要度」が高いにもかかわらず満足度が低く特にニーズの高い項目といえる。

一方、『良質な水の確保や安定供給』で、「満足度」・「重要度」ともに特に高くなっている。

散布図（満足度・重要度）



対 応 表	1	バス・地下鉄などの便	22	防犯対策
	2	幹線道路や高速道路の整備	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導
	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	24	訪問販売などに関する消費生活相談
	4	違法駐車防止や交通安全対策	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
	5	駐車場の整備	26	学校教育の充実
	6	最寄り駅周辺の整備	27	青少年の健全育成
	7	横浜の都心、副都心の整備	28	病院や救急医療など地域医療
	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり
	9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	30	高齢者福祉
	10	中小企業振興や雇用の創出	31	障がい者福祉
	11	商店街の振興	32	経済的に困っている人の保護
	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資
	13	公園・動物園の整備	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実
	14	緑の保全と緑化の推進	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興
	15	河川改修と水辺環境の整備	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興
	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
	17	良質な水の確保や安定供給	38	国際交流・協力の推進
	18	環境汚染や騒音などへの対策	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
	19	ごみの分別収集、リサイクル	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	41	身近な住民窓口サービス
	21	地震などの災害対策		

2 地域活動について

(1) 参加している地域活動

参加している地域活動は、「自治会・町内会の活動」の割合が3割台で最も高く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」が2割台で続いている。一方で、「参加していない」は4割となっている。

(2) 地域活動に参加する目的

地域活動に参加する目的は、「住民の義務だから」と「自分の住む地域に役立ちたいから」が半数を超えて高く、「自分のためになるから」が3割台で続いている。

(3) 地域活動に参加していない理由

地域活動に参加していない理由は、「仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから」が半数を超えて特に高く、「どのような地域活動があるかわからないから」が3割台で続いている。「その他」では、「高齢だから」や「体調が悪いから」などの記入があった。

(4) 問題が解決した場合に参加したい地域活動

問題が解決した場合に参加したい地域活動は「文化、芸術、スポーツへの参加や振興」が3割に達して特に高く、「公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全」、「高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動」、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」が続いている。

3 自治会・町内会との関わりについて

(1) 自治会・町内会への参加状況

自治会・町内会への参加状況は、「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」の割合が4割台で最も高い。「自治会・町内会の行う行事に参加している」が2割台で、「委員・役員として積極的にかかわっている」、「自治会・町内会の行う行事に参加している」、「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」の3項目を合わせた《加入している》は、約8割となっている。

4 近隣にお住まいの方々とのつきあいについて

(1) 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度は、「道で会えばあいさつをする」が半数を超え、「たまに立ち話をする」が2割台で続いている。

(2) 近所づきあいについて思うこと

近所づきあいについて思うことは、「お互いに干渉しあわず、サバサバして暮らしやすい」が6割を超えて特に高く、「人間関係が薄く、皆がバラバラな感じで寂しい」、「濃密な人間関係があって、暮らしやすい」が1割台で続いている。

5 区政情報の入手について

(1) 「広報よこはま磯子区版」の閲読状況

「広報よこはま磯子区版」の閲読状況は、「よく読んでいる」と「時々読んでいる」を合わせた《読んでいる》が7割を超えている。一方、「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」を合わせた《読んでいない》は2割台となっている。

(2) 「広報よこはま磯子区版」の有用度

「広報よこはま磯子区版」の有用度では、「役に立っている」と「少し役に立っている」を合わせた《役に立っている》が7割を超えている。「あまり役に立っていない」と「役に立っていない」を合わせた《役に立っていない》は1割未満にとどまっている。

(3) 「広報よこはま磯子区版」が役立たない理由

「広報よこはま磯子区版」が区政情報の入手に役に立っていないもしくは、どちらともいえない理由は、「知りたい情報が載っていないから」が半数を占めている。次いで「情報が探しにくいから」が約2割で続いている。「その他」では、「特に必要としていない」や「読みにくいから」などの記入があった。

(4) 「磯子区ホームページ」の認知度

「磯子区ホームページの認知度」では、「よく利用している」と「時々利用している」を合わせた《利用している》は、6.7%にとどまっている。《利用している》に「あまり利用しないが見たことはある」と「見たことはないが、あることは知っている」を合わせた《知っている》は6割に達している。「見たことはないが、あることは知っている」と「あることを知らない」は3割台で並んで高くなっている。

(5) 「磯子区ホームページ」の有用度

「磯子区ホームページ」の有用度は、「少し役に立っている」が4割台で最も高く、「役に立っている」と合わせた《役に立っている》は、6割を超えている。一方、「あまり役に立っていない」と「役に立っていない」を合わせた《役に立っていない》は、約1割となっている。

(6) 「磯子区ホームページ」が役に立たない理由

「磯子区ホームページ」が区政情報の入手に役に立っていないもしくは、どちらともいえない理由は、「知りたい情報が載っていないから」が約4割で最も高く、「情報が探しにくいから」が約3割で続いている。「その他」には、「「広報よこはま磯子区版」があるから」や「特に必要としていない」などの記入があった。

6 広聴事業について

(1) 区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験

区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験は、「ある」が約1割にとどまり、「ない」が約9割を占めている。

(2) 意見・要望・提案の伝達手段

意見・要望・提案の伝達手段は、「直接窓口へ出向いて」が半数を超えて最も高く、「電話で」が3割台で続いている。

(3) 意見・要望・提案を伝達した結果の満足度

意見・要望・提案を伝達した結果の満足度は、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた《満足》と、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合せた《不満》が約4割で並んでいる。

(4) 意見・要望・提案を伝達した結果に不満な理由

意見・要望・提案を伝達した結果に不満な理由は、「改善されなかったから」が約半数を占め、「返事が否定的だったから」が2割台後半で続いている。「その他」には、「職員の態度が悪かったから」や「各課にたらい回しにされたから」などの記入があった。

(5) 意見・要望・提案を伝えない理由

区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えない理由は、「意見・要望・提案がないから」が約4割で最も高く、「個人が意見・要望・提案を伝えても変わらないから」、「意見・要望・提案を伝える方法がわからないから」が2割台で続いている。

7 区政の現状について

(1) 磯子区制80周年記念事業の認知度

磯子区制80周年記念事業の認知度は、「内容もよく理解している」と「だいたいの内容は知っている」、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合わせた《知っている》は約半数となっている。「知らない」は、4割台で最も高くなっている。

(2) 地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度

地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度は、「内容も知っており、活動に参加したことがある」と「内容も知っているが、活動に参加したことはない」、「名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない」を合わせた《知っている》は約3割にとどまっている。一方、「知らない」は6割を超えている。

8 区政全般への満足度について

(1) 区政全般への満足度

区政全般への満足度は、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた《満足》は3割台となっている。「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた《不満》は、約1割となっている。

(2) 定住意向（再掲）

定住意向は、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」が3割台で並んで高く、2つを合わせた《住み続ける》が7割を超えている。一方、「移転する」と「たぶん移転する」を合わせた《移転する》は、約1割となっている。

IV 調査の分析

1 磯子区内における生活環境について

1. 自治体サービスの満足度

『良質な水の確保や安定供給』で「満足」が2割。

問1 あなたは、自治体が行っている次のサービスや業務について、どの程度満足していますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

図1-1-1

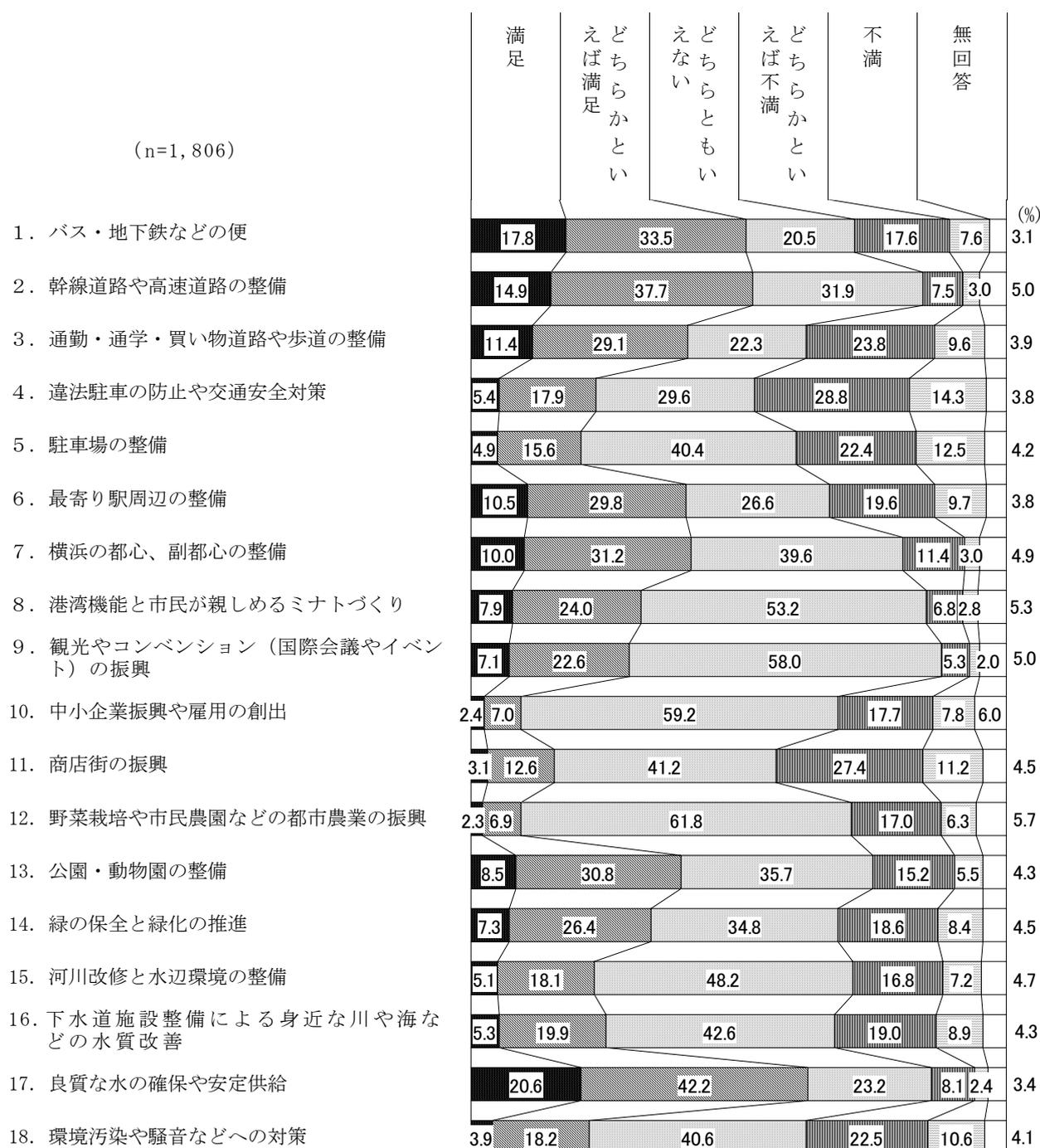
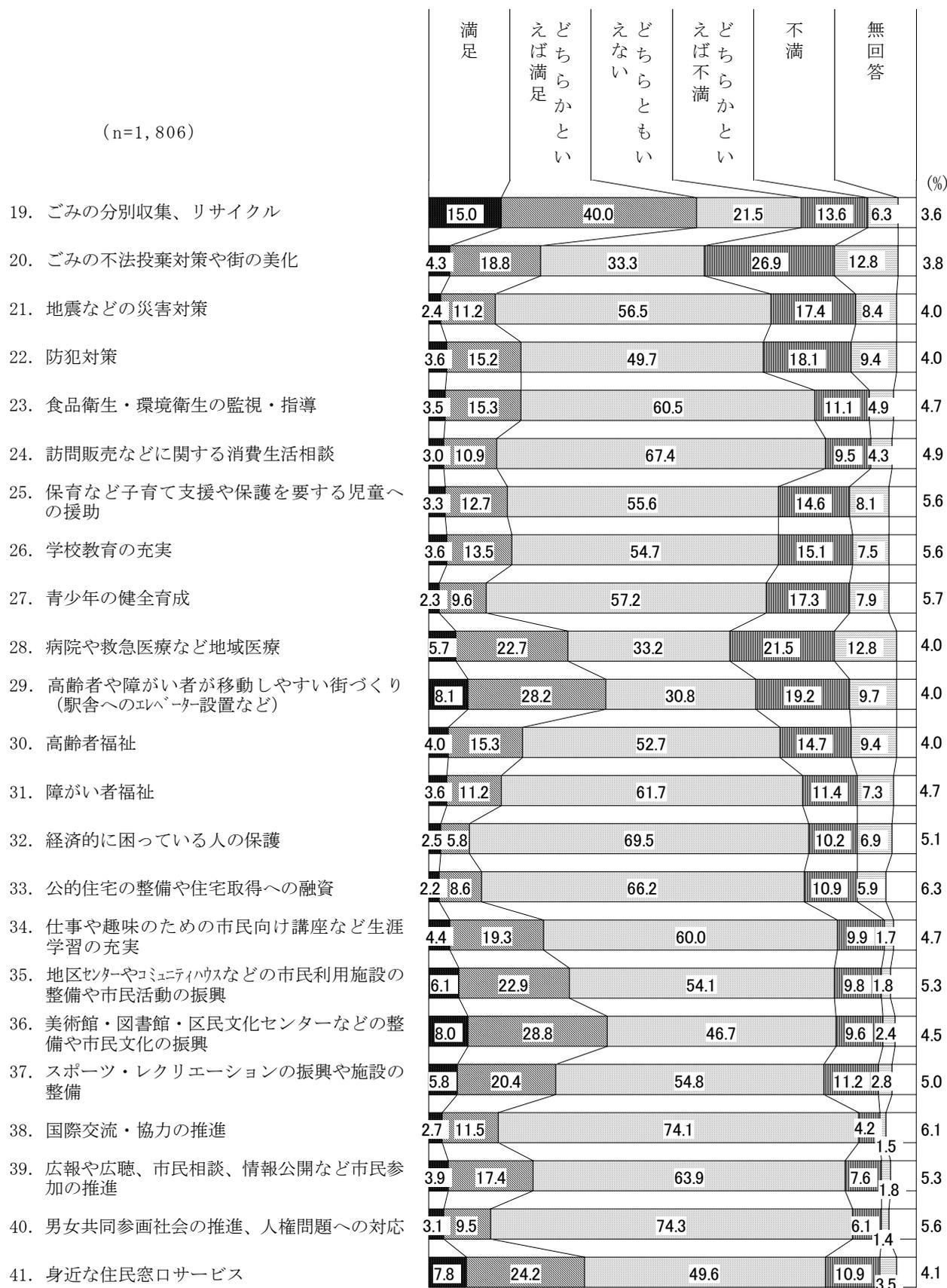


図 1 - 1 - 2

(n=1,806)



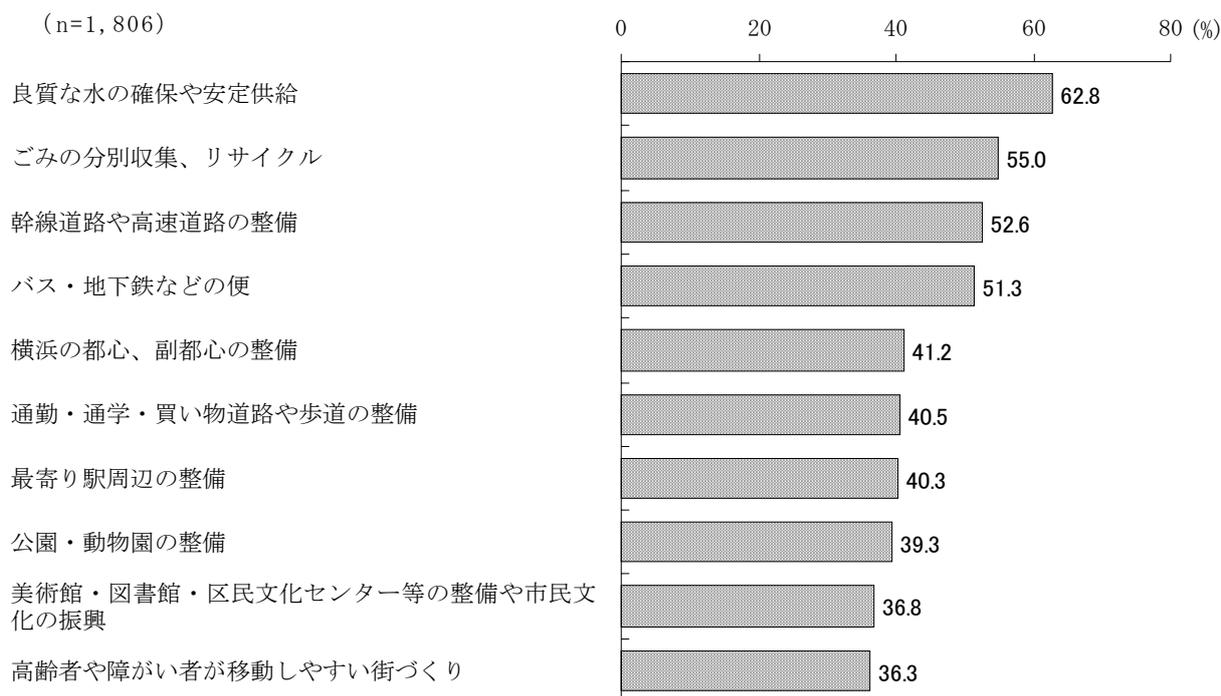
自治体が行っているサービスや業務についての満足度では、「満足」は、『良質な水の確保や安定供給』で20.6%と2割に達している。また、「どちらかといえば満足」は、『良質な水の確保や安定供給』（42.2%）と『ごみの分別収集、リサイクル』（40.0%）で4割に達している。一方で、「どちらかといえば不満」は、『違法駐車防止や交通安全対策』（28.8%）と『商店街の振興』（27.4%）、『ごみの不法投棄対策や街の美化』（26.9%）の3項目で2割台後半となっている。「不満」は多くの項目で1割未満であった。

なお、19項目で「どちらともいえない」が半数を超えて特に高くなっている。（図1-1-1、図1-1-2）

【《満足》（上位10項目）】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた《満足》の上位10項目をみると、『良質な水の確保や安定供給』が62.8%と6割を超えて最も高く、『ごみの分別収集、リサイクル』（55.0%）、『幹線道路や高速道路の整備』（52.6%）、『バス・地下鉄などの便』（51.3%）の3項目が半数を超えて続いている。（図1-1-3）

図1-1-3 《満足》（上位10項目）



【《不満》（上位10項目）】

「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた《不満》の上位10項目をみると、『違法駐車防止や交通安全対策』が43.1%で最も高く、次いで『ごみの不法投棄対策や街の美化』（39.7%）と『商店街の振興』（38.6%）が約4割で続いている。（図1-1-4）

【「どちらともいえない（上位10項目）」】

「どちらともいえない」の上位10項目をみると、『男女共同参画社会の推進、人権問題への対応』（74.3%）と『国際交流・協力の推進』（74.1%）の2項目で7割を超えて特に高くなっている。（図1-1-5）

図1-1-4 《不満》（上位10項目）

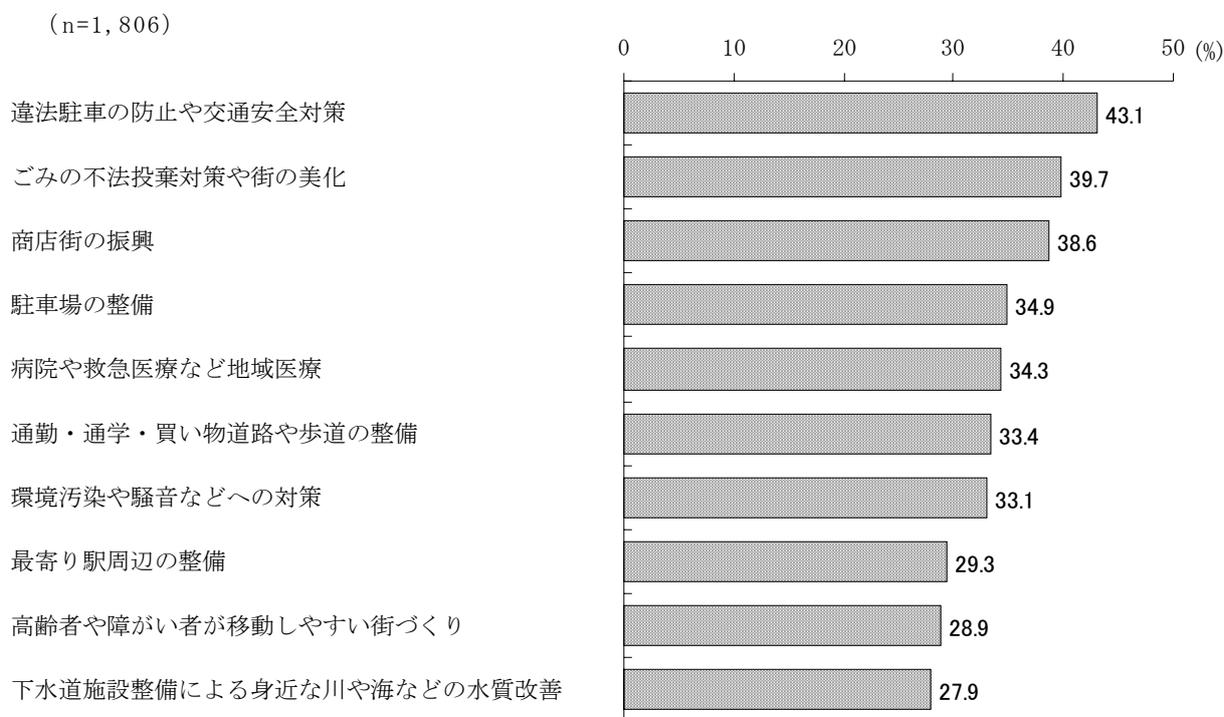
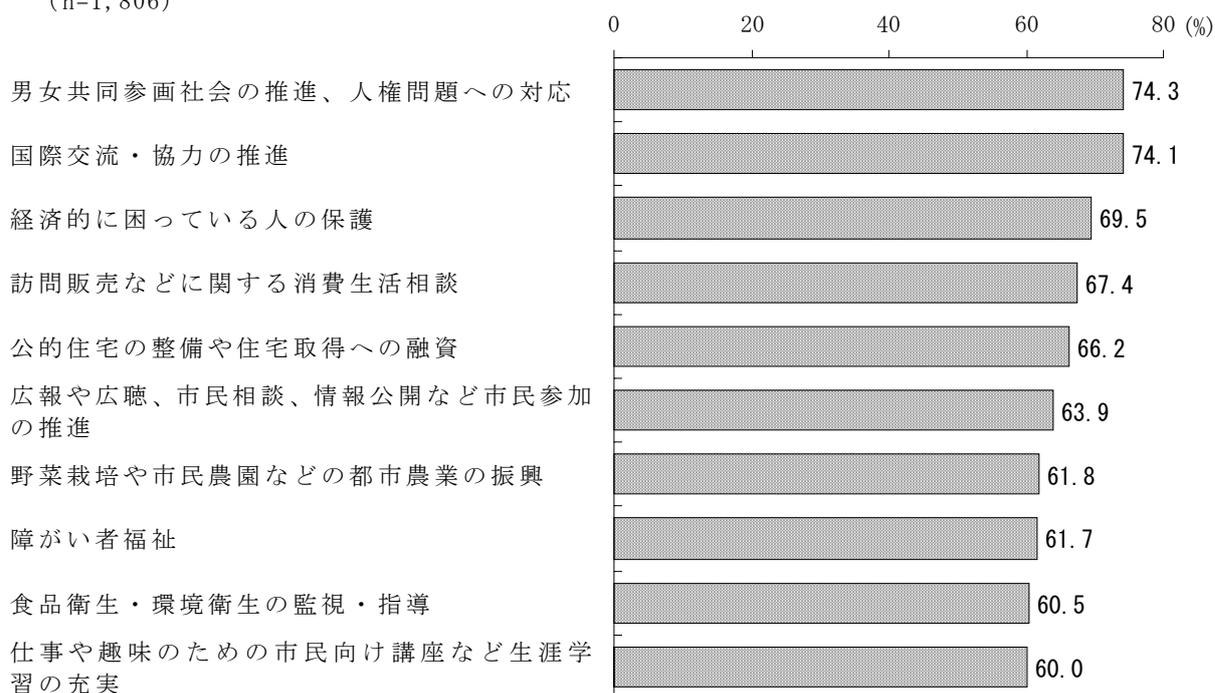


図 1-1-5 「どちらともいえない」(上位 10 項目)

(n=1,806)



【経年比較 《満足》(上位10項目)】

《満足》の上位10項目を平成16年度の結果と比較すると、『良質な水の確保や安定供給』、『ごみの分別収集、リサイクル』、『幹線道路や高速道路の整備』の3項目で10ポイント以上増加している。(表 1-1-1)

表 1-1-1 経年比較 《満足》(上位 10 項目)

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
平成 19 年度	良質な水の確保や安定供給 62.8	ごみの分別収集、リサイクル 55.0	幹線道路や高速道路の整備 52.6	バス・地下鉄などの便 51.3	横浜の都心、副都心の整備 41.2
平成 16 年度	バス・地下鉄などの便 54.9	良質な水の確保や安定供給 46.9	幹線道路や高速道路の整備 42.6	公園・動物園の整備 42.1	ごみの分別収集、リサイクル 41.9

	第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
平成 19 年度	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.5	最寄り駅周辺の整備 40.3	公園・動物園の整備 39.3	美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興 36.8	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 36.3
平成 16 年度	横浜の都心、副都心の整備 41.0	美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興 39.3	最寄り駅周辺の整備 38.4	港湾機能と市民が楽しめるミナトづくり 38.0	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 34.0

【経年比較 《不満》（上位10項目）】

《不満》の上位10項目を平成16年度の結果と比較すると、上位2項目の内容は変わらないがどちらも減少傾向にあり、特に『違法駐車防止や交通安全対策』では14.3ポイント減少している。（表1-1-2）

表1-1-2 経年比較 《不満》（上位10項目）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成19年度	違法駐車防止や交通安全対策 43.1	ごみの不法投棄対策や街の美化 39.7	商店街の振興 38.6	駐車場の整備 34.9	病院や救急医療など地域医療 34.3
平成16年度	違法駐車防止や交通安全対策 57.4	ごみの不法投棄対策や街の美化 47.3	環境汚染や騒音などへの対策 41.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 40.7	駐車場の整備 40.1
	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
平成19年度	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.4	環境汚染や騒音などへの対策 33.1	最寄り駅周辺の整備 29.3	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 28.9	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善 27.9
平成16年度	防犯対策 39.0	商店街の振興 38.2	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善 33.7	青少年の健全育成 32.7	中小企業振興や雇用の創出 31.6

【参考：市民意識調査との比較】

平成19年度の横浜市民意識調査と磯子区民意識調査の結果を比較すると、満足度に10位以上の差がある項目は3項目であった。『横浜の都心、副都心の整備』で19ランク、『環境汚染や騒音などへの対策』で10ランク、それぞれ磯子区民意識調査の方が上位であった。一方で、『野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興』は、市民意識調査の方が11ランク上位となっている。

ただし、市民意識調査は調査員による個別訪問面接聴取法であり、今回調査とは調査方法が異なっていることに留意する必要がある。加えて、市民意識調査では、これら41項目に「その他」と「わからない」を加えた43個の選択肢の中から満足しているものをいくつでも選ぶという形式となっている。（表1-1-3、表1-1-4）

表1-1-3 市民意識調査との順位比較 満足度

項目	磯子区民意識調査	⇔	市民意識調査
横浜の都心、副都心の整備	5位	⇔	24位
環境汚染や騒音などへの対策	23位	⇔	33位
野菜栽培や市民農園など都市農業の振興	40位	⇔	29位

表 1-1-4 市民意識調査との比較 満足度

順位	番号	項目	磯子区 (%)	市民意識調査 (%)	市民意識調査順位
1	17	良質な水の確保や安定供給	62.8	16.6	3
2	19	ごみの分別収集、リサイクル	55.0	37.1	1
3	2	幹線道路や高速道路の整備	52.6	13.1	9
4	1	バス・地下鉄などの便	51.3	32.9	2
5	7	横浜の都心、副都心の整備	41.2	4.3	24
6	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	40.5	14.0	7
7	6	最寄り駅周辺の整備	40.3	14.6	5
8	13	公園・動物園の整備	39.3	15.8	4
9	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	36.8	10.0	12
10	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	36.3	12.2	10
11	14	緑の保全と緑化の推進	33.7	14.5	6
12	41	身近な住民窓口サービス	32.0	6.8	15
13	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	31.9	6.2	16
14	9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	29.7	5.5	20
15	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	29.0	13.7	8
16	28	病院や救急医療など地域医療	28.4	10.3	11
17	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	26.2	5.6	19
18	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	25.2	8.0	13
19	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	23.7	5.2	21
20	4	違法駐車防止や交通安全対策	23.3	5.0	22
21	15	河川改修と水辺環境の整備	23.2	8.0	14
22	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	23.1	6.0	17
23	18	環境汚染や騒音などへの対策	22.1	2.5	33
24	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	21.3	3.9	25
25	5	駐車場の整備	20.5	3.5	27
26	30	高齢者福祉	19.3	5.8	18
27	22	防犯対策	18.8	5.0	23
28	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	18.8	2.3	35
29	26	学校教育の充実	17.1	3.3	31
30	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	16.0	3.8	26
31	11	商店街の振興	15.7	3.4	30
32	31	障がい者福祉	14.8	3.0	32
33	38	国際交流・協力の推進	14.2	2.3	34
34	24	訪問販売などに関する消費生活相談	13.9	1.4	36
35	21	地震などの災害対策	13.6	3.5	28
36	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	12.6	1.1	39
37	27	青少年の健全育成	11.9	1.3	38
38	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	10.8	0.7	41
39	10	中小企業振興や雇用の創出	9.4	0.9	40
40	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	9.2	3.4	29
41	32	経済的に困っている人の保護	8.3	1.3	37

*表中では、スペースの都合上、一部項目名を省略して表示している場合がある。（以下の表でも同様）

【満足度の平均点】

「満足」を2点、「どちらかといえば満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「どちらかといえば不満」を-1点、「不満」を-2点として各項目の平均点を求めた。（表1-1-5）

表1-1-5 満足度の平均点

番号	項目	2点	1点	0点	-1点	-2点	有効回答	満足度
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満		
1	バス・地下鉄などの便	321	605	370	317	137	1,750	0.36
2	幹線道路や高速道路の整備	269	680	577	135	54	1,715	0.54
3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	205	525	403	429	174	1,736	0.09
4	違法駐車防止や交通安全対策	98	324	535	521	259	1,737	-0.29
5	駐車場の整備	89	281	730	405	225	1,730	-0.22
6	最寄り駅周辺の整備	190	538	481	354	175	1,738	0.12
7	横浜の都心、副都心の整備	180	564	715	205	54	1,718	0.34
8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	142	434	961	123	51	1,711	0.27
9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	129	408	1,048	95	36	1,716	0.28
10	中小企業振興や雇用の創出	43	126	1,069	320	140	1,698	-0.21
11	商店街の振興	56	228	744	494	203	1,725	-0.31
12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	41	125	1,116	307	114	1,703	-0.18
13	公園・動物園の整備	154	556	645	274	99	1,728	0.22
14	緑の保全と緑化の推進	132	477	628	336	152	1,725	0.06
15	河川改修と水辺環境の整備	92	326	870	304	130	1,722	-0.03
16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	95	360	769	343	161	1,728	-0.06
17	良質な水の確保や安定供給	372	762	419	147	44	1,744	0.70
18	環境汚染や騒音などへの対策	71	329	734	406	192	1,732	-0.18
19	ごみの分別収集、リサイクル	271	722	388	246	114	1,741	0.44
20	ごみの不法投棄対策や街の美化	78	340	602	486	232	1,738	-0.25
21	地震などの災害対策	44	202	1,021	314	152	1,733	-0.18
22	防犯対策	65	275	897	327	170	1,734	-0.15
23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	63	276	1,092	201	89	1,721	0.01
24	訪問販売などに関する消費生活相談	54	197	1,217	172	77	1,717	-0.01
25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	60	230	1,004	264	146	1,704	-0.11
26	学校教育の充実	65	243	988	272	136	1,704	-0.09
27	青少年の健全育成	41	174	1,033	313	142	1,703	-0.19
28	病院や救急医療など地域医療	103	410	599	389	232	1,733	-0.13
29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	147	509	556	346	176	1,734	0.06
30	高齢者福祉	73	276	951	265	169	1,734	-0.10
31	障がい者福祉	65	203	1,115	206	132	1,721	-0.08
32	経済的に困っている人の保護	46	105	1,255	184	124	1,714	-0.13
33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	39	156	1,195	197	106	1,693	-0.10
34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	80	349	1,083	178	31	1,721	0.15
35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	110	413	977	177	33	1,710	0.22
36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	144	520	844	174	43	1,725	0.30
37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	104	369	990	202	50	1,715	0.15
38	国際交流・協力の推進	48	208	1,338	75	27	1,696	0.10
39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	70	315	1,154	138	33	1,710	0.14
40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	56	171	1,342	110	25	1,704	0.07
41	身近な住民窓口サービス	140	437	895	196	64	1,732	0.22

最も満足度が高いのは『良質な水の確保や安定供給』（0.73点）で、『幹線道路や高速道路の整備』（0.57点）、『ごみの分別収集、リサイクル』（0.45点）の順で続いている。平成16年度調査の満足度の平均点と比較すると、『バス・地下鉄などの便』が、1.08ポイント上昇している。（表1-1-6）

表1-1-6 満足度の平均点（点数順）

順位	番号	項目	満足度	平成16年度満足度
1	17	良質な水の確保や安定供給	0.73	0.41
2	2	幹線道路や高速道路の整備	0.57	0.32
3	19	ごみの分別収集、リサイクル	0.45	-0.15
4	1	バス・地下鉄などの便	0.37	-0.71
5	7	横浜の都心、副都心の整備	0.36	-0.33
6	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	0.32	0.07
7	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	0.29	0.36
8	9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	0.29	0.34
9	13	公園・動物園の整備	0.23	-0.35
10	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	0.23	-0.35
11	41	身近な住民窓口サービス	0.23	0.33
12	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	0.16	0.24
13	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	0.16	-0.20
14	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	0.15	0.02
15	6	最寄り駅周辺の整備	0.12	-0.11
16	38	国際交流・協力の推進	0.10	-0.18
17	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	0.09	0.34
18	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	0.07	-0.40
19	14	緑の保全と緑化の推進	0.06	-0.46
20	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	0.06	0.19
21	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	0.01	-0.19
22	24	訪問販売などに関する消費生活相談	-0.01	-0.41
23	15	河川改修と水辺環境の整備	-0.03	0.00
24	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	-0.07	-0.09
25	31	障がい者福祉	-0.08	-0.15
26	26	学校教育の充実	-0.10	-0.12
27	30	高齢者福祉	-0.10	0.00
28	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	-0.10	-0.33
29	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	-0.12	0.05
30	28	病院や救急医療など地域医療	-0.14	-0.07
31	32	経済的に困っている人の保護	-0.14	-0.04
32	22	防犯対策	-0.15	-0.12
33	18	環境汚染や騒音などへの対策	-0.18	-0.15
34	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	-0.19	0.16
35	21	地震などの災害対策	-0.19	0.25
36	27	青少年の健全育成	-0.20	0.35
37	5	駐車場の整備	-0.23	0.11
38	10	中小企業振興や雇用の創出	-0.23	0.13
39	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	-0.26	0.04
40	4	違法駐車防止や交通安全対策	-0.30	0.02
41	11	商店街の振興	-0.32	0.13

【居住地域別 満足度の平均点】

居住地域別に満足度の平均点をみると、『良質な水の確保や安定供給』や『幹線道路や高速道路の整備』をはじめとする16項目で全ての地域でプラス評価となっている。

一方、『商店街の振興』や『駐車場の整備』をはじめとする13項目で全ての地域でマイナス評価となっている。

6項目で最高点と最低点の差が0.5ポイント以上となっており、なかでも『通勤・通学・買い物道路や歩道の整備』（0.98点）、『最寄り駅周辺の整備』（0.64点）、『高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり』（0.62点）の3項目で差が大きくなっている。

『洋光台地域』と『汐見台地域』では、9地域の中で最も平均点が高い項目がそれぞれ15項目と10項目で特に多くなっている。一方、『岡村地域』では9地域の中で最も平均点が低い項目が16項目で特に多くなっている。（表1-1-7）

表 1 - 1 - 7 居住地域別 満足度の平均点（満足度順）

番号	項目	区全体	居住地域									最高と最低の差	差の大きさの順位
			根岸地域	滝頭地域	岡村地域	磯子地域	汐見台地域	屏風ヶ浦地域	杉田地域	上笹下地域	洋光台地域		
17	良質な水の確保や安定供給	0.73	0.63	0.69	0.86	0.77	0.57	0.71	0.75	0.78	0.74	0.29	15
2	幹線道路や高速道路の整備	0.57	0.46	0.35	0.35	0.49	0.70	0.65	0.63	0.59	0.71	0.36	12
19	ごみの分別収集、リサイクル	0.45	0.32	0.55	0.59	0.37	0.41	0.45	0.47	0.46	0.51	0.27	20
1	バス・地下鉄などの便	0.37	0.46	0.48	0.29	0.13	0.30	0.53	0.40	0.28	0.41	0.40	9
7	横浜の都心、副都心の整備	0.36	0.23	0.27	0.45	0.30	0.34	0.39	0.41	0.47	0.34	0.24	23
36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	0.32	0.44	0.34	0.27	0.35	0.30	0.25	0.41	0.29	0.25	0.19	30
8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	0.29	0.27	0.31	0.21	0.26	0.23	0.31	0.30	0.26	0.33	0.12	40
9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	0.29	0.26	0.28	0.19	0.31	0.09	0.31	0.30	0.33	0.33	0.24	22
35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	0.23	0.32	0.33	0.09	0.16	0.22	0.17	0.37	0.21	0.19	0.28	17
41	身近な住民窓口サービス	0.23	0.21	0.27	0.20	0.15	0.13	0.23	0.30	0.27	0.22	0.17	35
13	公園・動物園の整備	0.23	0.22	0.19	0.27	0.05	0.27	0.08	0.26	0.36	0.42	0.37	11
37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	0.16	0.14	0.22	0.09	0.13	0.12	0.07	0.36	0.14	0.11	0.29	16
34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	0.16	0.22	0.18	0.04	0.10	0.10	0.14	0.23	0.19	0.13	0.19	30
39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	0.15	0.25	0.19	0.16	0.10	0.05	0.08	0.25	0.12	0.12	0.20	27
6	最寄り駅周辺の整備	0.12	-0.02	0.03	0.00	0.00	-0.26	0.17	0.18	0.15	0.38	0.64	2
38	国際交流・協力の推進	0.10	0.17	0.15	0.12	0.08	0.02	0.11	0.15	0.03	0.09	0.15	38
3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	0.09	0.00	-0.06	-0.38	-0.05	0.21	0.14	-0.21	0.24	0.60	0.98	1
40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	0.07	0.12	0.12	0.03	0.05	0.02	0.05	0.14	0.05	0.03	0.12	41
29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	0.06	0.12	0.03	-0.04	-0.04	-0.21	-0.05	-0.05	0.09	0.41	0.62	3
14	緑の保全と緑化の推進	0.06	-0.08	-0.10	0.11	-0.07	0.38	-0.12	0.02	0.20	0.35	0.50	5
23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	0.01	0.03	0.01	-0.11	0.04	0.06	-0.03	0.00	0.06	0.03	0.17	35
24	訪問販売などに関する消費生活相談	-0.01	-0.02	0.05	-0.08	-0.06	-0.02	-0.02	0.04	-0.06	0.01	0.13	39
15	河川改修と水辺環境の整備	-0.03	-0.14	-0.06	-0.04	-0.09	0.01	-0.08	-0.08	0.05	0.11	0.25	21
16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	-0.07	-0.19	-0.10	-0.08	-0.10	-0.09	-0.17	-0.03	0.01	0.04	0.23	24
31	障がい者福祉	-0.08	-0.19	-0.07	-0.17	-0.04	-0.01	-0.11	-0.08	-0.06	-0.04	0.18	33
26	学校教育の充実	-0.10	-0.15	-0.14	0.00	-0.19	-0.04	-0.11	-0.09	0.01	-0.08	0.20	27
33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	-0.10	-0.06	-0.15	-0.24	-0.18	-0.06	-0.10	-0.09	-0.07	-0.04	0.20	29
30	高齢者福祉	-0.10	-0.08	-0.04	-0.22	-0.15	-0.01	-0.10	-0.08	-0.22	-0.02	0.21	26
25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	-0.12	-0.11	-0.09	-0.17	-0.23	-0.10	-0.11	-0.15	-0.08	-0.06	0.17	34
28	病院や救急医療など地域医療	-0.14	-0.29	-0.03	-0.36	-0.20	-0.17	-0.16	-0.13	-0.06	-0.01	0.35	13
32	経済的に困っている人の保護	-0.14	-0.25	-0.16	-0.26	-0.13	-0.11	-0.16	-0.07	-0.11	-0.11	0.19	30
22	防犯対策	-0.15	-0.11	-0.23	-0.35	-0.22	-0.07	-0.23	-0.14	-0.19	0.09	0.44	8
18	環境汚染や騒音などへの対策	-0.18	-0.32	-0.20	-0.08	-0.26	-0.11	-0.23	-0.17	-0.17	-0.04	0.28	17
21	地震などの災害対策	-0.19	-0.15	-0.26	-0.24	-0.27	-0.16	-0.21	-0.16	-0.18	-0.11	0.16	37
12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	-0.19	-0.11	-0.21	-0.20	-0.27	-0.06	-0.19	-0.21	-0.10	-0.22	0.21	25
27	青少年の健全育成	-0.20	-0.21	-0.32	-0.36	-0.24	-0.04	-0.21	-0.15	-0.11	-0.18	0.32	14
5	駐車場の整備	-0.23	-0.25	-0.17	-0.23	-0.16	-0.13	-0.14	-0.27	-0.40	-0.27	0.27	19
10	中小企業振興や雇用の創出	-0.23	-0.33	-0.26	-0.39	-0.24	0.01	-0.19	-0.17	-0.20	-0.28	0.40	9
20	ごみの不法投棄対策や街の美化	-0.26	-0.36	-0.29	-0.40	-0.27	0.10	-0.36	-0.29	-0.25	-0.14	0.50	5
4	違法駐車防止や交通安全対策	-0.30	-0.43	-0.44	-0.46	-0.21	0.06	-0.23	-0.43	-0.40	-0.17	0.52	4
11	商店街の振興	-0.32	-0.39	-0.49	-0.47	-0.43	-0.24	-0.34	-0.02	-0.31	-0.36	0.47	7

* 網掛けは9地区中最も平均点が高い地域をあらわし、黒塗りは最も平均点が低い地域をあらわす。

2. 自治体サービスの重要度

『良質な水の確保や安定供給』と『病院や救急医療など地域医療』で「重要」が7割台。

問2 また、あなたにとってこれらのサービスや業務は、今後行政が充実させるべきものとしてどの程度重要ですか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

図1-2-1

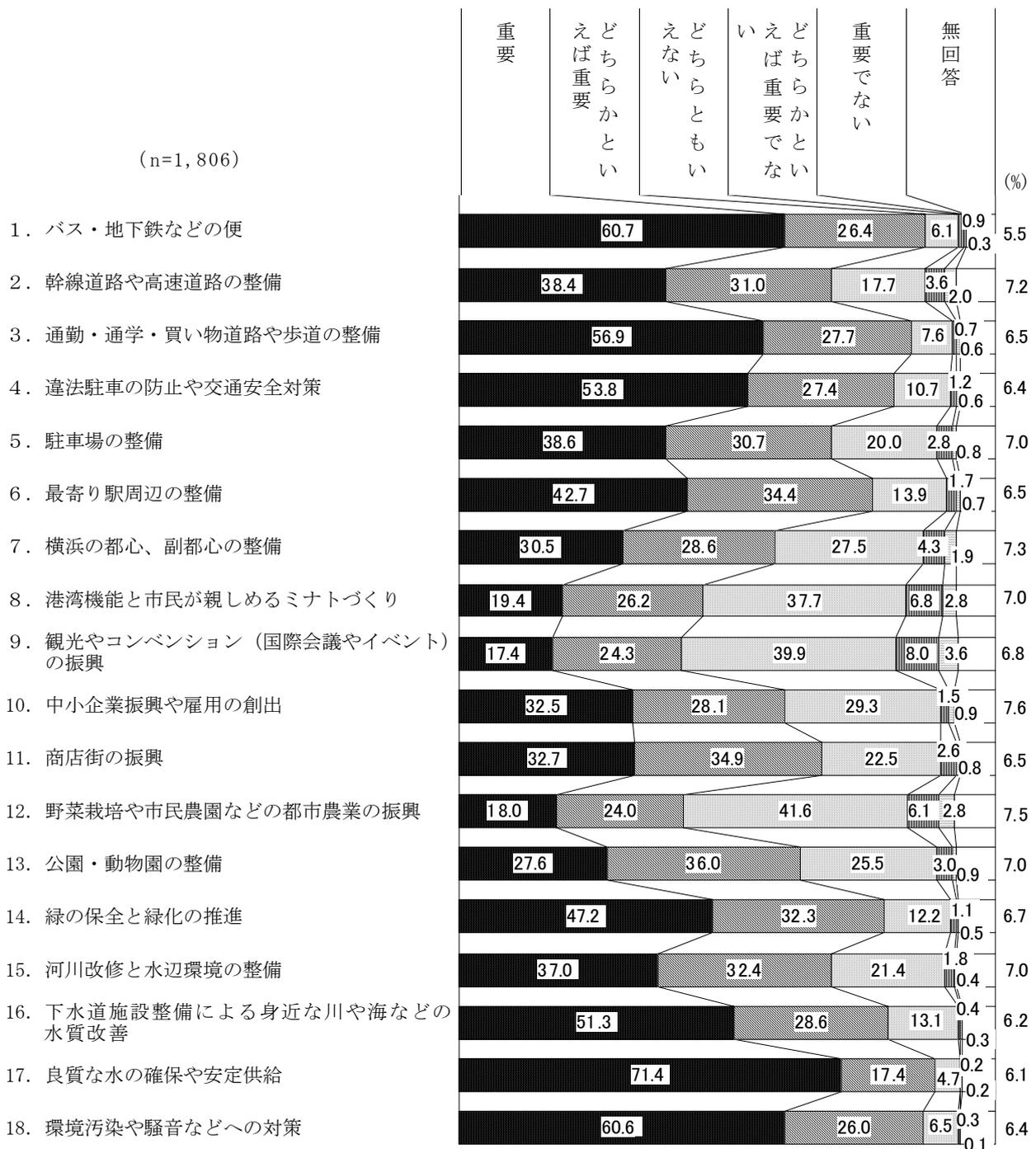
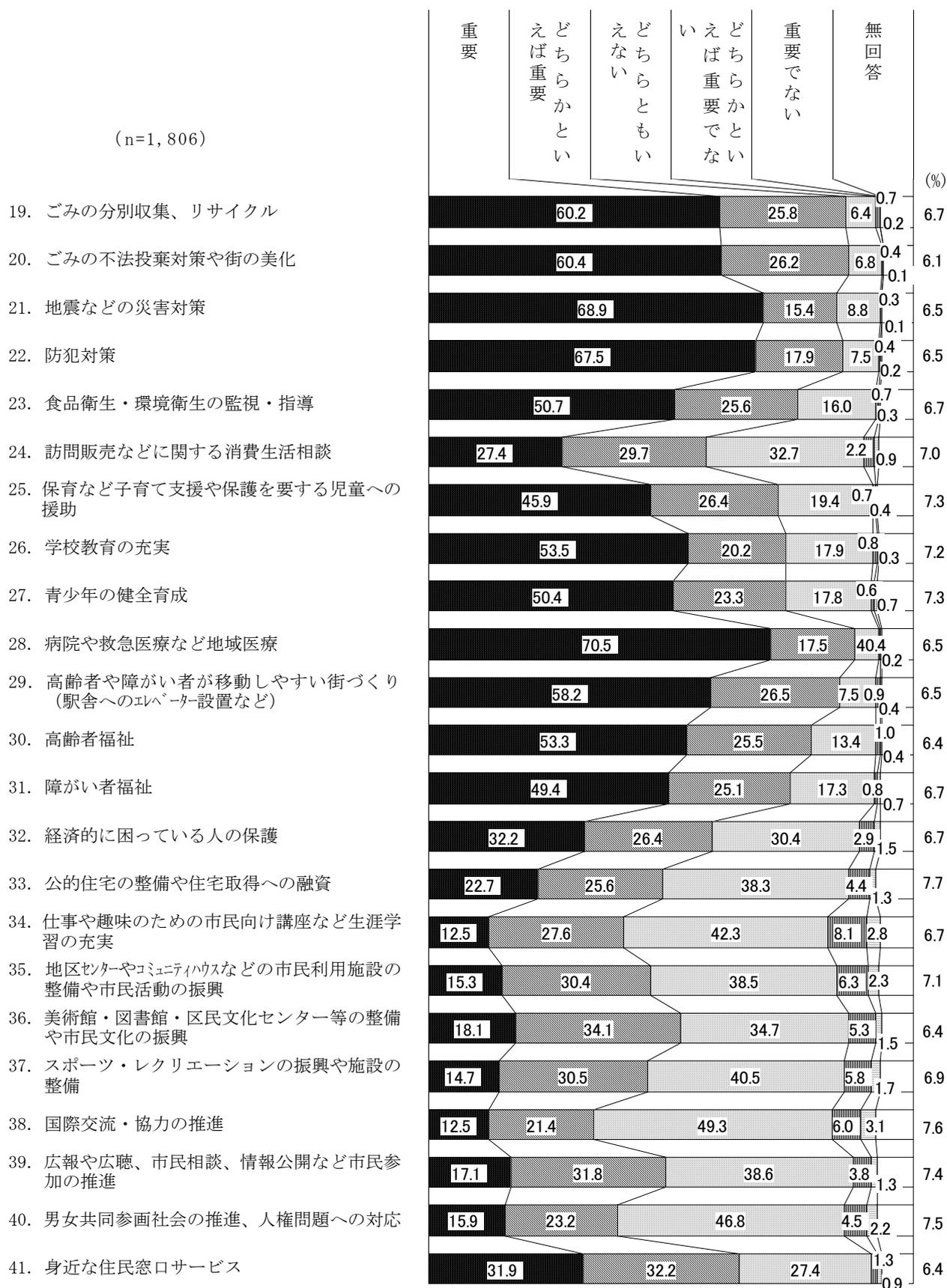


図 1 - 2 - 2

(n=1,806)



自治体が行っているサービスや業務についての重要度は、『良質な水の確保や安定供給』（71.4%）と『病院や救急医療など地域医療』（70.5%）が「重要」が7割台となっており、8項目が6割以上となっている。（図1-2-1、図1-2-2）

【《重要》（上位10項目）】

「重要」と「どちらかという重要」を合わせた《重要》の上位10項目では、全ての項目で《重要》が8割を超えている。（図1-2-3）

【《重要でない》（上位10項目）】

「重要でない」と「どちらかという重要でない」を合わせた《重要でない》の上位10項目をみると、『観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興』（11.6%）と『仕事や趣味のための市民武家講座など生涯学習の充実』（10.9%）が約1割となっている。（図1-2-4）

【《どちらともいえない》（上位10項目）】

「どちらともいえない」の上位10項目をみると、『国際交流・協力の推進』（49.3%）と『男女共同参画社会の推進、人権問題への対応』（46.8%）が4割台後半で高くなっている。（図1-2-5）

図1-2-3 《重要》（上位10項目）

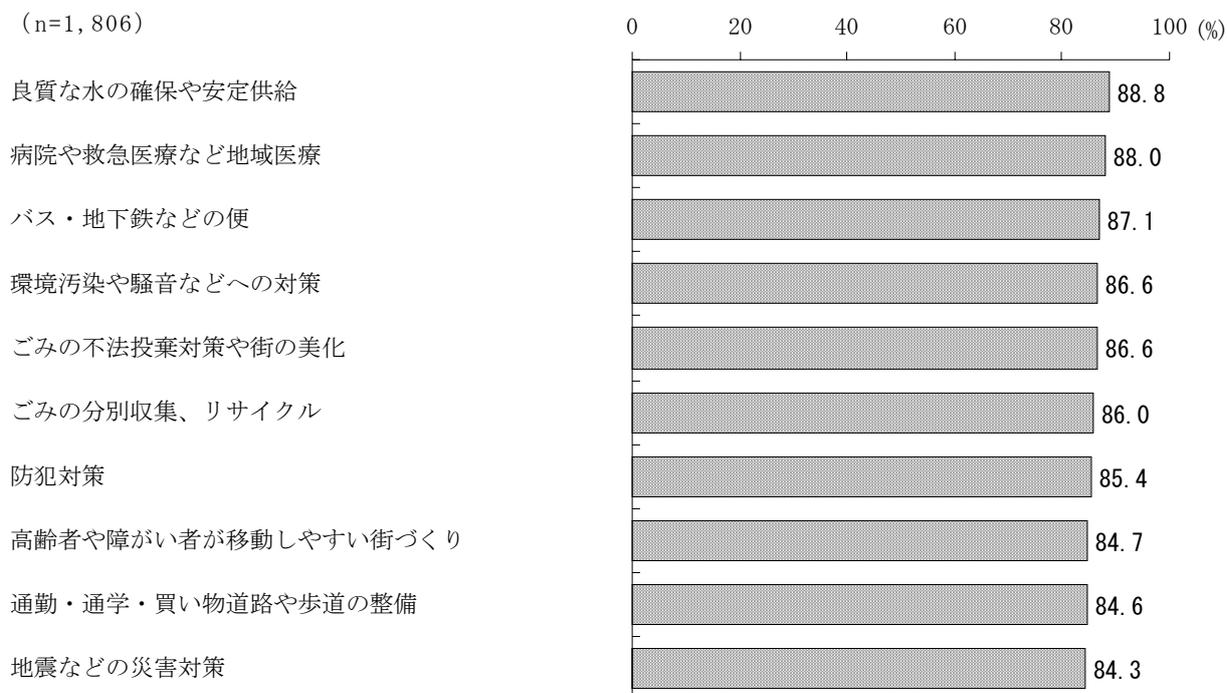


図 1 - 2 - 4 《重要でない》(上位 10 項目)

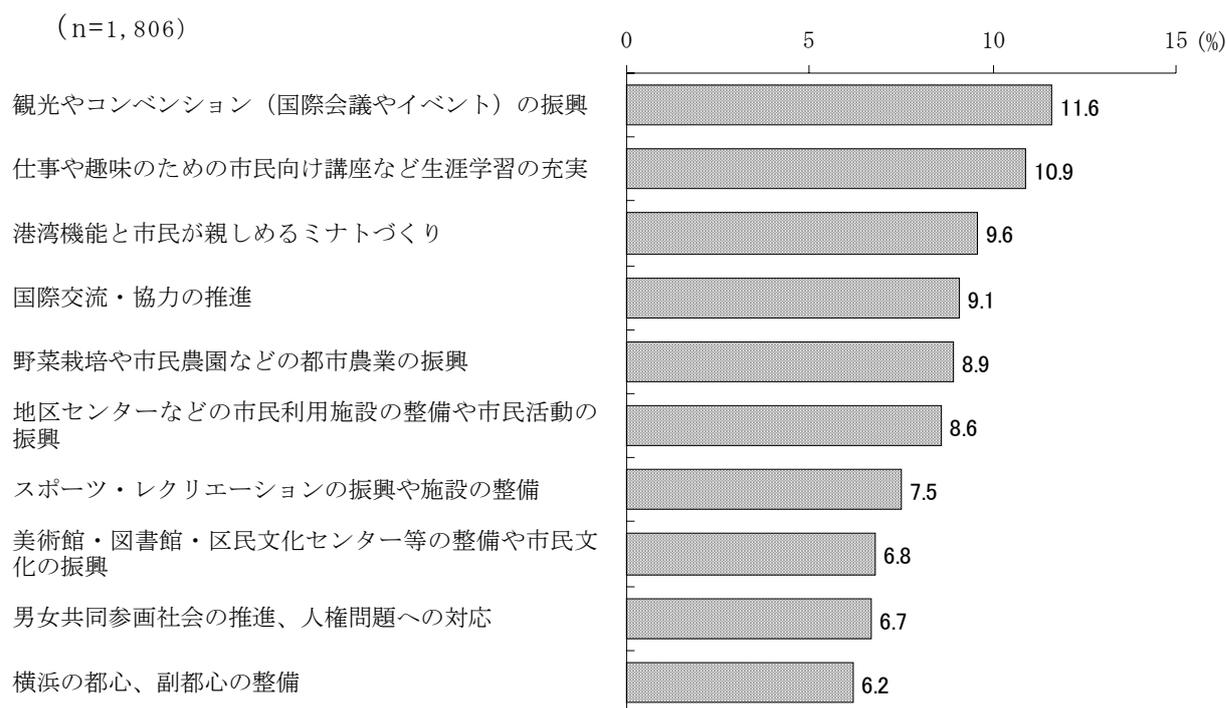
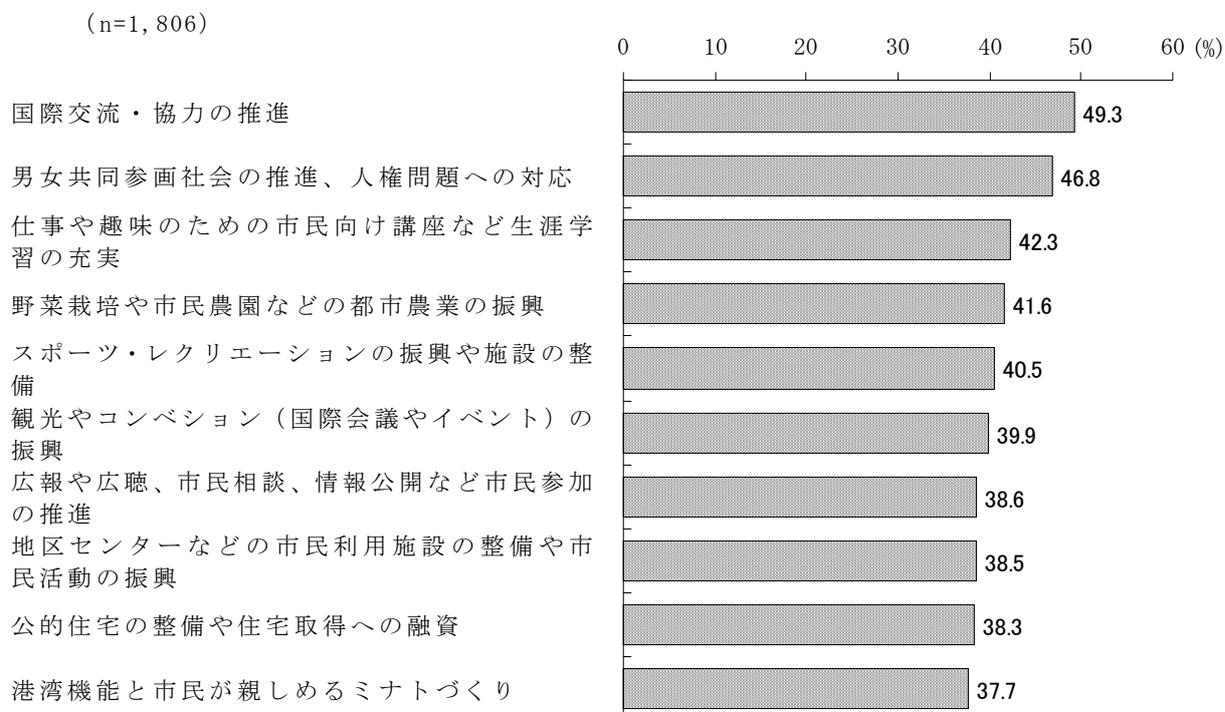


図 1 - 2 - 5 《どちらともいえない》(上位 10 項目)



【経年比較 《重要》(上位10項目)】

《重要》の上位10項目を平成16年度の結果と比較すると、特に大きな変化はない。
(表1-2-1)

【経年比較 《重要でない》(上位10項目)】

《重要でない》の上位10項目を平成16年度の結果と比較すると、特に大きな変化はない。(表1-2-2)

表1-2-1 経年比較 《重要》(上位10項目)

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成19年度	良質な水の確保や安定供給 88.8	病院や救急医療など地域医療 88.0	バス・地下鉄などの便 87.1	環境汚染や騒音などへの対策／ごみの不法投棄対策や街の美化	86.6
平成16年度	良質な水の確保や安定供給 89.1	病院や救急医療など地域医療 88.6	ごみの不法投棄対策や街の美化 87.3	防犯対策 87.1	バス・地下鉄などの便 85.8

	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
平成19年度	ごみの分別収集、リサイクル 86.0	防犯対策 85.4	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 84.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 84.6	地震などの災害対策 84.3
平成16年度	地震などの災害対策 85.0	環境汚染や騒音などへの対策 84.2	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり 83.5	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善 82.9	違法駐車防止や交通安全対策／ごみの分別収集、リサイクル 82.6

表 1-2-2 経年比較 《重要でない》(上位 10 項目)

(%)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
平成 19 年度	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興 11.6	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実 10.9	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり 9.6	国際交流・協力の推進 9.1	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興 8.9
平成 16 年度	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実 12.8	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興 11.5	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興 10.1	横浜の都心、副都心の整備 10.0	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり 9.7

	第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
平成 19 年度	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 8.6	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備 7.5	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興 6.8	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応 6.7	横浜の都心、副都心の整備 6.2
平成 16 年度	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 9.0	幹線道路や高速道路の整備 8.8	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備 8.4	国際交流・協力の推進 8.3	公的住宅の整備や住宅取得への融資 7.6

【参考：市民意識調査との比較】

平成19年度の横浜市民意識調査と比較して重要度に10位以上の差がある項目は2項目であった。『良質な水の確保や安定供給』が12ランク、『横浜の都心、副都心の整備』が13ランクそれぞれ磯子区民意識調査の方が順位が高くなっている。

ただし、この設問も前項と同じく、市民意識調査では、41項目に「その他」と「わからない」を加えた43項目の中から重要なものをいくつでも選ぶ形式となっているため、注意が必要である。（表1-2-3、表1-2-4）

表 1-2-3 市民意識調査との順位比較 重要度

項目		磯子区民意識調査		市民意識調査
良質な水の確保や安定供給	・・・	1 位	⇔	13 位
横浜都心、副都心の整備	・・・	28 位	⇔	41 位
緑の保全と緑化の推進	・・・	13 位	⇔	29 位

表 1 - 2 - 4 市民意識調査との比較 重要度

順位	番号	項目	磯子区 (%)	市民意識調査*(%)	市民意識調査順位
1	17	良質な水の確保や安定供給	88.8	22.0	13
2	28	病院や救急医療など地域医療	88.0	33.2	2
3	1	バス・地下鉄などの便	87.1	23.9	9
4	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	86.6	28.7	5
4	18	環境汚染や騒音などへの対策	86.6	22.3	12
6	19	ごみの分別収集、リサイクル	86.0	20.2	15
7	22	防犯対策	85.4	36.9	1
8	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	84.7	26.5	7
9	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	84.6	23.6	10
10	21	地震などの災害対策	84.3	31.6	4
11	4	違法駐車防止や交通安全対策	81.2	25.1	8
12	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	79.9	17.2	20
13	14	緑の保全と緑化の推進	79.5	27.8	6
14	30	高齢者福祉	78.8	33.1	3
15	6	最寄り駅周辺の整備	77.1	20.5	14
16	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	76.3	17.9	19
17	31	障がい者福祉	74.5	15.8	22
18	27	青少年の健全育成	73.7	16.1	21
18	26	学校教育の充実	73.7	22.3	11
20	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	72.3	20.0	16
21	2	幹線道路や高速道路の整備	69.4	8.4	29
22	15	河川改修と水辺環境の整備	69.4	13.0	24
23	5	駐車場の整備	69.3	18.4	17
24	11	商店街の振興	67.6	18.5	17
25	41	身近な住民窓口サービス	64.1	15.1	231
26	13	公園・動物園の整備	63.6	12.0	26
27	10	中小企業振興や雇用の創出	60.6	10.1	27
28	7	横浜の都心、副都心の整備	59.1	1.9	41
29	32	経済的に困っている人の保護	58.6	12.9	25
30	24	訪問販売などに関する消費生活相談	57.1	5.9	35
31	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	52.2	8.5	28
32	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	48.9	4.4	36
33	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	48.3	7.0	31
34	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	45.7	6.0	34
35	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	45.6	3.4	37
36	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	45.2	6.1	33
37	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	42.0	7.3	30
38	9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	41.7	2.4	38
39	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	40.1	6.6	32
40	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	39.1	2.4	39
41	38	国際交流・協力の推進	33.9	2.3	40

*市民意識調査では、「行政が充実すべきもの」を複数選択。

【重要度の平均点】

「重要」を2点、「どちらかといえば重要」を1点、「どちらともいえない」を0点、「どちらかといえば重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点として各項目の平均点を求めた。（表1-2-5）

表 1 - 2 - 5 重要度の平均点

番号	項目	2点	1点	0点	-1点	-2点	有効回答	重要度
		重要	どちらかといえ ば重要	どちらともい え ない	どちらかとい え ば重要でない	重要でない		
1	バス・地下鉄などの便	1,096	477	111	17	5	1,706	1.55
2	幹線道路や高速道路の整備	694	560	320	65	37	1,676	1.08
3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1,027	500	137	13	11	1,688	1.49
4	違法駐車防止や交通安全対策	972	494	193	21	10	1,690	1.42
5	駐車場の整備	697	554	362	51	15	1,679	1.11
6	最寄り駅周辺の整備	772	622	251	31	12	1,688	1.25
7	横浜の都心、副都心の整備	550	516	497	77	35	1,675	0.88
8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	351	474	681	123	50	1,679	0.57
9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	314	439	720	145	65	1,683	0.47
10	中小企業振興や雇用の創出	587	508	530	27	17	1,669	0.97
11	商店街の振興	590	630	406	47	15	1,688	1.03
12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	325	433	751	111	51	1,671	0.52
13	公園・動物園の整備	498	650	461	54	17	1,680	0.93
14	緑の保全と緑化の推進	852	584	221	19	9	1,685	1.34
15	河川改修と水辺環境の整備	668	585	387	33	7	1,680	1.12
16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	927	517	237	7	6	1,694	1.39
17	良質な水の確保や安定供給	1,290	314	84	3	4	1,695	1.70
18	環境汚染や騒音などへの対策	1,094	470	118	6	2	1,690	1.57
19	ごみの分別収集、リサイクル	1,087	466	116	12	4	1,685	1.55
20	ごみの不法投棄対策や街の美化	1,090	474	122	7	2	1,695	1.56
21	地震などの災害対策	1,244	279	159	5	2	1,689	1.63
22	防犯対策	1,219	324	135	7	4	1,689	1.63
23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	916	463	289	12	5	1,685	1.35
24	訪問販売などに関する消費生活相談	495	536	591	40	17	1,679	0.86
25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	829	476	350	13	7	1,675	1.26
26	学校教育の充実	967	365	324	14	6	1,676	1.36
27	青少年の健全育成	910	421	321	10	13	1,675	1.32
28	病院や救急医療など地域医療	1,273	316	88	8	3	1,688	1.69
29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	1,051	478	136	16	7	1,688	1.51
30	高齢者福祉	963	460	242	18	8	1,691	1.39
31	障がい者福祉	892	454	313	14	12	1,685	1.31
32	経済的に困っている人の保護	581	476	549	52	27	1,685	0.91
33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	410	463	692	79	23	1,667	0.69
34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	225	498	764	147	51	1,685	0.41
35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	277	549	696	114	41	1,677	0.54
36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	326	616	626	95	27	1,690	0.66
37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	265	551	731	104	30	1,681	0.55
38	国際交流・協力の推進	225	387	891	109	56	1,668	0.37
39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	308	574	697	69	24	1,672	0.64
40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	287	419	845	81	39	1,671	0.50
41	身近な住民窓口サービス	576	581	494	24	16	1,691	0.99

重要度の平均点が最も高いのは、『良質な水の確保や安定供給』（1.70点）で、次いで『病院や救急医療など地域医療』（1.58点）、『地震などの災害対策』（1.69点）、『地震などの災害対策』と『防犯対策』（1.63点）の順となっている。（表1-2-6）

表1-2-6 重要度の平均点（点数順）

順位	番号	項目	重要度	平成16年度重要度
1	17	良質な水の確保や安定供給	1.70	1.41
2	28	病院や救急医療など地域医療	1.69	0.94
3	21	地震などの災害対策	1.63	1.34
4	22	防犯対策	1.63	1.42
5	18	環境汚染や騒音などへの対策	1.57	0.10
6	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	1.56	1.07
7	1	バス・地下鉄などの便	1.55	0.68
8	19	ごみの分別収集、リサイクル	1.55	0.51
9	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	1.51	0.43
10	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1.49	1.01
11	4	違法駐車防止や交通安全対策	1.42	0.87
12	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	1.39	0.36
13	30	高齢者福祉	1.39	0.81
14	26	学校教育の充実	1.36	1.03
15	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.35	1.21
16	14	緑の保全と緑化の推進	1.34	1.40
17	27	青少年の健全育成	1.32	1.62
18	31	障がい者福祉	1.31	1.45
19	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	1.26	1.44
20	6	最寄り駅周辺の整備	1.25	1.34
21	15	河川改修と水辺環境の整備	1.12	1.53
22	5	駐車場の整備	1.11	1.57
23	2	幹線道路や高速道路の整備	1.08	1.22
24	11	商店街の振興	1.03	0.78
25	41	身近な住民窓口サービス	0.99	1.14
26	10	中小企業振興や雇用の創出	0.97	1.32
27	13	公園・動物園の整備	0.93	1.32
28	32	経済的に困っている人の保護	0.91	1.57
29	7	横浜の都心、副都心の整備	0.88	1.36
30	24	訪問販売などに関する消費生活相談	0.86	1.24
31	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	0.69	1.20
32	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	0.66	0.77
33	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	0.64	0.53
34	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	0.57	0.34
35	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	0.55	0.43
36	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	0.54	0.56
37	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	0.52	0.48
38	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	0.50	0.38
39	9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	0.47	0.64
40	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	0.41	0.44
41	38	国際交流・協力の推進	0.37	0.97

【居住地域別 重要度の平均点】

居住地域別に重要度の平均点をみると、全ての項目の全ての地域でプラス評価となっており、最高点と最低点の差も39項目で0.5ポイント以内となっている。『観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興』（0.55点）と『中小企業振興や雇用の創出』（0.52点）の2項目では、最高点と最低点の差が0.5ポイント以上で高くなっている。

『岡村地域』では、重要度の平均点が9地域中で最も高い項目が24項目で特に多くなっている。一方で『汐見台地域』では、重要度の平均点が9地域中で最も低い項目が21項目で特に多くなっている。（表1-2-7）

表 1 - 2 - 7 居住地域別 重要度の平均点（重要度順）

番号	項目	区全体	根岸地域	滝頭地域	岡村地域	磯子地域	汐見台地域	屏風ヶ浦地域	杉田地域	上笹下地域	洋光台地域	最高と最低の差	差の大きさの順位
17	良質な水の確保や安定供給	1.70	1.67	1.61	1.81	1.74	1.70	1.70	1.71	1.71	1.69	0.20	29
28	病院や救急医療など地域医療	1.69	1.71	1.61	1.83	1.72	1.65	1.66	1.67	1.70	1.69	0.22	26
21	地震などの災害対策	1.63	1.71	1.58	1.69	1.70	1.65	1.61	1.63	1.58	1.62	0.13	38
22	防犯対策	1.63	1.67	1.60	1.63	1.67	1.70	1.58	1.62	1.60	1.61	0.12	40
18	環境汚染や騒音などへの対策	1.57	1.62	1.48	1.53	1.63	1.54	1.58	1.63	1.53	1.51	0.15	35
20	ごみの不法投棄対策や街の美化	1.56	1.60	1.56	1.63	1.57	1.49	1.55	1.59	1.58	1.50	0.14	37
1	バス・地下鉄などの便	1.55	1.53	1.61	1.76	1.60	1.69	1.47	1.45	1.64	1.47	0.31	10
19	ごみの分別収集、リサイクル	1.55	1.57	1.52	1.51	1.58	1.58	1.57	1.61	1.51	1.51	0.10	41
29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	1.51	1.52	1.51	1.57	1.57	1.44	1.50	1.45	1.50	1.54	0.13	38
3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1.49	1.54	1.47	1.74	1.47	1.59	1.48	1.53	1.43	1.44	0.31	10
4	違法駐車防止や交通安全対策	1.42	1.46	1.37	1.63	1.44	1.29	1.36	1.42	1.45	1.44	0.34	8
16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	1.39	1.44	1.33	1.47	1.46	1.28	1.35	1.35	1.39	1.41	0.19	31
30	高齢者福祉	1.39	1.39	1.39	1.46	1.44	1.19	1.42	1.30	1.43	1.42	0.27	17
26	学校教育の充実	1.36	1.45	1.32	1.48	1.39	1.51	1.27	1.33	1.28	1.38	0.24	23
23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.35	1.33	1.23	1.39	1.47	1.20	1.32	1.36	1.38	1.32	0.27	17
14	緑の保全と緑化の推進	1.34	1.43	1.25	1.40	1.42	1.33	1.34	1.30	1.29	1.32	0.18	34
27	青少年の健全育成	1.32	1.30	1.35	1.49	1.38	1.29	1.23	1.27	1.26	1.39	0.26	19
31	障がい者福祉	1.31	1.42	1.31	1.39	1.38	1.19	1.27	1.23	1.30	1.31	0.23	24
25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	1.26	1.24	1.28	1.41	1.31	1.45	1.16	1.19	1.31	1.20	0.29	14
6	最寄り駅周辺の整備	1.25	1.34	1.19	1.32	1.28	1.36	1.24	1.26	1.15	1.26	0.21	27
15	河川改修と水辺環境の整備	1.12	1.22	1.13	1.23	1.22	0.85	1.12	1.06	1.14	1.04	0.38	5
5	駐車場の整備	1.11	1.15	1.10	1.30	1.11	1.08	1.05	1.05	1.28	1.06	0.25	20
2	幹線道路や高速道路の整備	1.08	1.02	0.92	1.25	1.08	1.26	1.03	1.10	1.08	1.10	0.34	8
11	商店街の振興	1.03	1.01	0.90	1.26	1.05	0.88	1.06	1.02	0.97	1.09	0.38	5
41	身近な住民窓口サービス	0.99	0.96	1.06	1.01	0.99	0.81	0.98	0.92	0.96	1.10	0.29	14
10	中小企業振興や雇用の創出	0.97	0.95	0.97	1.16	0.97	0.64	0.94	0.90	1.06	1.08	0.52	2
13	公園・動物園の整備	0.93	0.98	0.95	1.08	0.99	1.01	0.87	0.90	0.83	0.91	0.25	20
32	経済的に困っている人の保護	0.91	1.03	0.85	1.09	1.03	0.79	0.81	0.78	0.93	0.96	0.31	10
7	横浜の都心、副都心の整備	0.88	0.94	0.97	1.00	0.94	0.69	0.81	0.81	0.96	0.83	0.31	10
24	訪問販売などに関する消費生活相談	0.86	0.97	0.83	0.85	0.91	0.68	0.81	0.85	0.91	0.86	0.29	14
33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	0.69	0.64	0.71	0.80	0.79	0.40	0.64	0.61	0.78	0.74	0.40	3
36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	0.66	0.69	0.64	0.70	0.68	0.55	0.70	0.60	0.60	0.74	0.19	31
39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	0.64	0.67	0.67	0.68	0.69	0.61	0.61	0.55	0.60	0.70	0.15	35
8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	0.57	0.68	0.72	0.71	0.53	0.33	0.46	0.50	0.65	0.58	0.39	4
37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	0.55	0.55	0.59	0.70	0.56	0.51	0.58	0.54	0.45	0.49	0.25	20
35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	0.54	0.60	0.56	0.64	0.56	0.44	0.52	0.51	0.51	0.56	0.20	29
12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	0.52	0.53	0.59	0.66	0.50	0.31	0.49	0.40	0.60	0.60	0.35	7
40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	0.50	0.53	0.51	0.54	0.52	0.33	0.49	0.40	0.54	0.56	0.23	24
9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	0.47	0.41	0.58	0.71	0.60	0.16	0.43	0.37	0.44	0.49	0.55	1
34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	0.41	0.49	0.44	0.49	0.43	0.30	0.38	0.39	0.37	0.42	0.19	31
38	国際交流・協力の推進	0.37	0.43	0.35	0.50	0.44	0.32	0.38	0.29	0.34	0.34	0.21	27

* 網掛けは9地区中最も平均点が高い地域をあらわし、黒塗りは最も平均点が低い地域をあらわす。

3. 自治体サービスへのニーズ

各項目の「重要度」と「満足度」の差である「ギャップ値」を求めると『病院や救急医療など地域医療』（1.83点）、『ごみの不法投棄対策や街の美化』と『地震などの災害対策』（1.82点）が特に高くなっている。一方で、「観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興」（0.18点）は0.1ポイント台にとどまっている。

なお、平成16年度調査のギャップ値と比較すると、『駐車場の整備』が平成16年度より0.85ポイント上昇し、『違法駐車防止や交通安全対策』では、0.51点減少している。（表1-3-1）

「満足度」を横軸に、「重要度」を縦軸に41項目の位置をあらわした。図の左下に位置するほど「重要度」が低く、「満足度」も低い項目であることを、逆に図の右上に位置するものほど「重要度」が高く、「満足度」も高い項目であることを意味している。今回の調査では、「重要度」が0.0よりも小さい項目がないため、「重要度」が高く、「満足度」が高い項目（図中のⅠ側）と、「重要度」が高いにも関わらず「満足度」が低い項目（図中のⅡ側）の二種類に分けられる。

それぞれのカテゴリー別にみると、Ⅰ側（「重要度」も「満足度」も高い）では、『良質な水の確保や安定供給』が、「満足度」・「重要度」とともに特に高くなっている。加えて、『ごみの分別収集、リサイクル』と『バス・地下鉄などの便』は「重要度」も高く、「満足度」も高くなっている。

Ⅱ側（「重要度」は高いが「満足度」が低い）では、『病気や救急医療など地域医療』、『地震などの災害対策』、『ごみの不法投棄対策や街の美化』、『防犯対策』、『環境汚染や騒音などの対策』、『違法駐車防止や交通安全対策』の6項目は特にニーズの高い項目といえる。次いで、『高齢者福祉』、『学校教育の充実』、『青少年の健全育成』、『下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善』、『保育など子育て支援や保護を要する児童への援助』、『障がい者福祉』の6項目もニーズが高い項目といえる。以上を合わせると、生活基盤の安心と美観に関わる項目と福祉に関わる項目の2分野において区民のニーズが高いと考えられる。一方で、『野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興』と『公的住宅の整備や住宅取得への融資』の2項目は「満足度」も低い、「重要度」もそれほど高くない項目といえる。（図1-3-1）

【居住地域別 ギャップ値】

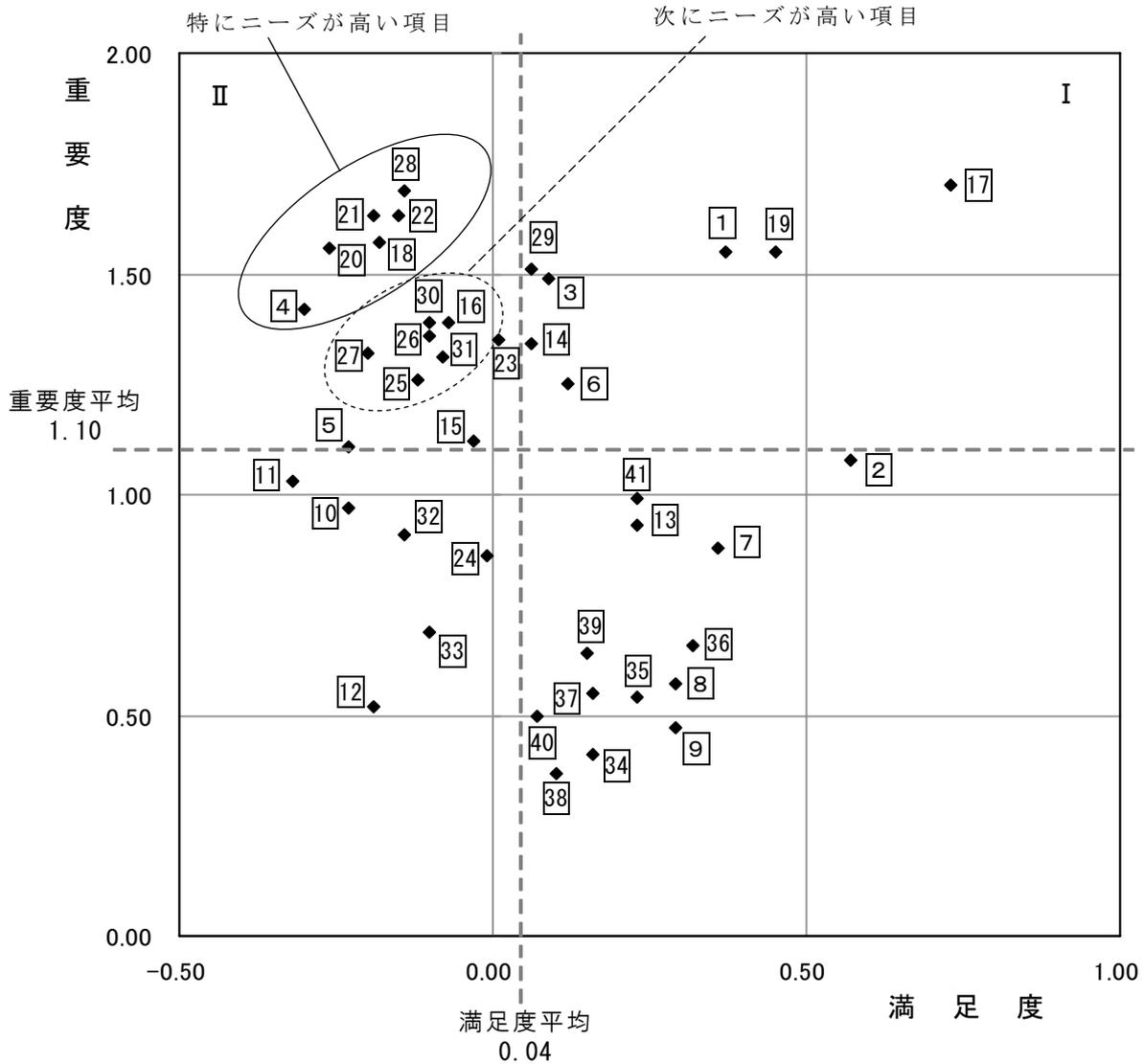
居住地域別にみると、15項目でギャップ値の差が0.50ポイント以上になっており、なかでも『通勤・通学・買い物道路や歩道の整備』（1.28点）での差が大きい。

『岡村地域』では、9地域の中でギャップ値が最も高い項目が22項目と特に多くなっている。一方、『汐見台地域』では16項目、『杉田地域』では11項目が9地域の中でギャップ値が最も低く、この2地域では相対的に充足していることがうかがえる。（表1-3-2）

表 1-3-1 ギャップ値（点数順）

順位	番号	項目	重要度	満足度	ギャップ値	平成16年 ギャップ値
1	28	病院や救急医療など地域医療	1.69	-0.14	1.83	1.57
1	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	1.56	-0.26	1.82	1.90
1	21	地震などの災害対策	1.63	-0.19	1.82	1.72
4	22	防犯対策	1.63	-0.15	1.78	1.98
5	18	環境汚染や騒音などへの対策	1.57	-0.18	1.75	1.85
6	4	違法駐車防止や交通安全対策	1.42	-0.30	1.72	2.13
7	27	青少年の健全育成	1.32	-0.20	1.52	1.65
8	30	高齢者福祉	1.39	-0.10	1.49	1.28
9	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	1.39	-0.07	1.46	1.58
9	26	学校教育の充実	1.36	-0.10	1.46	1.44
11	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	1.51	0.06	1.45	1.31
12	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1.49	0.09	1.40	1.49
12	31	障がい者福祉	1.31	-0.08	1.39	1.27
14	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	1.26	-0.12	1.38	1.29
15	11	商店街の振興	1.03	-0.32	1.35	1.22
16	5	駐車場の整備	1.11	-0.23	1.34	0.43
16	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.35	0.01	1.34	1.22
18	14	緑の保全と緑化の推進	1.34	0.06	1.28	1.19
19	10	中小企業振興や雇用の創出	0.97	-0.23	1.20	1.36
20	1	バス・地下鉄などの便	1.55	0.37	1.18	1.00
21	15	河川改修と水辺環境の整備	1.12	-0.03	1.15	1.14
22	6	最寄り駅周辺の整備	1.25	0.12	1.13	1.00
23	19	ごみの分別収集、リサイクル	1.55	0.45	1.10	1.15
24	32	経済的に困っている人の保護	0.91	-0.14	1.05	0.89
25	17	良質な水の確保や安定供給	1.70	0.73	0.97	1.28
26	24	訪問販売などに関する消費生活相談	0.86	-0.01	0.87	0.87
27	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	0.69	-0.10	0.79	0.68
28	41	身近な住民窓口サービス	0.99	0.23	0.76	0.84
29	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	0.52	-0.19	0.71	0.56
30	13	公園・動物園の整備	0.93	0.23	0.70	0.57
31	7	横浜の都心、副都心の整備	0.88	0.36	0.52	0.34
32	2	幹線道路や高速道路の整備	1.08	0.57	0.51	0.62
33	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	0.64	0.15	0.49	0.60
34	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	0.50	0.07	0.43	0.42
35	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	0.55	0.16	0.39	0.35
36	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	0.66	0.32	0.34	0.21
37	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	0.54	0.23	0.31	0.18
38	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	0.57	0.29	0.28	0.15
39	38	国際交流・協力の推進	0.37	0.10	0.27	0.27
39	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	0.41	0.16	0.25	0.18
41	9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	0.47	0.29	0.18	0.10

図 1 - 3 - 1 散布図 (満足度・重要度)



対 応 表	1	バス・地下鉄などの便	22	防犯対策
	2	幹線道路や高速道路の整備	23	食品衛生・環境衛生の監視・指導
	3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	24	訪問販売などに関する消費生活相談
	4	違法駐車防止や交通安全対策	25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
	5	駐車場の整備	26	学校教育の充実
	6	最寄り駅周辺の整備	27	青少年の健全育成
	7	横浜の都心、副都心の整備	28	病院や救急医療など地域医療
	8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり
	9	観光やコンベンション(国際会議やイベント)の振興	30	高齢者福祉
	10	中小企業振興や雇用の創出	31	障がい者福祉
	11	商店街の振興	32	経済的に困っている人の保護
	12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	33	公的住宅の整備や住宅取得への融資
	13	公園・動物園の整備	34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実
	14	緑の保全と緑化の推進	35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興
	15	河川改修と水辺環境の整備	36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興
	16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
	17	良質な水の確保や安定供給	38	国際交流・協力の推進
	18	環境汚染や騒音などへの対策	39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
	19	ごみの分別収集、リサイクル	40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
	20	ごみの不法投棄対策や街の美化	41	身近な住民窓口サービス
	21	地震などの災害対策		

表 1-3-2 居住地域別 ギャップ値（ギャップ値順）

番号	項目	区全体	居住地域別									最高と最低の差	差の大きさの順位
			根岸地域	滝頭地域	岡村地域	磯子地域	汐見台地域	屏風ヶ浦地域	杉田地域	上笹下地域	洋光台地域		
28	病院や救急医療など地域医療	1.83	2.00	1.64	2.19	1.92	1.82	1.82	1.80	1.76	1.70	0.55	9
20	ごみの不法投棄対策や街の美化	1.82	1.96	1.85	2.03	1.84	1.39	1.91	1.88	1.83	1.64	0.64	6
21	地震などの災害対策	1.82	1.86	1.84	1.93	1.97	1.81	1.82	1.79	1.76	1.73	0.24	39
22	防犯対策	1.78	1.78	1.83	1.98	1.89	1.77	1.81	1.76	1.79	1.52	0.46	20
18	環境汚染や騒音などへの対策	1.75	1.94	1.68	1.61	1.89	1.65	1.81	1.80	1.70	1.55	0.39	26
4	違法駐車防止や交通安全対策	1.72	1.89	1.81	2.09	1.65	1.23	1.59	1.85	1.85	1.61	0.86	3
27	青少年の健全育成	1.52	1.51	1.67	1.85	1.62	1.33	1.44	1.42	1.37	1.57	0.52	12
30	高齢者福祉	1.49	1.47	1.43	1.68	1.59	1.20	1.52	1.38	1.65	1.44	0.48	18
26	学校教育の充実	1.46	1.60	1.46	1.48	1.58	1.55	1.38	1.42	1.27	1.46	0.33	29
16	下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善	1.46	1.63	1.43	1.55	1.56	1.37	1.52	1.38	1.38	1.37	0.26	38
29	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	1.45	1.40	1.48	1.61	1.61	1.65	1.55	1.50	1.41	1.13	0.52	12
3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1.40	1.54	1.53	2.12	1.52	1.38	1.34	1.74	1.19	0.84	1.28	1
31	障がい者福祉	1.39	1.61	1.38	1.56	1.42	1.20	1.38	1.31	1.36	1.35	0.41	23
25	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	1.38	1.35	1.37	1.58	1.54	1.55	1.27	1.34	1.39	1.26	0.32	31
11	商店街の振興	1.35	1.40	1.39	1.73	1.48	1.12	1.40	1.04	1.28	1.45	0.69	5
5	駐車場の整備	1.34	1.40	1.27	1.53	1.27	1.21	1.19	1.32	1.68	1.33	0.49	16
23	食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.34	1.30	1.22	1.50	1.43	1.14	1.35	1.36	1.32	1.29	0.36	27
14	緑の保全と緑化の推進	1.28	1.51	1.35	1.29	1.49	0.95	1.46	1.28	1.09	0.97	0.56	8
10	中小企業振興や雇用の創出	1.20	1.28	1.23	1.55	1.21	0.63	1.13	1.07	1.26	1.36	0.92	2
1	バス・地下鉄などの便	1.18	1.07	1.13	1.47	1.47	1.39	0.94	1.05	1.36	1.06	0.53	10
15	河川改修と水辺環境の整備	1.15	1.36	1.19	1.27	1.31	0.84	1.20	1.14	1.09	0.93	0.52	11
6	最寄り駅周辺の整備	1.13	1.36	1.16	1.32	1.28	1.62	1.07	1.08	1.00	0.88	0.74	4
19	ごみの分別収集、リサイクル	1.10	1.25	0.97	0.92	1.21	1.17	1.12	1.14	1.05	1.00	0.33	30
32	経済的に困っている人の保護	1.05	1.28	1.01	1.35	1.16	0.90	0.97	0.85	1.04	1.07	0.50	15
17	良質な水の確保や安定供給	0.97	1.04	0.92	0.95	0.97	1.13	0.99	0.96	0.93	0.95	0.21	41
24	訪問販売などに関する消費生活相談	0.87	0.99	0.78	0.93	0.97	0.70	0.83	0.81	0.97	0.85	0.29	33
33	公的住宅の整備や住宅取得への融資	0.79	0.70	0.86	1.04	0.97	0.46	0.74	0.70	0.85	0.78	0.58	7
41	身近な住民窓口サービス	0.76	0.75	0.79	0.81	0.84	0.68	0.75	0.62	0.69	0.88	0.26	37
12	野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興	0.71	0.64	0.80	0.86	0.77	0.37	0.68	0.61	0.70	0.82	0.49	16
13	公園・動物園の整備	0.70	0.76	0.76	0.81	0.94	0.74	0.79	0.64	0.47	0.49	0.47	19
7	横浜の都心、副都心の整備	0.52	0.71	0.70	0.55	0.64	0.35	0.42	0.40	0.49	0.49	0.36	28
2	幹線道路や高速道路の整備	0.51	0.56	0.57	0.90	0.59	0.56	0.38	0.47	0.49	0.39	0.52	12
39	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進	0.49	0.42	0.48	0.52	0.59	0.56	0.53	0.30	0.48	0.58	0.29	35
40	男女共同参画社会の推進、人権問題への対応	0.43	0.41	0.39	0.51	0.47	0.31	0.44	0.26	0.49	0.53	0.27	36
37	スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備	0.39	0.41	0.37	0.61	0.43	0.39	0.51	0.18	0.31	0.38	0.43	22
36	美術館・図書館・区民文化センター等の整備や市民文化の振興	0.34	0.25	0.30	0.43	0.33	0.25	0.45	0.19	0.31	0.49	0.30	32
35	地区センターなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興	0.31	0.28	0.23	0.55	0.40	0.22	0.35	0.14	0.30	0.37	0.41	24
8	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	0.28	0.41	0.41	0.50	0.27	0.10	0.15	0.20	0.39	0.25	0.40	25
38	国際交流・協力の推進	0.27	0.26	0.20	0.38	0.36	0.30	0.27	0.14	0.31	0.25	0.24	39
34	仕事や趣味のための市民向け講座など生涯学習の充実	0.25	0.27	0.26	0.45	0.33	0.20	0.24	0.16	0.18	0.29	0.29	33
9	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	0.18	0.15	0.30	0.52	0.29	0.07	0.12	0.07	0.11	0.16	0.45	21

* 網掛けは9地区中最もギャップ値が高い地域をあらわし、黒塗りは最もギャップ値が低い地域をあらわす。

2. 地域活動について

1. 参加している地域活動

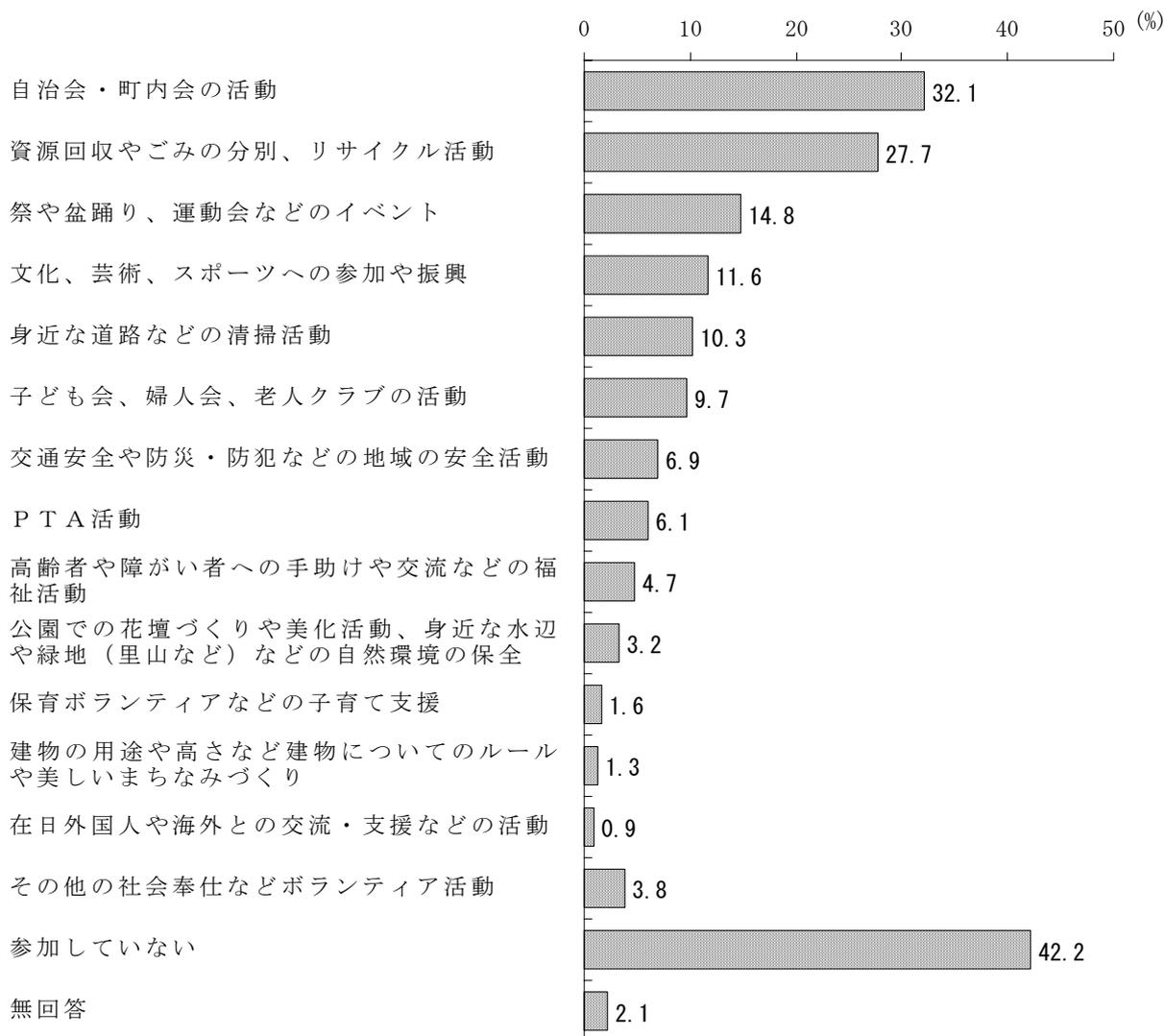
「自治会・町内会の活動」の割合が32.1%で最も高い。

問3 あなたは現在、どのような地域活動に参加していますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図2-1-1

(n=1,806)

【複数回答】

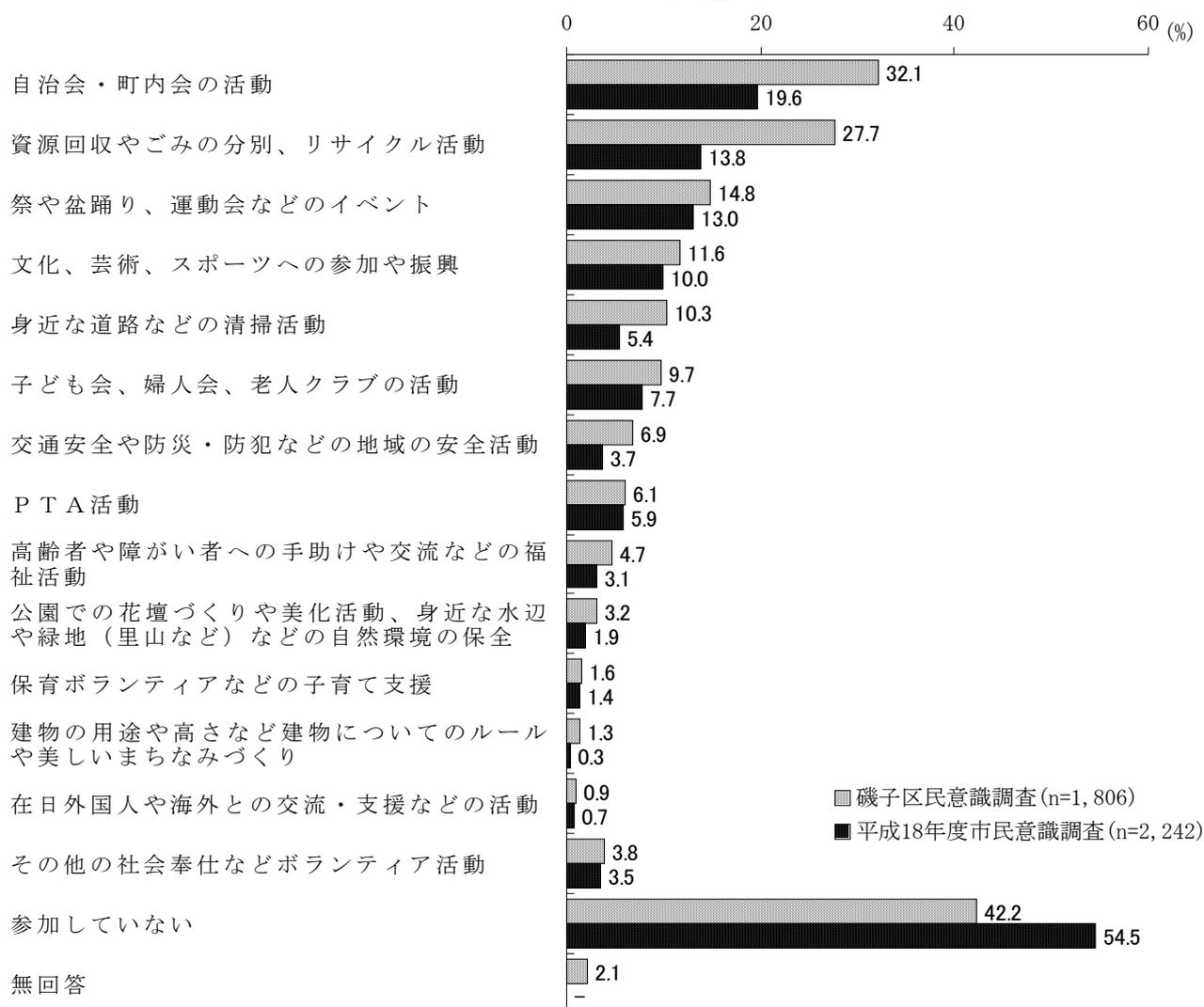


参加している地域活動は、「自治会・町内会の活動」の割合が32.1%で最も高く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」（27.7%）が2割台が続いている。一方で、「参加していない」は42.2%となっている。（図2-1-1）

【参考：市民意識調査との比較】

平成18年度の横浜市民意識調査と磯子区民意識調査の結果を比較すると、磯子区民意識調査の方が、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」で13.9ポイント、「自治会・町内会の活動」で12.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「参加していない」は市民意識調査では半数を超えるが、磯子区民意識調査は4割台となっている。（図2-1-2）

図2-1-2 市民意識調査との比較

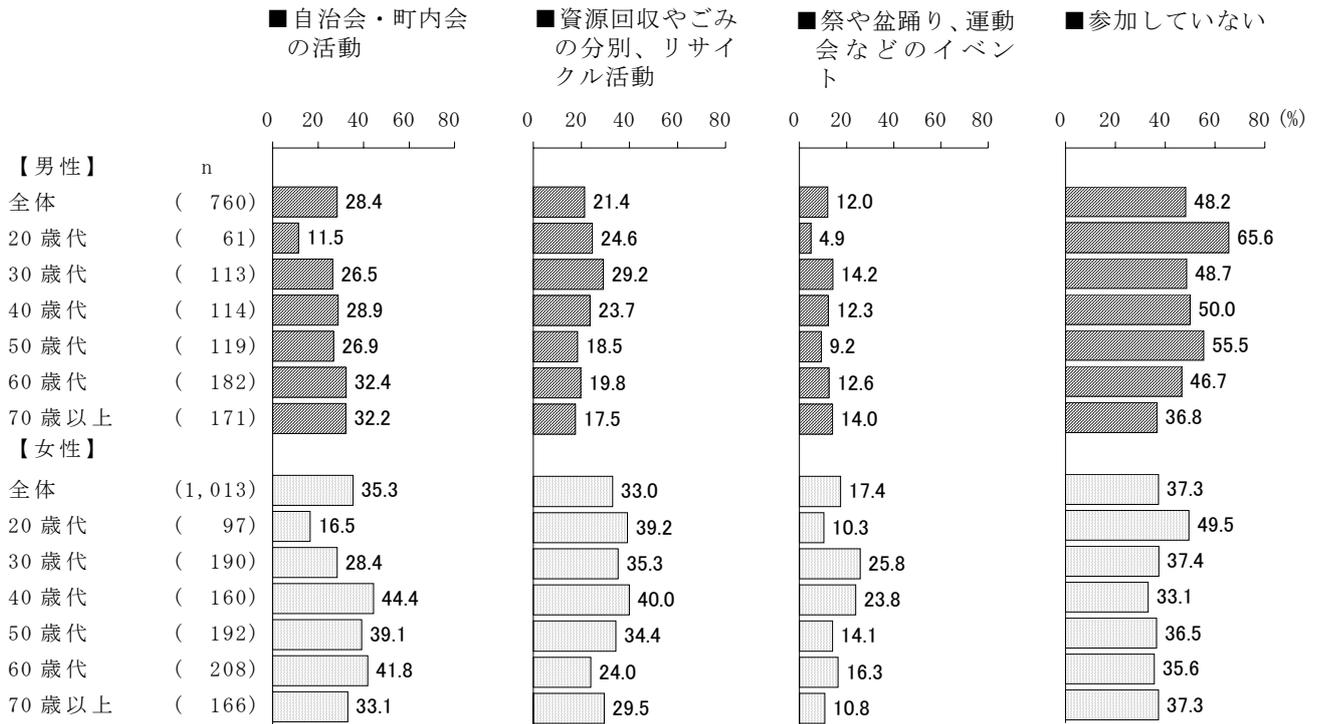


【性・年齢別 参加している地域活動（上位3項目＋「参加していない」）】

性・年齢別にみると、「自治会・町内会の活動」では、女性の40歳代から60歳代が約4割で高くなっている。一方、男女とも20歳代では1割台にとどまっている。「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」では、女性の20歳代（39.2%）と40歳代（40.0%）が約4割で高くなっている。一方、男性の50歳代以上では1割台にとどまっている。

「参加していない」は男性の20歳代（65.6%）が6割を超えて特に高く、男性の30歳代から50歳代と女性の20歳代でも約5割となっている。（図2-1-3）

図 2-1-3 性・年齢別 参加している地域活動
(上位3項目+「参加していない」)

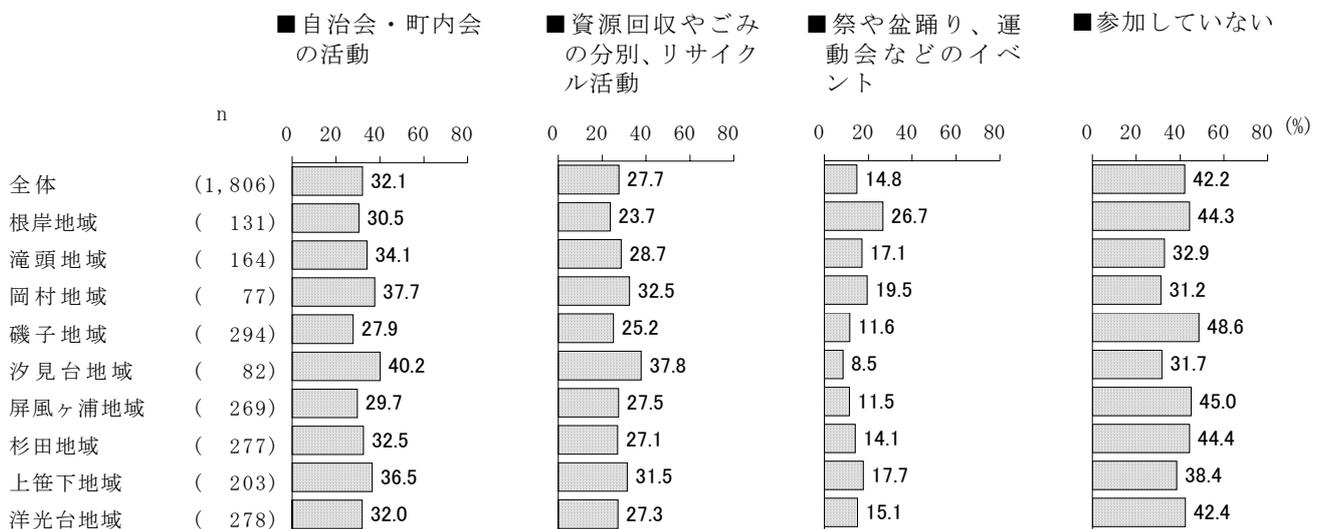


【居住地域別 参加している地域活動 (上位3項目+「参加していない」)】

居住地域別にみると、「自治会・町内会の活動」と「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」では『汐見台地域』がどちらも約4割で他の地域と比較して高くなっている。「祭や盆踊り、運動会などのイベント」は、『根岸地域』(26.7%)が2割台で高い一方、『汐見台地域』(8.5%)では1割に達していない。

「参加していない」は、『岡村地域』(31.2%)、『汐見台地域』(31.7%)、『滝頭地域』(32.9%)の3地域が3割台前半で他の地域よりも低くなっている。(図2-1-4)

図 2-1-4 居住地域別 参加している地域活動
(上位3項目+「参加していない」)



2. 地域活動に参加する目的

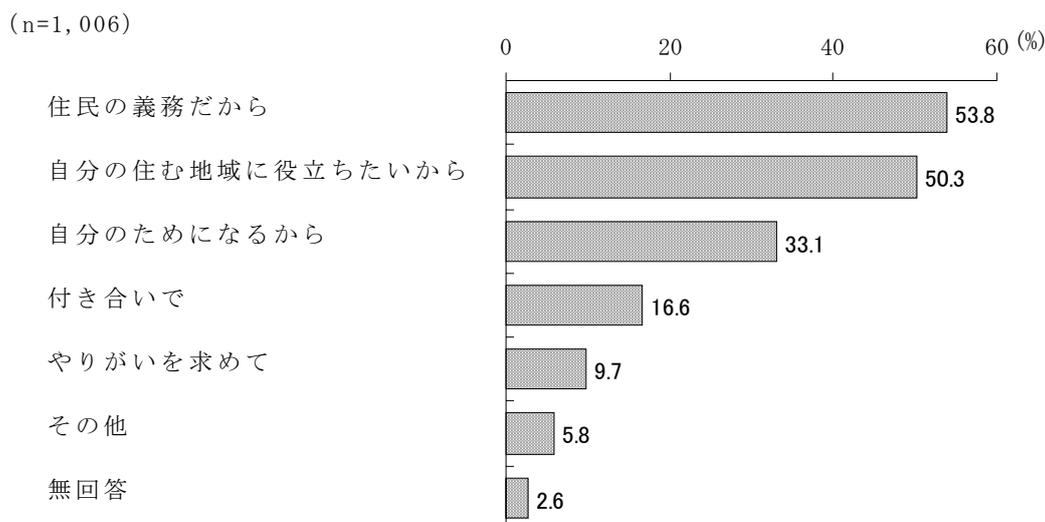
「住民の義務だから」と「自分の住む地域に役立ちたいから」が半数を超える。

(問3で「1」～「14」と答えた方に)

問3-1 あなたが、地域活動に参加する目的は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図2-2-1

【複数回答】



地域活動に参加する目的は、「住民の義務だから」(53.8%)と「自分の住む地域に役立ちたいから」(50.3%)が半数を超えて高くなっており、「自分のためになるから」(33.1%)が3割台で続いている。(図2-2-1)

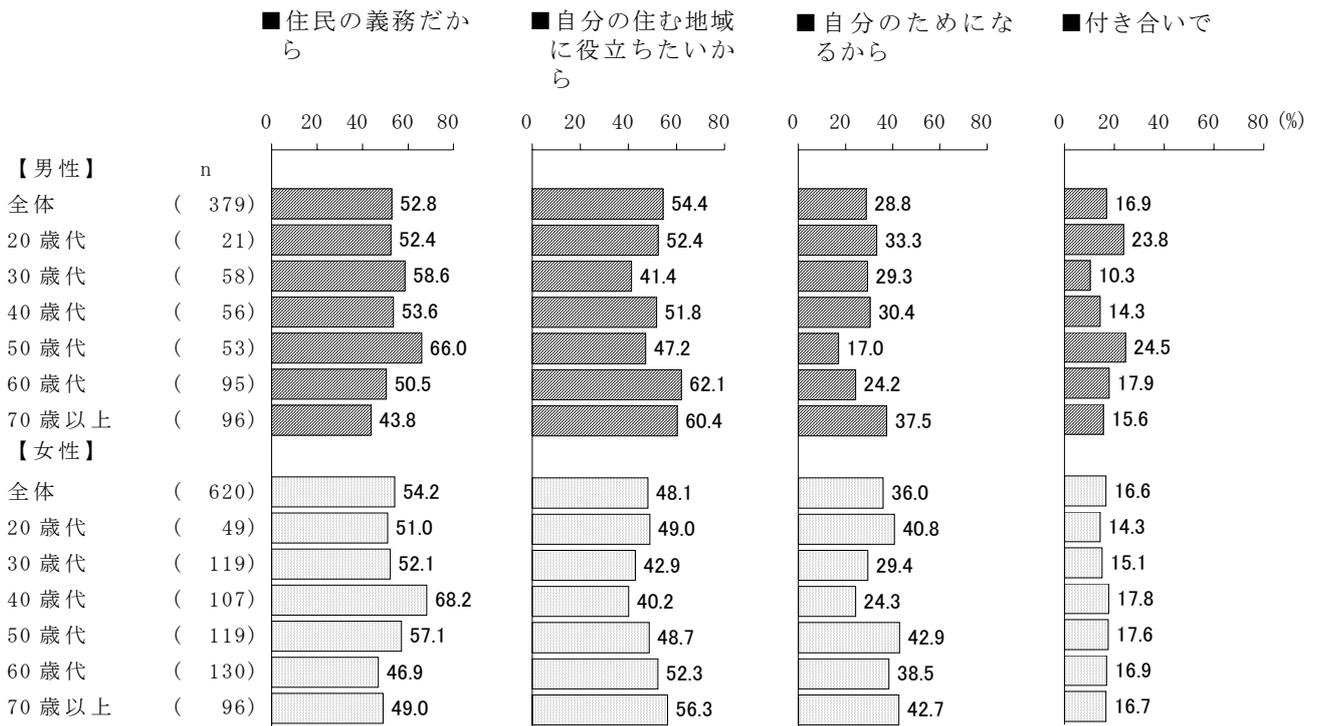
【性・年齢別 地域活動に参加する目的(上位4項目)】

性・年齢別にみると、「住民の義務だから」は、男性の50歳代(66.0%)と女性の40歳代(68.2%)で、「自分の住む地域に役立ちたいから」では男性の60歳代以上で、それぞれ6割を超えて特に高くなっている。「自分のためになるから」は、女性の20歳代(40.8%)、50歳代(42.9%)、70歳以上(42.7%)で4割を超えている一方、男性の50歳代(17.0%)は1割台にとどまっている。(図2-2-2)

【居住地域別 地域活動に参加する目的(上位4項目)】

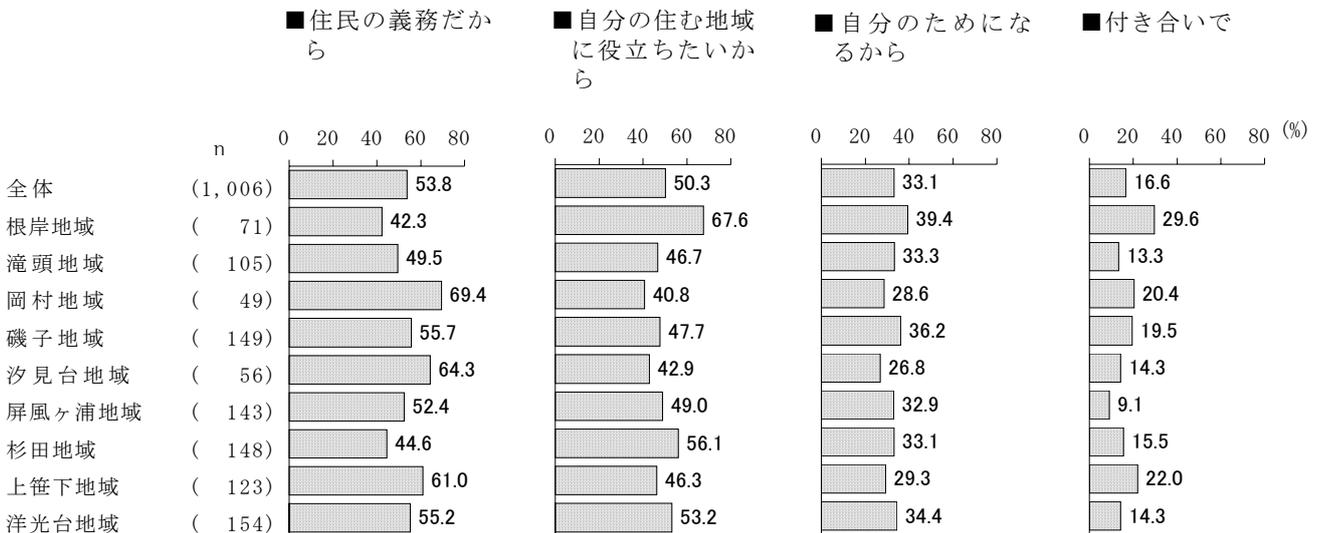
居住地域別にみると、「住民の義務だから」は、『岡村地域』(69.4%)、『汐見台地域』(64.3%)、『上笹下地域』(61.0%)の3地域で、「自分の住む地域に役立ちたいから」では『根岸地域』(67.6%)で6割を超えて特に高くなっている。「付き合いで」は、『根岸地域』(29.6%)が約3割で他の地域より高くなっている。(図2-2-3)

図 2-2-2 性・年齢別 地域活動に参加する目的（上位4項目）



* 男性の20歳代は基数が30未満で少ないため、文中では触れていない。

図 2-2-3 居住地域別 地域活動に参加する目的（上位4項目）



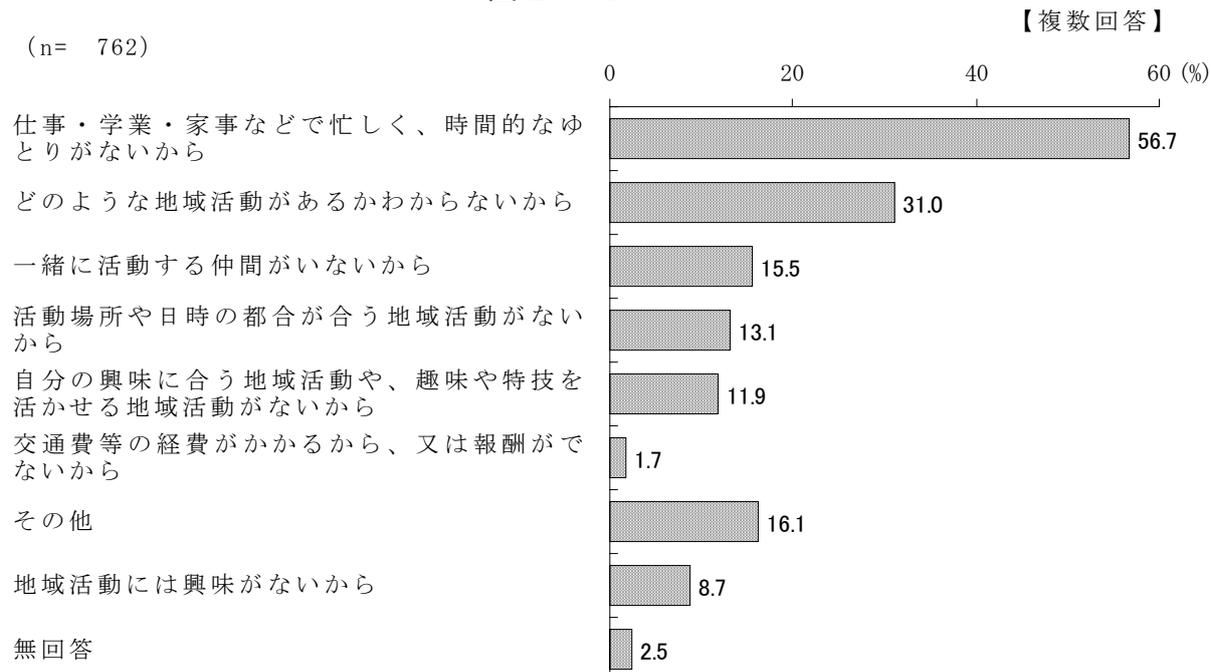
3. 地域活動に参加していない理由

「仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから」が56.7%。

(問3で「15」と答えた方に)

問3-2 あなたが地域活動に参加していない理由は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図2-3-1



地域活動に参加していない理由は、「仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから」が56.7%で特に高く、「どのような地域活動があるかわからないから」(31.0%)が3割台で続いている。「その他」では、「高齢だから」や「体調が悪いから」などの記入があった。

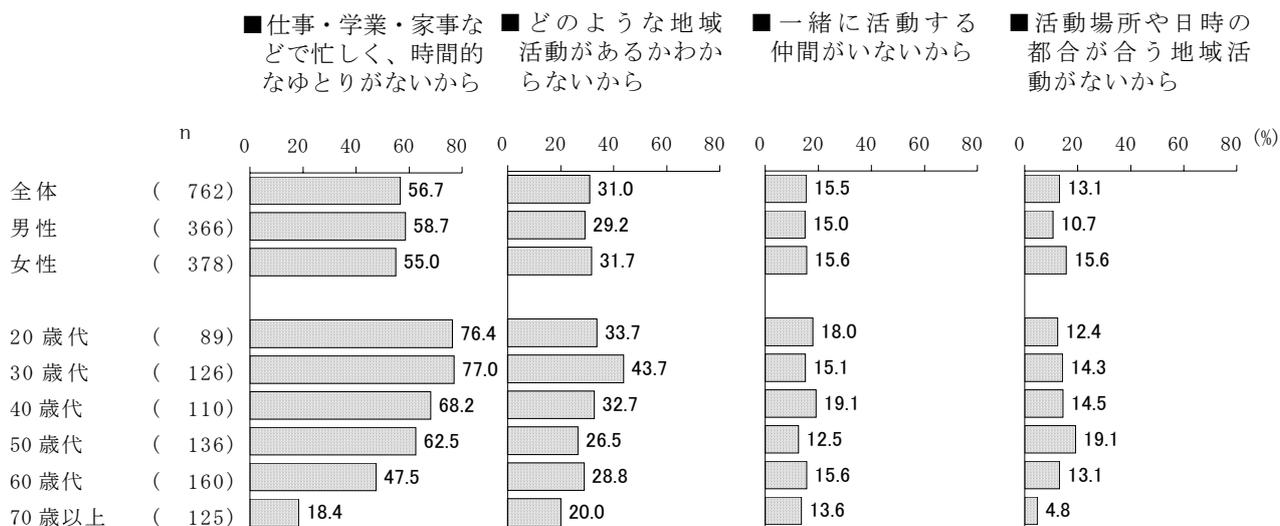
なお、「地域活動には興味がないから」は8.7%となっている。(図2-3-1)

【性別・年齢別 地域活動に参加していない理由（上位4項目）】

性別では特に大きな違いは無い。

年齢別にみると、「仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから」は、年齢が下がるにつれて高くなっており、20歳代から30歳代では7割を超えている。「どのような地域活動があるかわからないから」は、30歳代（43.7%）が4割台で高い一方、70歳以上（20.0%）では他の年齢層と比較して低くなっている。（図2-3-2）

図2-3-2 性別・年齢別 地域活動に参加していない理由（上位4項目）



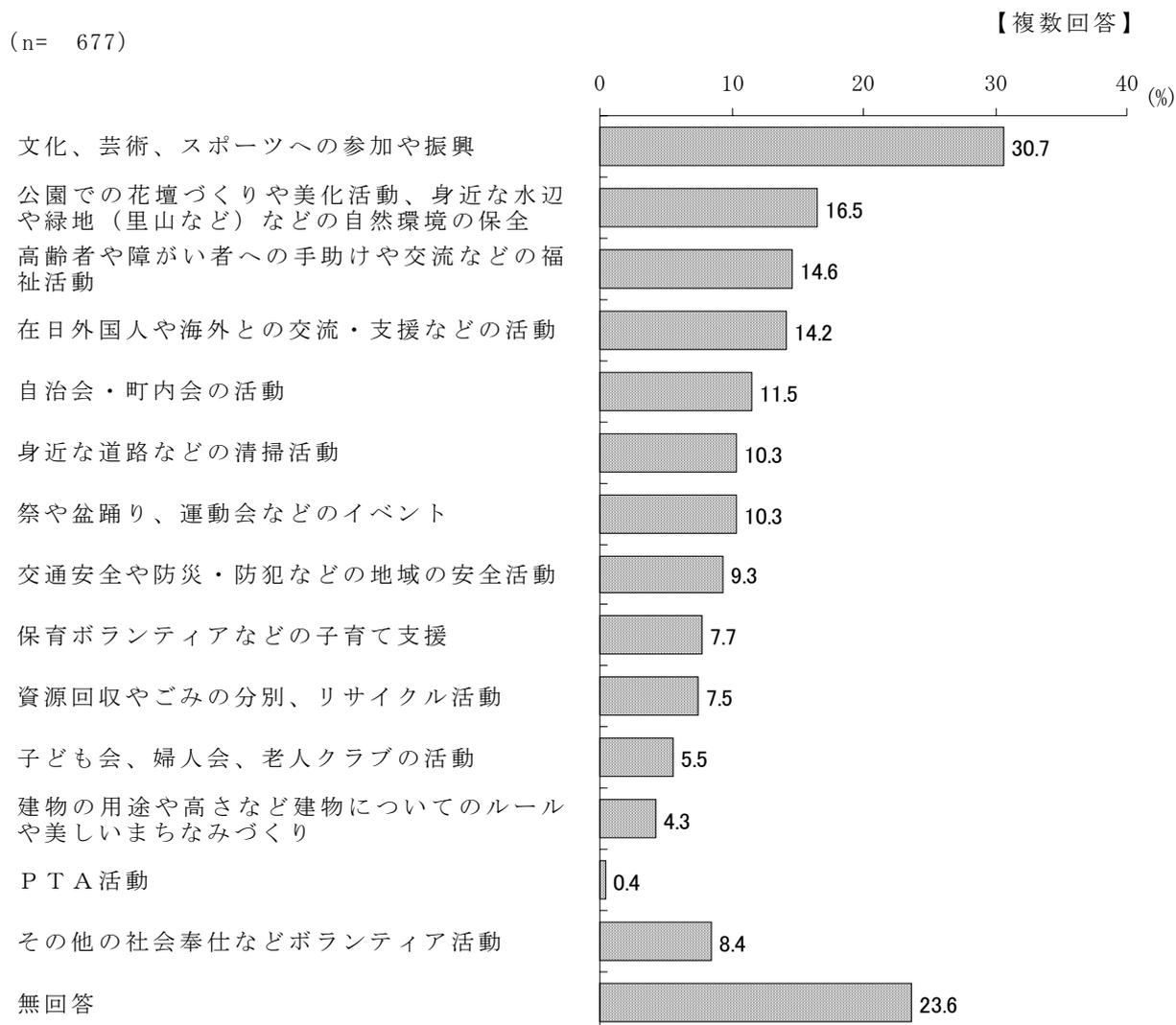
4. 問題が解決した場合に参加したい地域活動

「文化、芸術、スポーツへの参加や振興」が30.7%。

(問3-2で「1」～「7」と答えた方に)

問3-2-1 あなたは、今後問3-2の問題が解決した場合にはどのような地域活動に参加してみたいですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図2-4-1



問題が解決した場合に参加したい地域活動は「文化、芸術、スポーツへの参加や振興」（30.7%）が3割に達して特に高く、「公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺や緑地（里山など）などの自然環境の保全」（16.5%）、「高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動」（14.6%）、「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」（14.2%）が続いている。（図2-4-1）

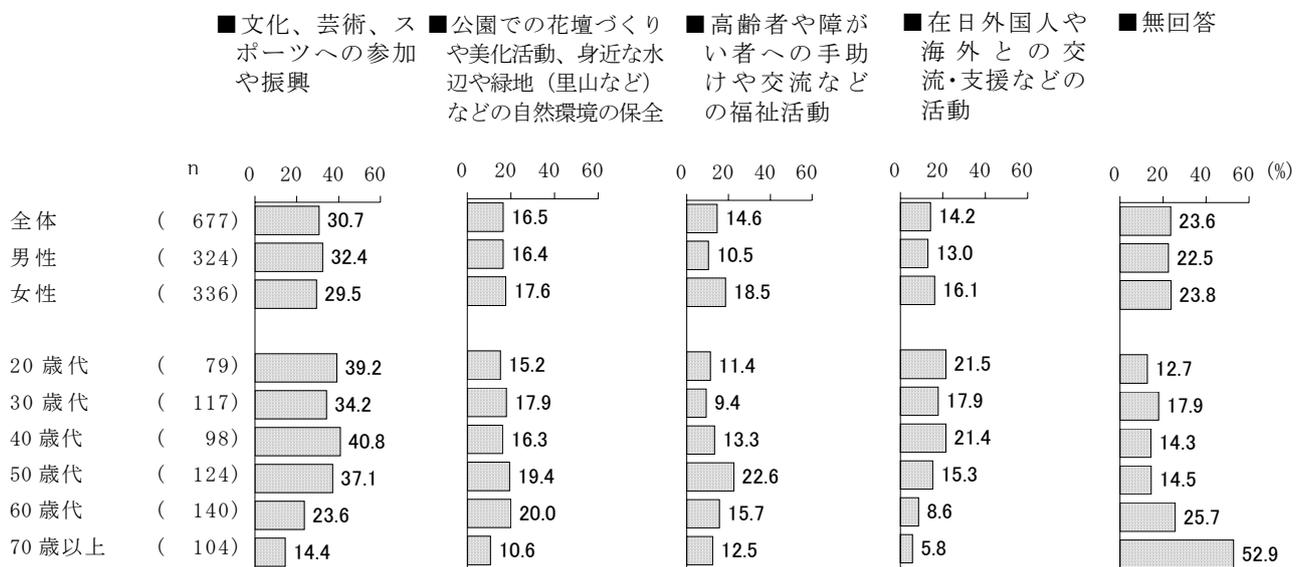
【性別・年齢別 問題が解決した場合に参加したい地域活動(上位4項目+「無回答」)】

性別にみると、「高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動」では、女性（18.5%）の割合が男性（10.5%）より高くなっている。

年齢別にみると、「文化、芸術、スポーツへの参加や振興」は、20歳代から50歳代までで高く、特に20歳代（39.2%）と40歳代（40.8%）では約4割となっている。

「高齢者や障がい者への手助けや交流などの福祉活動」では、50歳代（22.6%）で2割を超えて他の年齢層より高くなっている。「在日外国人や海外との交流・支援などの活動」は年齢が下がるにつれて高くなる傾向があり、20歳代（21.5%）と40歳代（21.4%）で2割を超えている。（図2-4-2）

図2-4-2 性別・年齢別 問題が解決した場合に参加したい地域活動
(上位4項目+「無回答」)



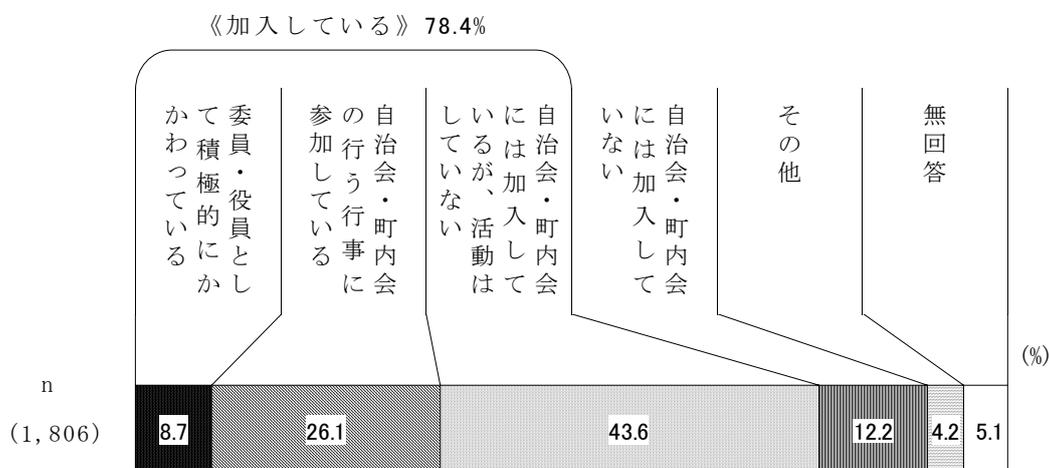
3. 自治会・町内会との関わりについて

1. 自治会・町内会への参加状況

「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」の割合が43.6%で最も高い。

問4 あなたは、自治会・町内会とどのように関わっていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図3-1-1



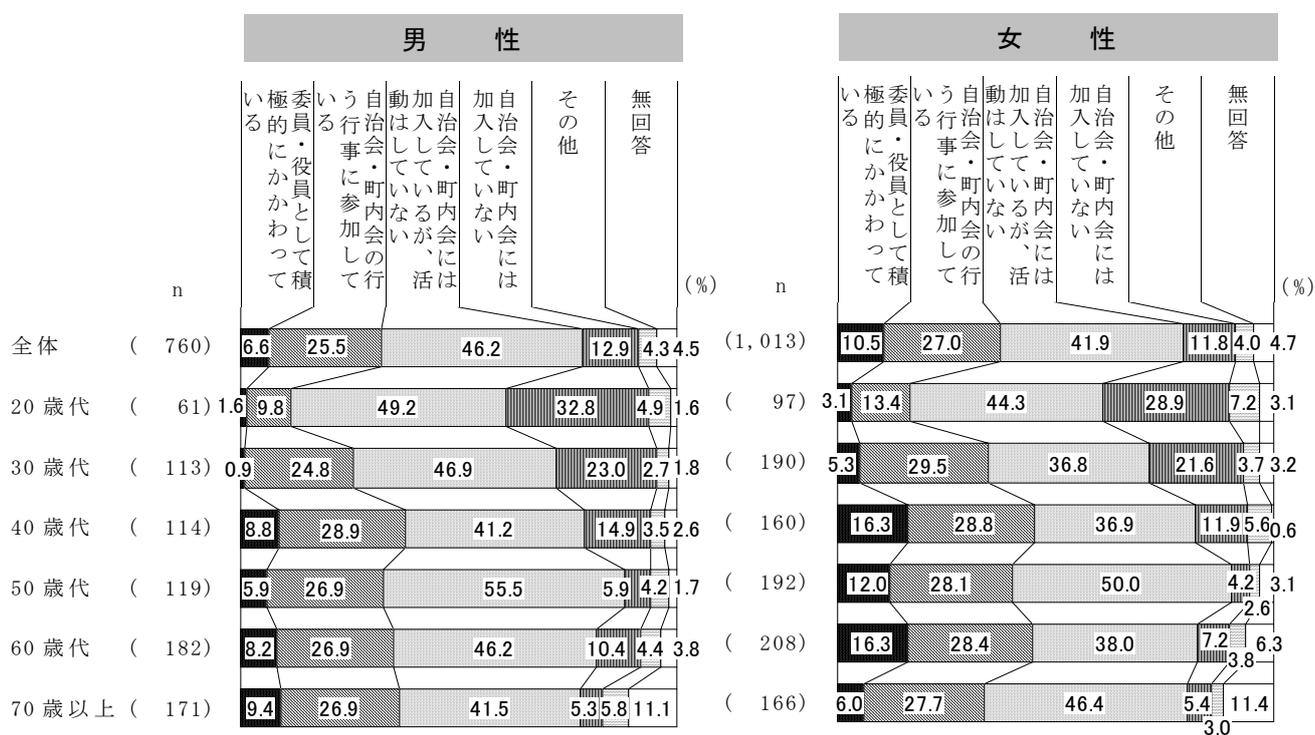
自治会・町内会への参加状況は、「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」の割合が43.6%で最も高く、「自治会・町内会の行う行事に参加している」(26.1%)が2割台で続いている。また、「委員・役員として積極的にかかわっている」(8.7%)、「自治会・町内会の行う行事に参加している」、「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」の3項目を合わせた《加入している》は、78.4%で約8割となっている。なお、「自治会・町内会には加入していない」は12.2%となっている。(図3-1-1)

【性・年齢別 自治会・町内会への参加状況】

性・年齢別にみると、《加入している》は男性の60歳代（81.3%）と女性の40歳代以上で8割を超えて高く、特に女性の50歳代（90.1%）では9割に達している。一方で、「自治会・町内会には加入していない」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向があり、特に男性の20歳代（32.8%）では3割を超えている。

「委員・役員として積極的にかかわっている」は、女性の40歳代と60歳代が16.3%で並んで高くなっている。「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」は、男性の20歳代と男女とも50歳代で約半数となっている。（図3-1-2）

図3-1-2 性・年齢別 自治会・町内会への参加状況

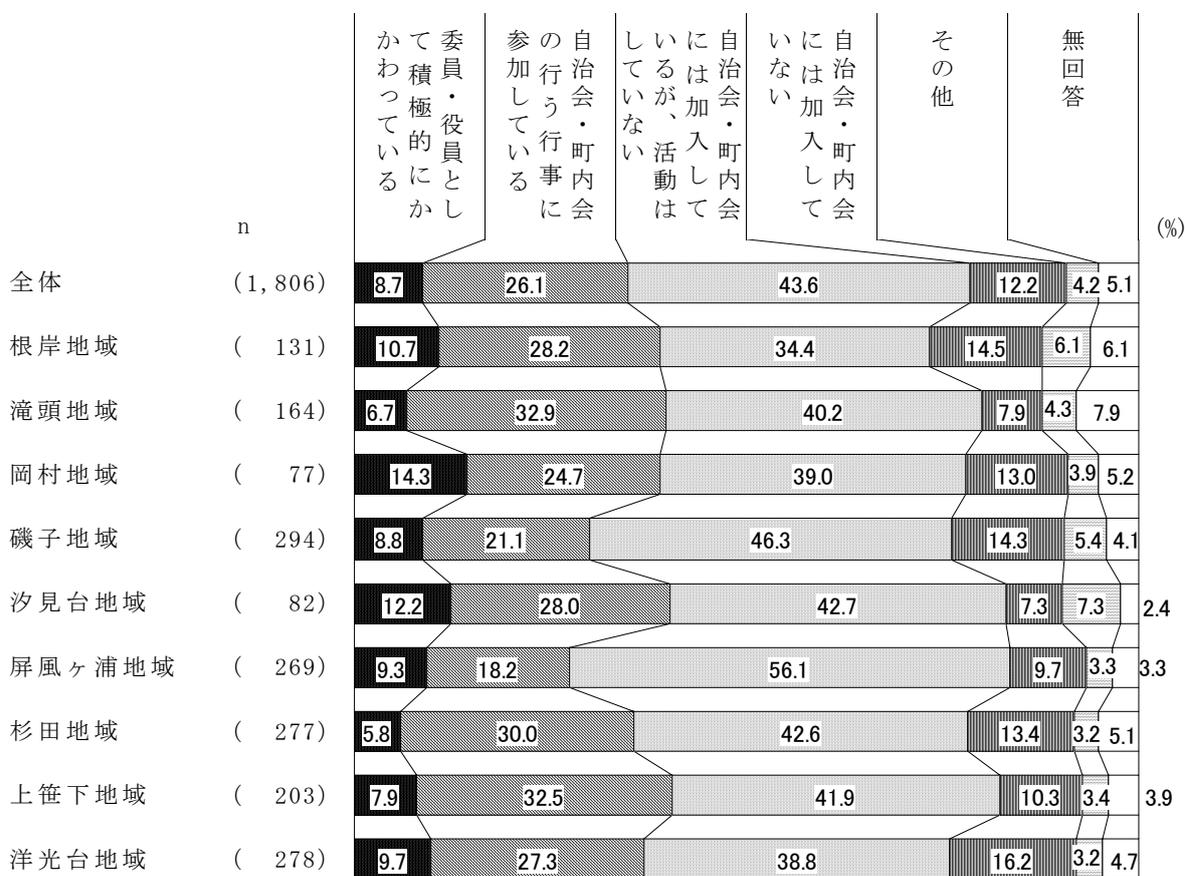


【居住地域別 自治会・町内会への参加状況】

居住地域別にみると、《加入している》は全ての地域で7割を超えて高く、特に屏風ヶ浦地域（83.6%）と上笹下地域（82.3%）、汐見台地域（82.9%）の3地域で8割を超えている。

「委員・役員として積極的にかかわっている」は、『岡村地域』（14.3%）で、「自治会・町内会の行う行事に参加している」は、『滝頭地域』（32.9%）と『上笹下地域』（32.5%）で、それぞれ他の地域と比較して高くなっている。「自治会・町内会には加入しているが、活動はしていない」は、『屏風ヶ浦地域』（56.1%）で半数を超えて高くなっている。（図3-1-3）

図3-1-3 居住地域別 自治会・町内会への参加状況



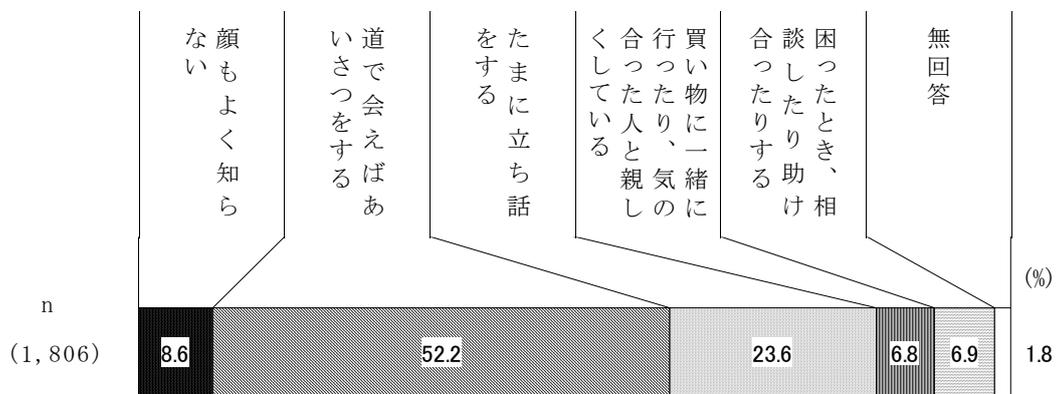
4. 近隣にお住まいの方々とのおつきあいについて

1. 近所づきあいの程度

「道で会えばあいさつをする」が52.2%で半数を超える。

問5 あなたは、近隣にお住まいの方々と普段どのようなつきあい方をしていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図4-1-1

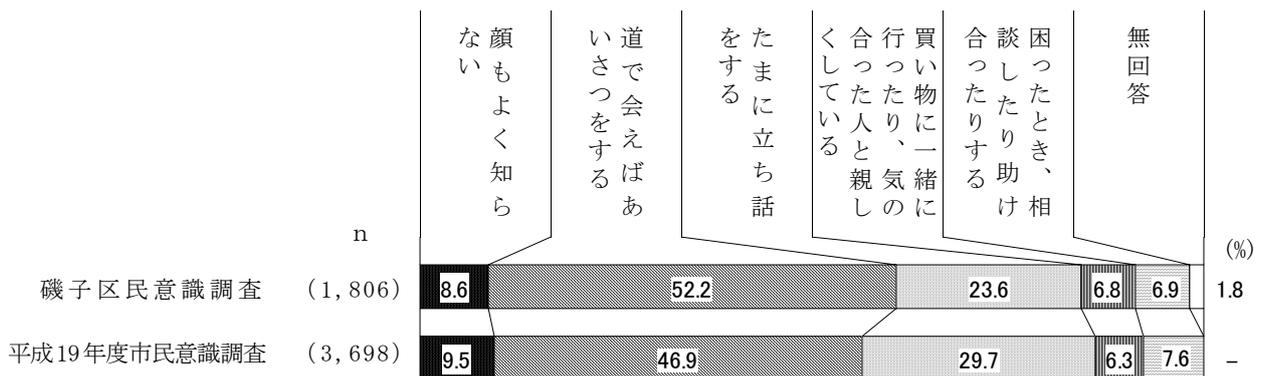


近所づきあいの程度は、「道で会えばあいさつをする」が52.2%で半数を超え、「たまに立ち話をする」(23.6%)が2割台で続いている。「顔もよく知らない」は8.6%であった。(図4-1-1)

【参考：市民意識調査との比較】

平成19年度の横浜市民意識調査と比較すると、磯子区民意識調査の方が「道で会えばあいさつをする」が5.3ポイント高くなっている。(図4-1-2)

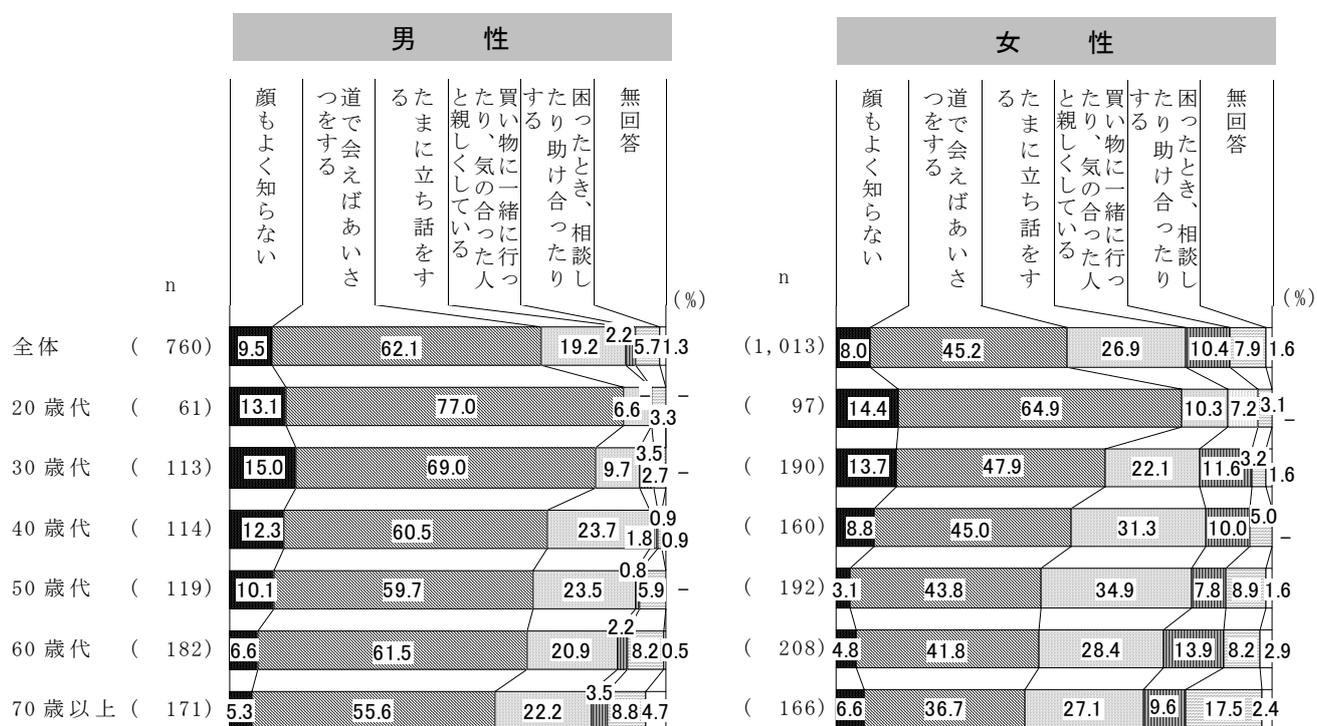
図4-1-2 市民意識調査との比較



【性・年齢別 近所づきあいの程度】

性・年齢別にみると、全ての年齢層で「道で会えばあいさつをする」の割合が最も高くなっている。男女とも「顔もよく知らない」と「道で会えばあいさつをする」は年齢が下がるにつれて高くなっており、特に男性の20歳代では、「道で会えばあいさつをする」が7割を超えて高くなっている。「たまに立ち話をする」は、女性の40歳代から50歳代が3割台で、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」は、女性の70歳以上（17.5%）が1割台で、それぞれ他の年齢層と比較して高くなっている。（図4-1-3）

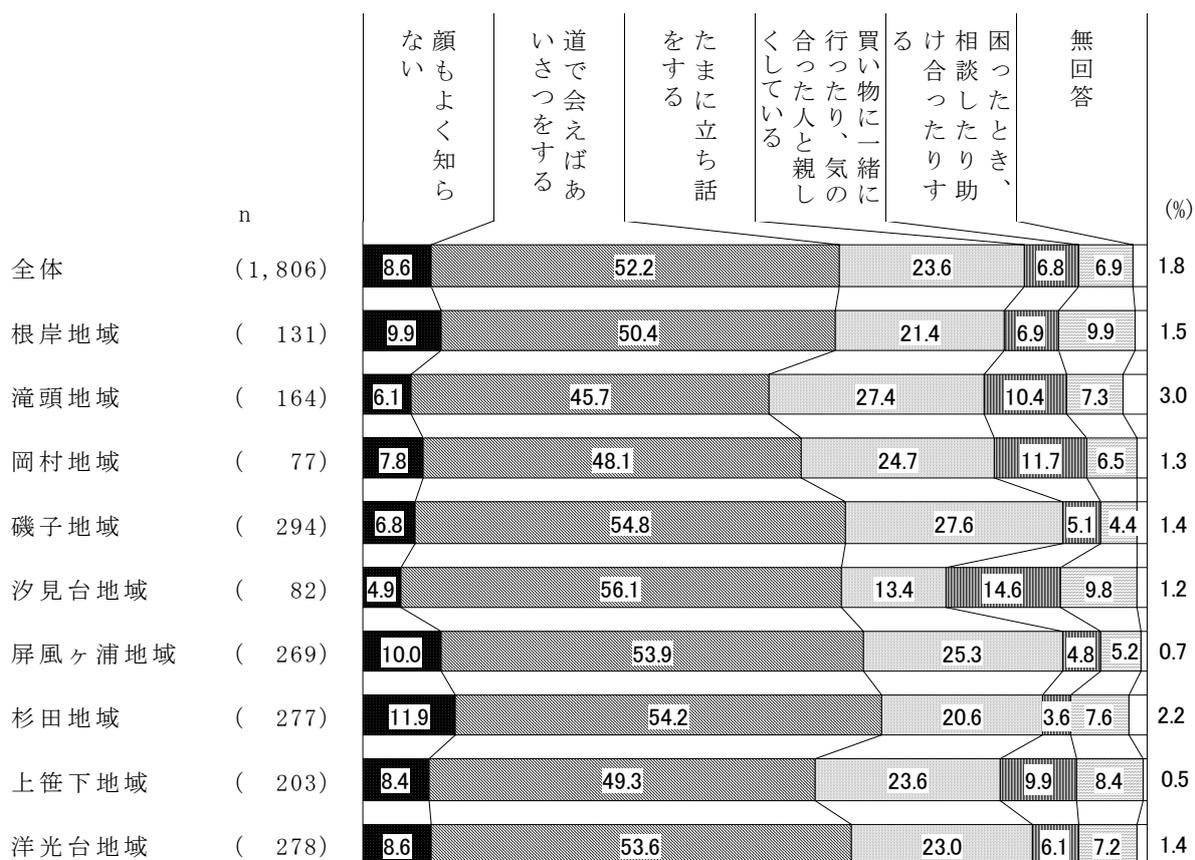
図4-1-3 性・年齢別 近所づきあいの程度



【居住地域別 近所づきあいの程度】

居住地域別にみると、全ての地域で「道であえばあいさつをする」の割合が最も高くなっている。「たまに立ち話をする」は、『磯子地域』（27.6%）と『滝頭地域』（27.4%）が他の地域と比較して高く、「買い物と一緒にいたり、気合った人と親しくしている」は、『汐見台地域』（14.6%）と『岡村地域』（11.7%）で他の地域と比較して高くなっている。（図4-1-4）

図4-1-4 居住地域別 近所づきあいの程度

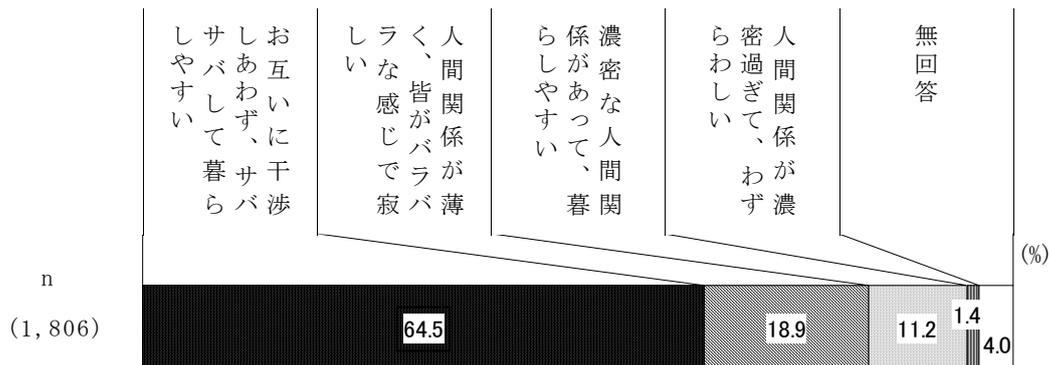


2. 近所づきあいについて思うこと

「お互いに干渉しあわず、サバサバして暮らしやすい」が64.5%。

問6 あなたは、近隣にお住まいの方々とのおつきあいをどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図4-2-1

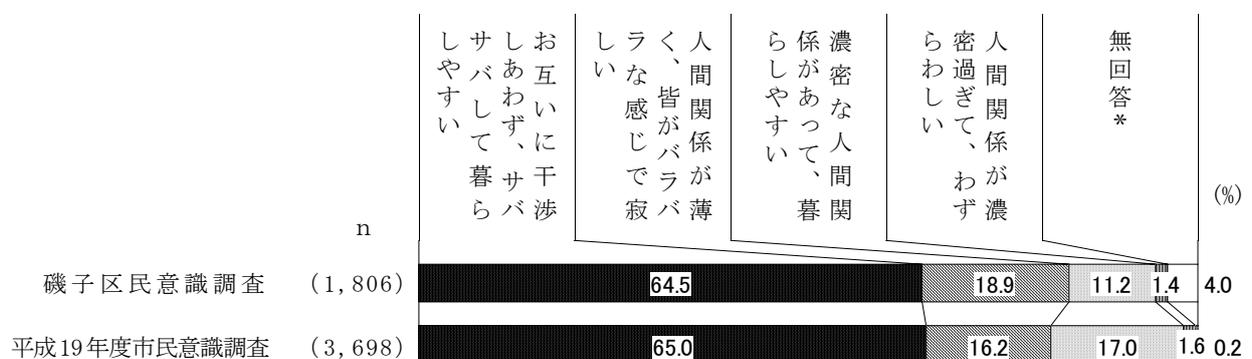


近所づきあいについて思うことは、「お互いに干渉しあわず、サバサバして暮らしやすい」が64.5%で特に高くなっており、「人間関係が薄く、皆がバラバラな感じで寂しい」（18.9%）、「濃密な人間関係があって、暮らしやすい」（11.2%）の順で続いている。（図4-2-1）

【参考：市民意識調査との比較】

平成19年度の横浜市民意識調査と比較すると、「濃密な人間関係があって暮らしやすい」は市民意識調査のほうが5.8ポイント高くなっている。（図4-2-2）

図4-2-2 市民意識調査との比較



*平成19年度市民意識調査では「不明」。

【性・年齢別 近所づきあいについて思うこと】

性・年齢別にみると、「お互いに干渉しあわず、サバサバとして暮らしやすい」の割合は全ての年齢層で最も高くなっており、特に女性の40歳代（78.1%）で約8割と特に高くなっている。「人間関係が薄く、皆がバラバラな感じで寂しい」は男性の30歳代（24.8%）と60歳代（24.2%）で他の年齢層と比較して高くなっている。（図4-2-3）

【居住地域別 近所づきあいについて思うこと】

居住地域別にみると、「お互いに干渉しあわず、サバサバとして暮らしやすい」の割合は、全ての地域で最も高くなっているが、『汐見台地域』（58.5%）と『滝頭地域』（59.1%）は他の地域と比較して低くなっている。「濃密な人間関係があって暮らしやすい」は、『根岸地域』（19.1%）が約2割で他の地域と比較して高くなっている。（図4-2-4）

図4-2-3 性・年齢別 近所づきあいについて思うこと

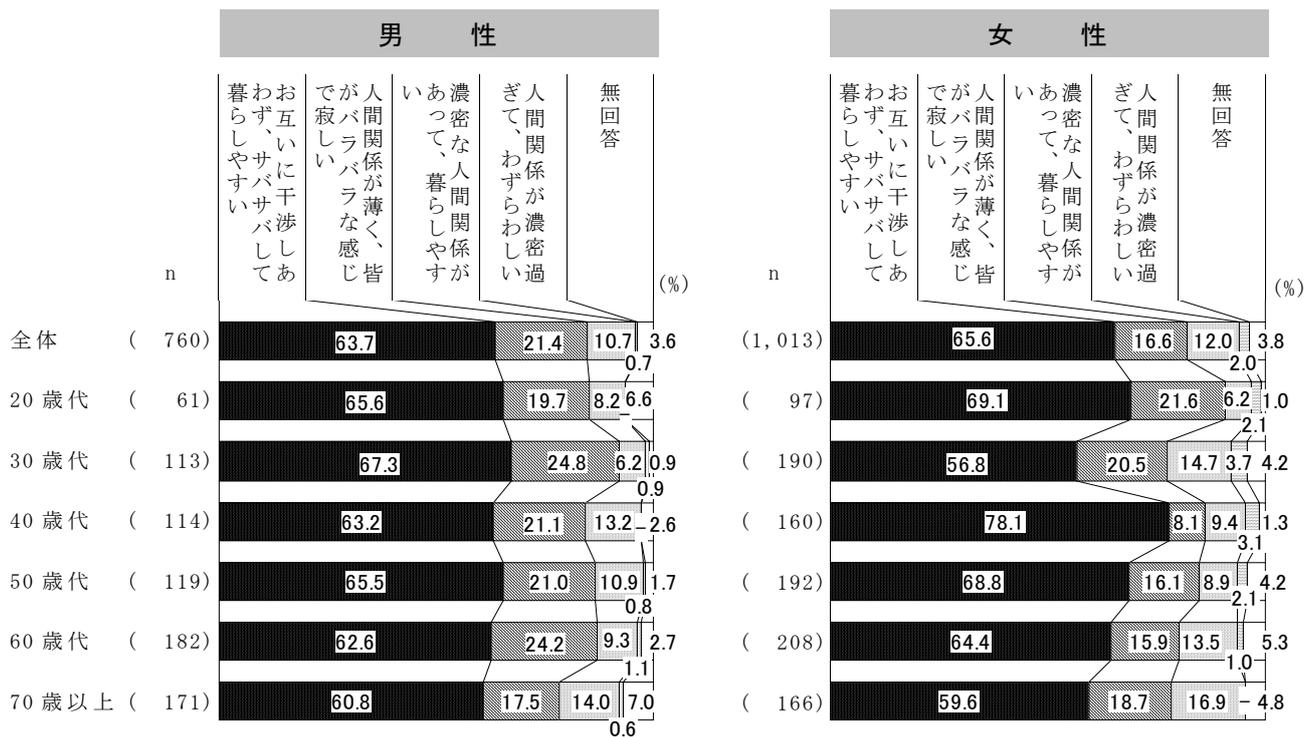
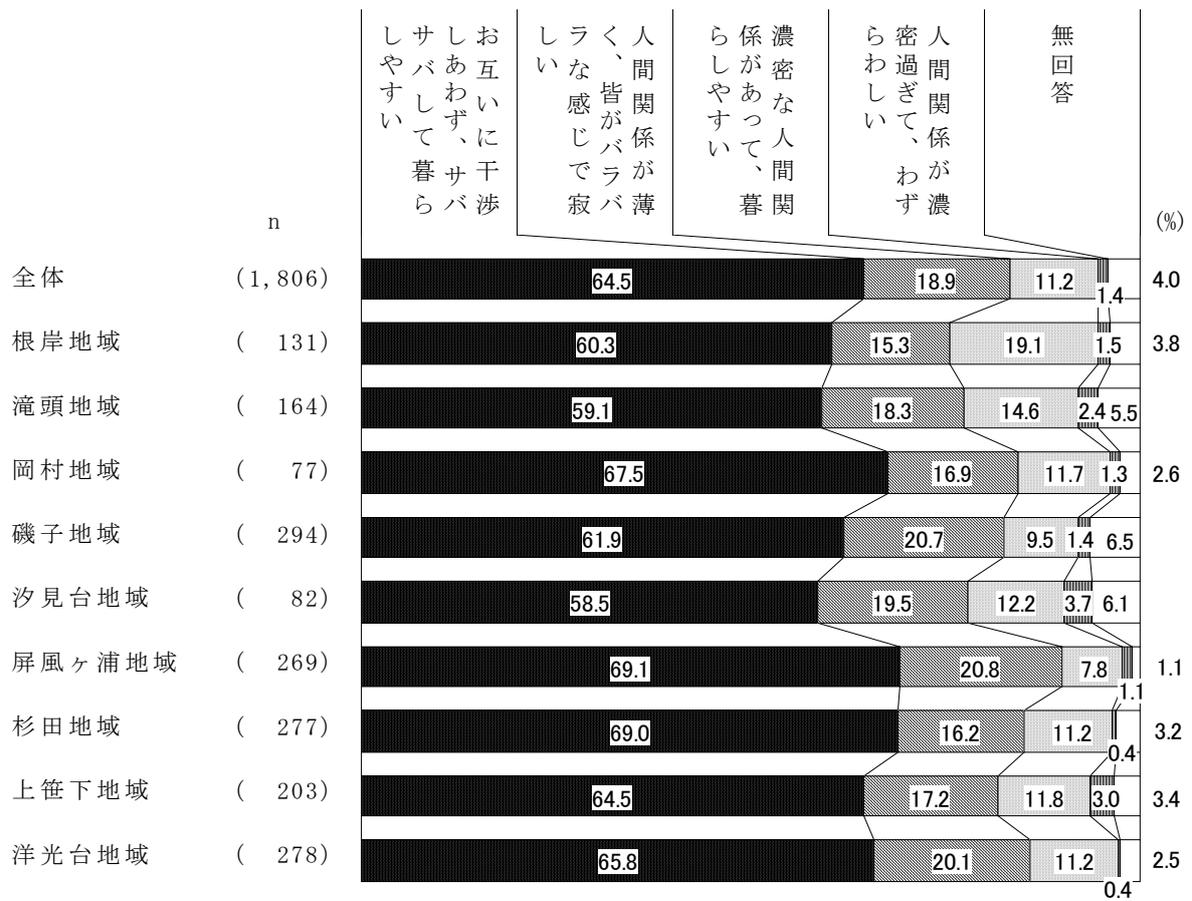


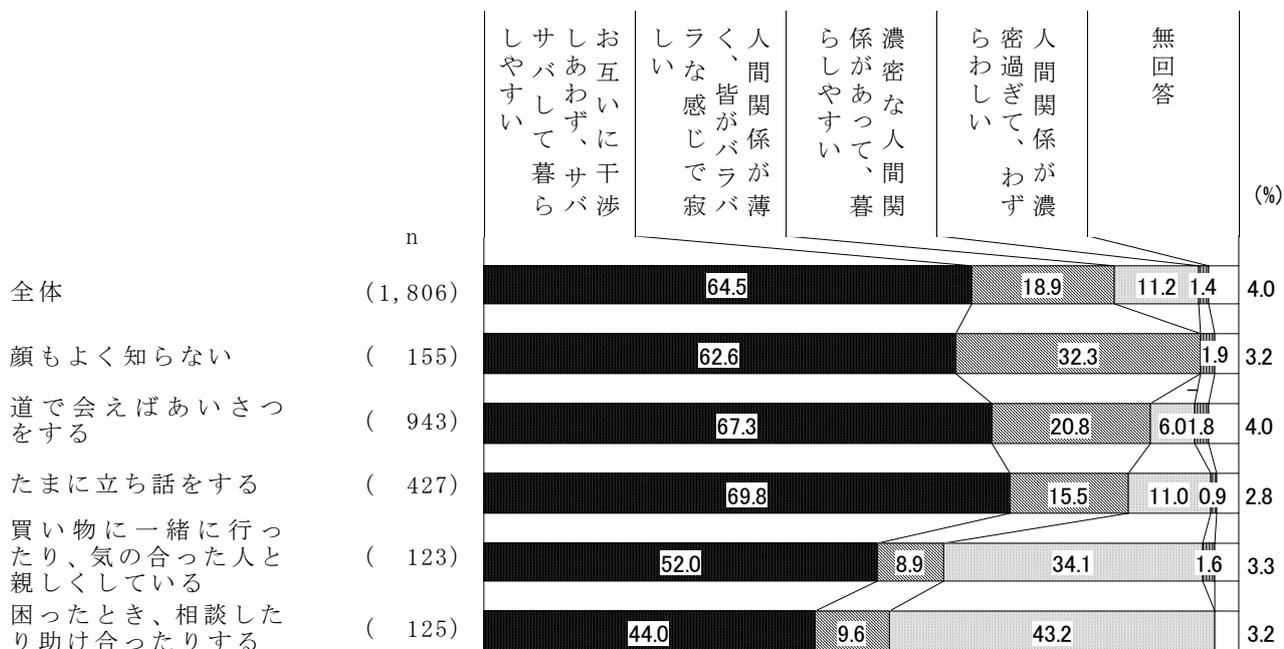
図 4 - 2 - 4 居住地域別 近所づきあいについて思うこと



【近所づきあいの程度別 近所づきあいについて思うこと】

近所づきあいの程度別にみると、『困ったとき、相談したり助け合ったりする』で「お互いに干渉しあわず、サバサバして暮らしやすい」（44.0%）と「濃密な人間関係があって、暮らしやすい」（43.2%）が4割台で並んでいるほかは、「お互いに干渉しあわず、サバサバして暮らしやすい」が半数を超え、特に『たまに立ち話をする』（69.8%）と『道で会えばあいさつをする』（67.3%）では約7割となっている。「人間関係が薄く、皆がバラバラな感じで寂しい」は、『顔もよく知らない』（32.3%）で3割台となり、他の近所づきあいの程度と比較して高くなっている。（図4-2-5）

図4-2-5 近所づきあいの程度別 近所づきあいについて思うこと



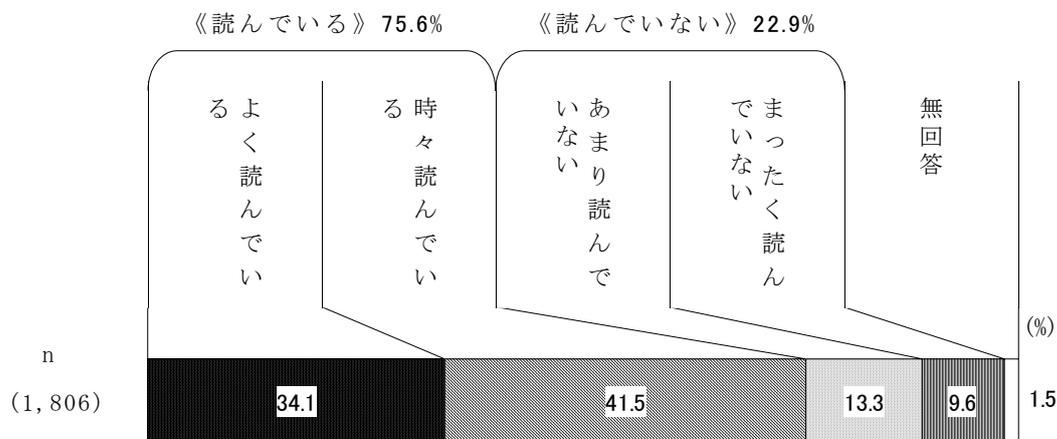
5. 区政情報の入手について

1. 「広報よこはま磯子区版」の閲読状況

《読んでいる》が75.6%で大半を占める。

問7 あなたは、「広報よこはま磯子区版」を読んでいますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図5-1-1

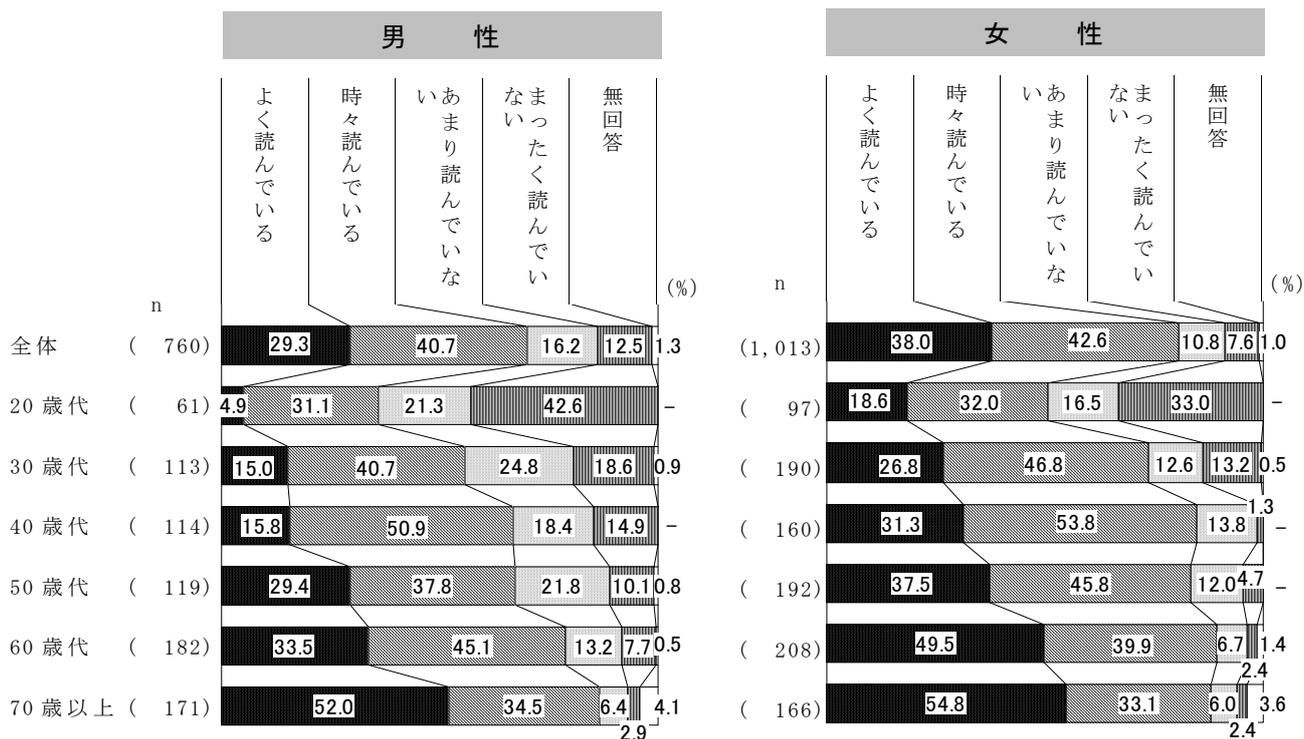


「広報よこはま磯子区版」の閲読状況は、「よく読んでいる」（34.1%）と「時々読んでいる」（41.5%）を合わせた《読んでいる》が75.6%で大半を占めている。一方、「あまり読んでいない」（13.3%）と「まったく読んでいない」（9.6%）を合わせた《読んでいない》は22.9%となっている。（図5-1-1）

【性・年齢別 「広報よこはま磯子区版」の閲読状況】

性・年齢別に見ると、「よく読んでいる」は女性（38.0%）の方が男性（29.3%）よりも高くなっている。また、男女とも年齢が上がるにつれて閲読率が高くなる傾向があり、男性の70歳以上と女性の40歳代以上では《読んでいる》が8割を超え、特に男女とも70歳以上では「よく読んでいる」が半数を超えている。一方で、男女とも20歳代では、「まったく読んでいない」が3割を超えて高くなっている。（図5-1-2）

図5-1-2 性・年齢別 「広報よこはま磯子区版」の閲読状況



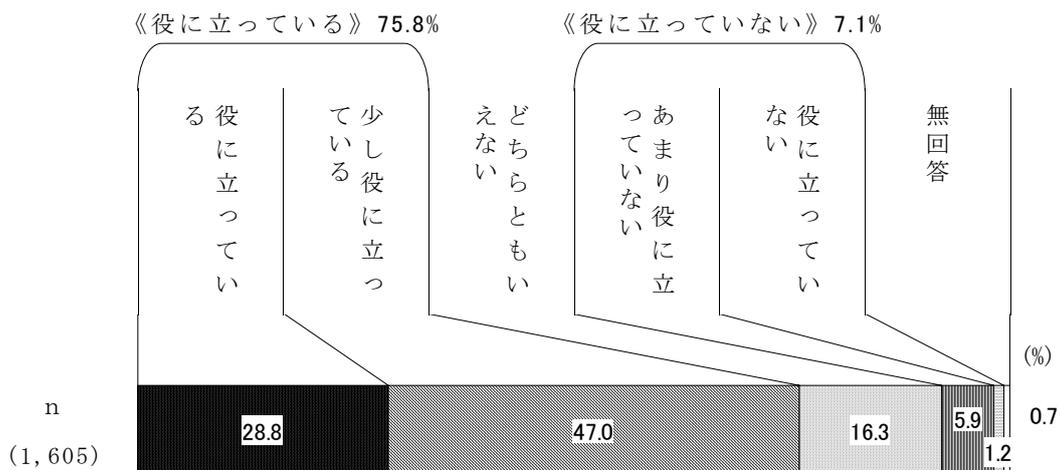
2. 「広報よこはま磯子区版」の有用度

《役に立っている》が75.8%。

(問7で「1」「2」「3」と回答した方に)

問7-1 「広報よこはま磯子区版」は、あなたが区政情報を入手するのに役立っていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図5-2-1

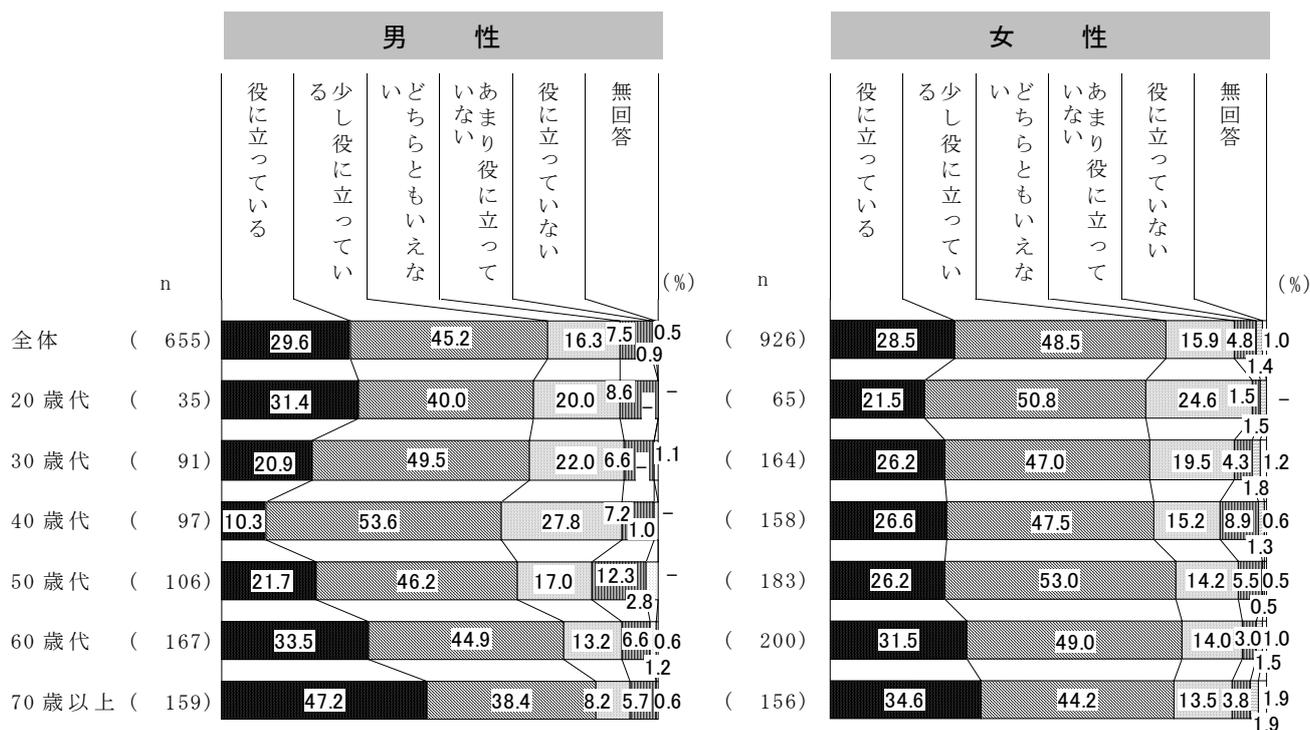


「広報よこはま磯子区版」の有用度では、「役に立っている」(28.8%)と「少し役に立っている」(47.0%)を合わせた《役に立っている》は、75.8%で大半を占めている。「あまり役に立っていない」(5.9%)と「役に立っていない」(1.2%)を合わせた《役に立っていない》は7.1%にとどまり、「どちらともいえない」が16.3%となっている。(図5-2-1)

【性・年齢別 「広報よこはま磯子区版」の有用度】

性・年齢別にみると、《役に立っている》は、男性の70歳以上と女性の60歳代で8割を超えている。また、「役に立っている」は、男性の70歳以上が4割台後半で特に高い一方、40歳代では約1割で特に低くなっている。「役に立っていない」は、男性の50歳代が12.3%で他の年齢層と比較して高くなっている。（図5-2-2）

図5-2-2 性・年齢別 「広報よこはま磯子区版」の有用度



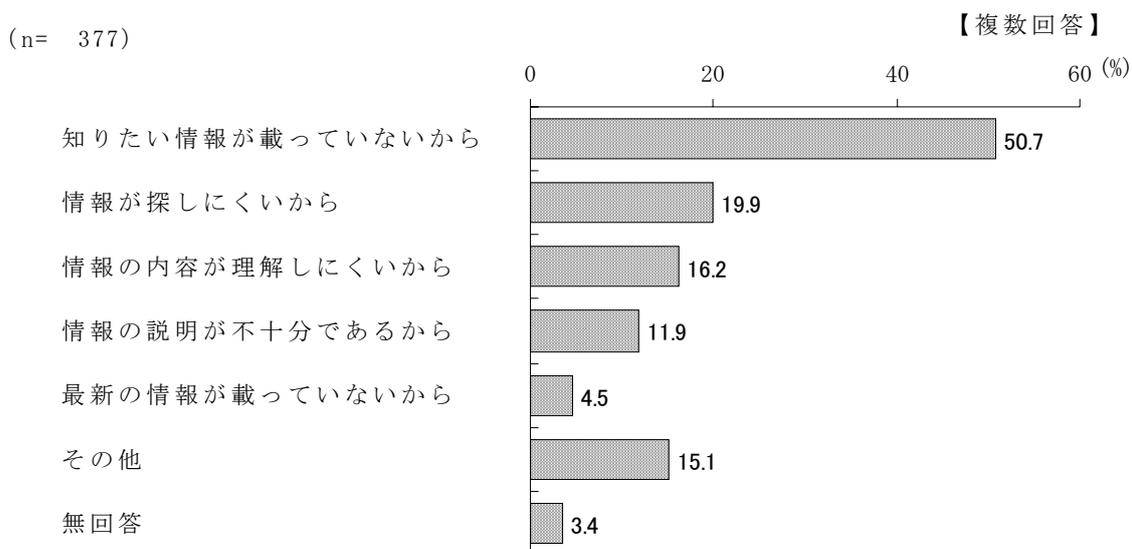
3. 「広報よこはま磯子区版」が役立たない理由

「知りたい情報が載っていないから」が半数を占める。

(問7-1で[3][4][5]と回答した方に)

問7-1-1 「広報よこはま磯子区版」が区政情報の入手に役に立っていない、または、どちらともいえないと思う理由は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図5-3-1



「広報よこはま磯子区版」が区政情報の入手に役に立っていないもしくは、どちらともいえない理由は、「知りたい情報が載っていないから」が50.7%と半数を占め、特に高くなっている。次いで「情報が探しにくいから」(19.9%)、「情報の内容が理解しにくいから」(16.2%)、「情報の説明が不十分であるから」(11.9%)の順が続いている。「その他」では、「特に必要としていない」や「読みにくいから」などの記入があった。(図5-3-1)

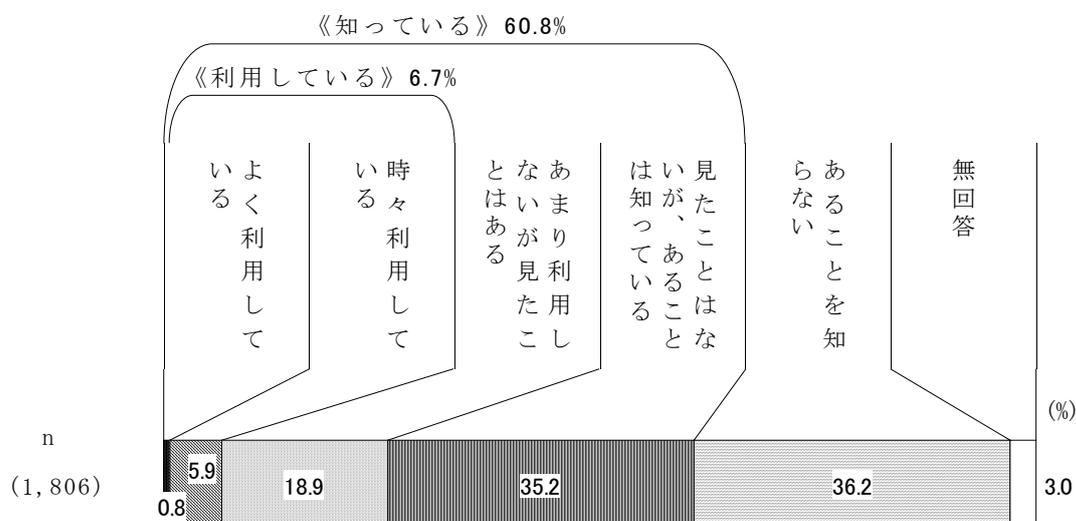
4. 「磯子区ホームページ」の認知度

《知っている》は60.8%で6割に達している。

(全員に)

問8 あなたは、「磯子区ホームページ」(<http://www.city.yokohama.jp/me/isogo/>)を知っていますか、また利用していますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図5-4-1



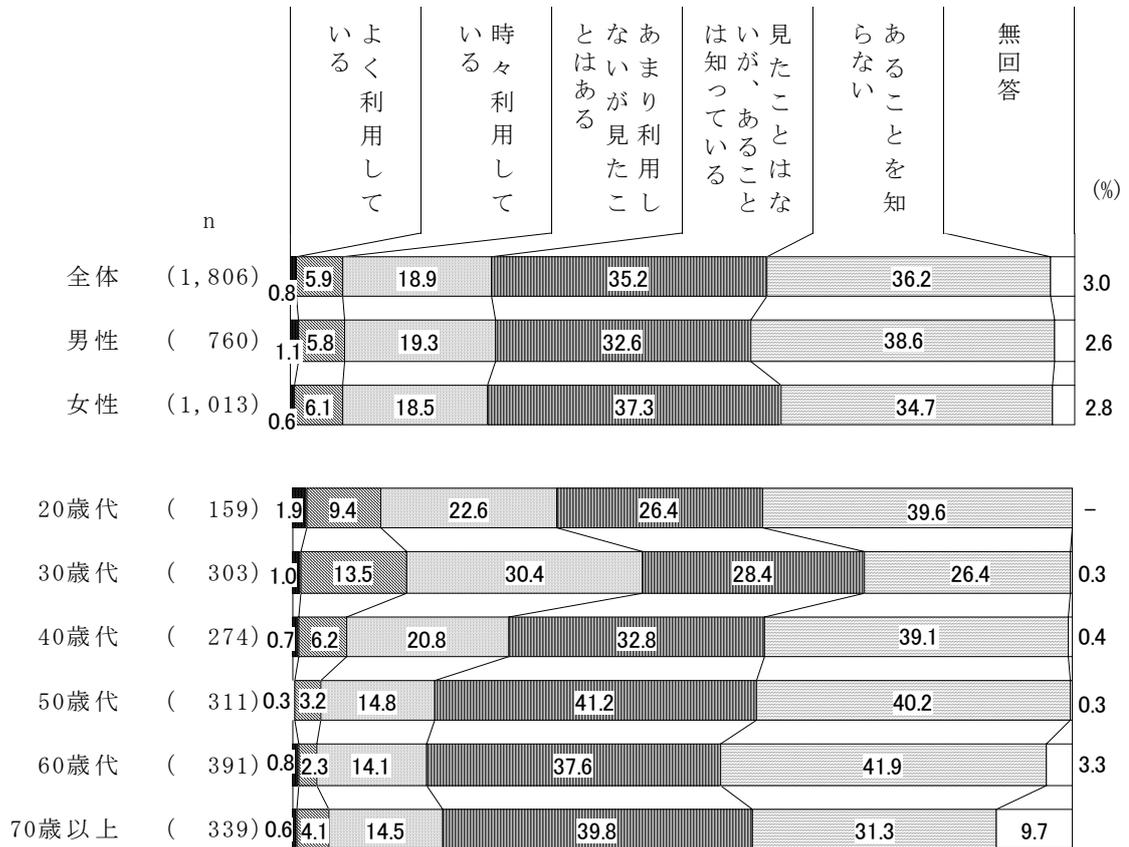
「磯子区ホームページの認知度」では、「よく利用している」(0.8%)と「時々利用している」(5.9%)を合わせた《利用している》は、6.7%にとどまっている。《利用している》に「あまり利用しないが見たことはある」(18.9%)、「見たことはないが、あることは知っている」(35.2%)を合わせた《知っている》は60.8%で6割に達している。

「見たことはないが、あることは知っている」と「あることを知らない」(36.2%)は3割台で並んで高くなっている。(図5-4-1)

【性別・年齢別 「磯子区ホームページ」の認知度】

性別・年齢別にみると、《知っている》は、30歳代が73.3%と7割を超えて特に高くなっている。そのうち、《利用している》も、20歳代から30歳代で1割を超えて高くなっている。（図5-4-2）

図5-4-2 性別・年齢別 「磯子区ホームページ」の認知度



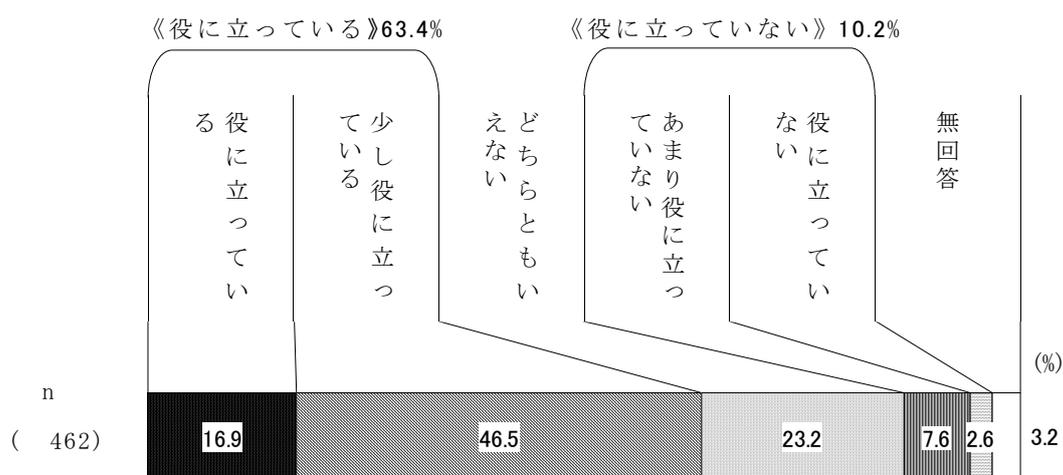
5. 「磯子区ホームページ」の有用度

《役に立っている》は、6割を超える。

(問8で「1」「2」「3」と回答した方に)

問8-1 「磯子区ホームページ」は、あなたが区政情報を入手するのに役立っていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図5-5-1



「磯子区ホームページ」の有用度は、「少し役に立っている」が46.5%で最も高く、「役に立っている」(16.9%)と合わせた《役に立っている》は、63.4%で6割を超えている。一方、「あまり役に立っていない」(7.6%)と「役に立っていない」(2.6%)を合わせた《役に立っていない》(10.2%)は、約1割となっている。なお、「どちらともいえない」は23.2%であった。(図5-5-1)

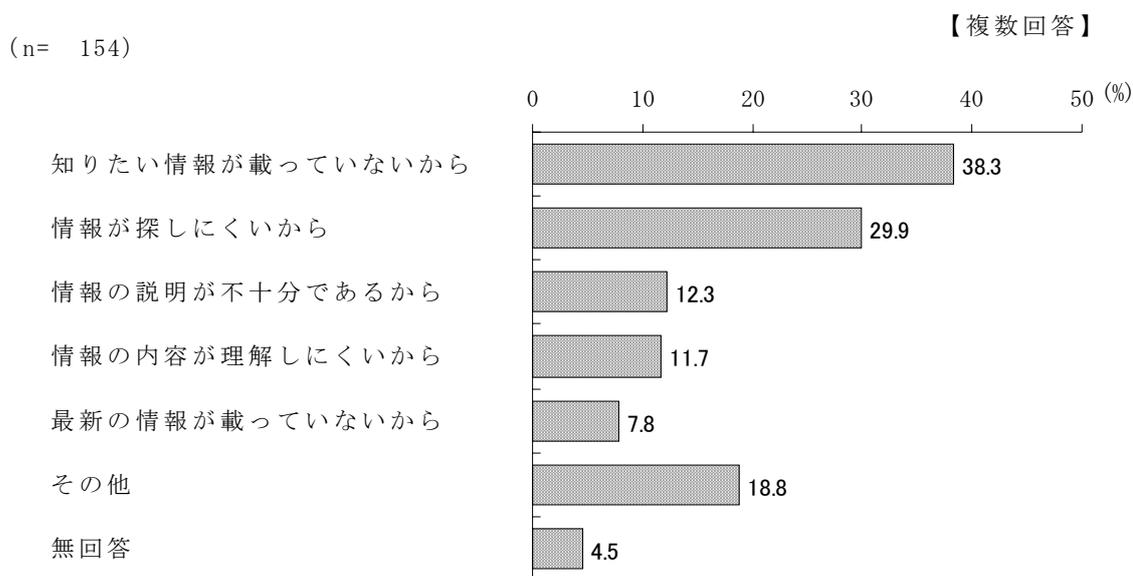
6. 「磯子区ホームページ」が役に立たない理由

「知りたい情報が載っていないから」が38.3%で最も高い。

(問8-1で「3」「4」「5」と回答した方に)

問8-1-1 あなたが、「磯子区ホームページ」が区政情報の入手に役に立っていない、または、どちらともいえないと思う理由は何ですか。

図5-6-1



「磯子区ホームページ」が区政情報の入手に役に立っていないもしくは、どちらともいえない理由は、「知りたい情報が載っていないから」が38.3%で最も高く、「情報が探しにくいから」(29.9%)が約3割で続いている。「その他」には、「「広報よこはま磯子区版」があるから」や「特に必要としていない」などの記入があった。(図5-6-1)

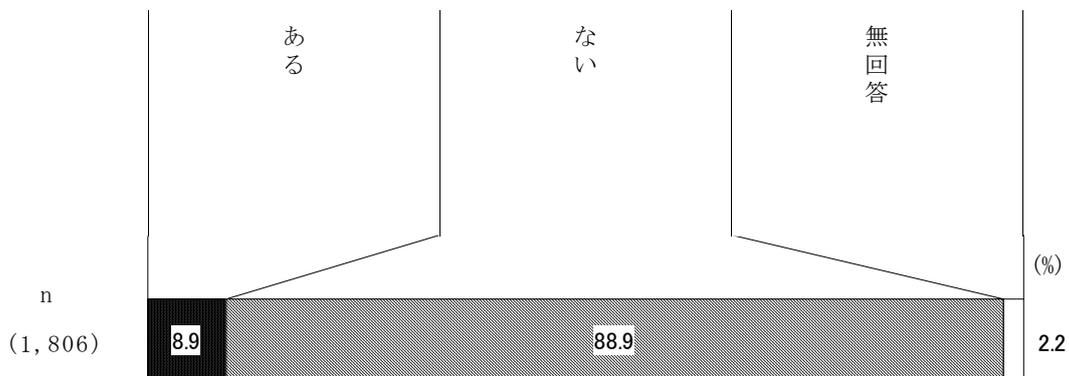
6. 広聴事業について

1. 区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験

「ない」が約9割を占める。

問9 あなたは、区役所や市役所にあなたの意見・要望・提案を伝えたことがありますか。

図6-1-1

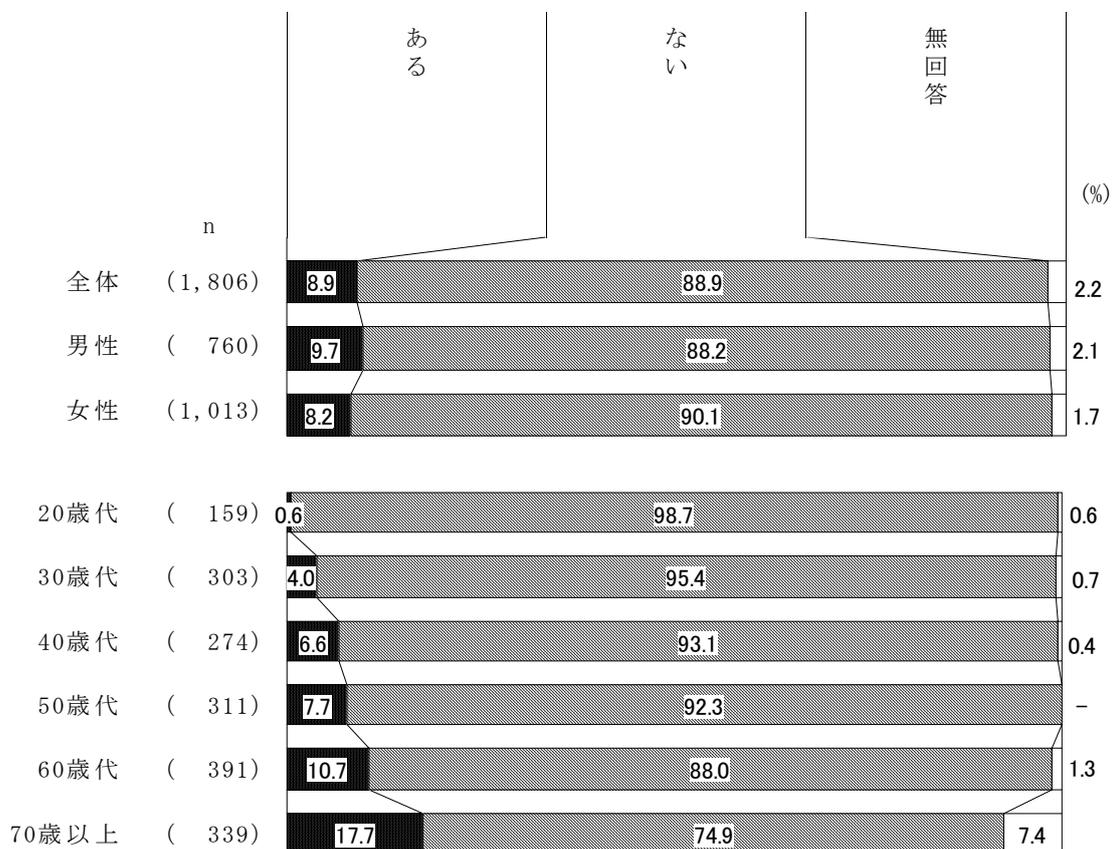


区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験は、「ある」が8.9%と約1割にとどまり、「ない」(88.9%)が約9割を占めている。(図6-1-1)

【性別・年齢別 区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験】

性別・年齢別にみると、「ある」は、年齢が上がるにつれて高くなっており、70歳以上（17.7%）では1割台後半となっている。（6-1-2）

図6-1-2 性別・年齢別 区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えた経験



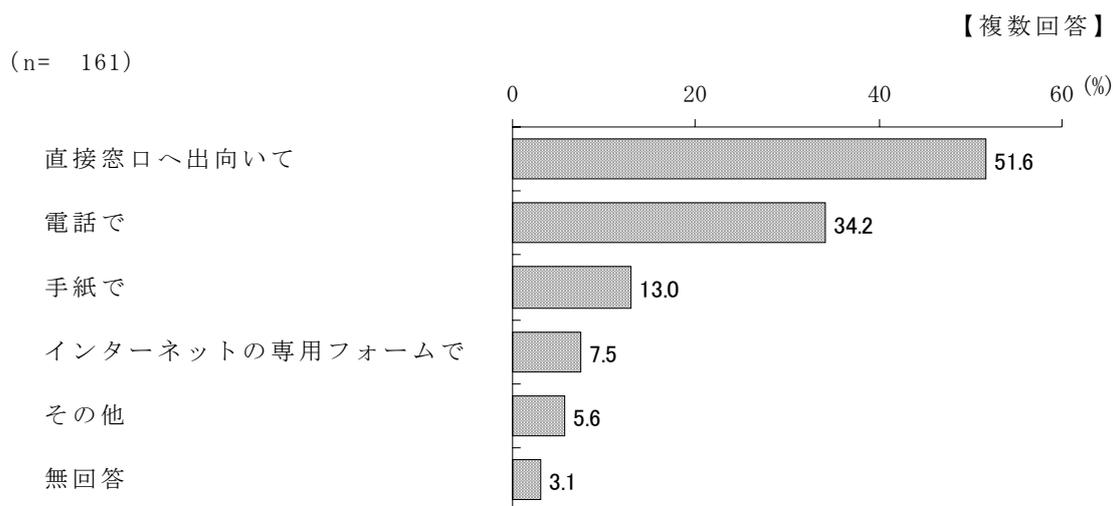
2. 意見・要望・提案の伝達手段

「直接窓口へ出向いて」が半数を超える。

(問9で「1」と回答した方に)

問9-1 どのような手段で伝えましたか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図6-2-1



意見・要望・提案の伝達手段は、「直接窓口へ出向いて」が51.6%で半数を超えて最も高く、「電話で」(34.2%)が3割台が続いている。(図6-2-1)

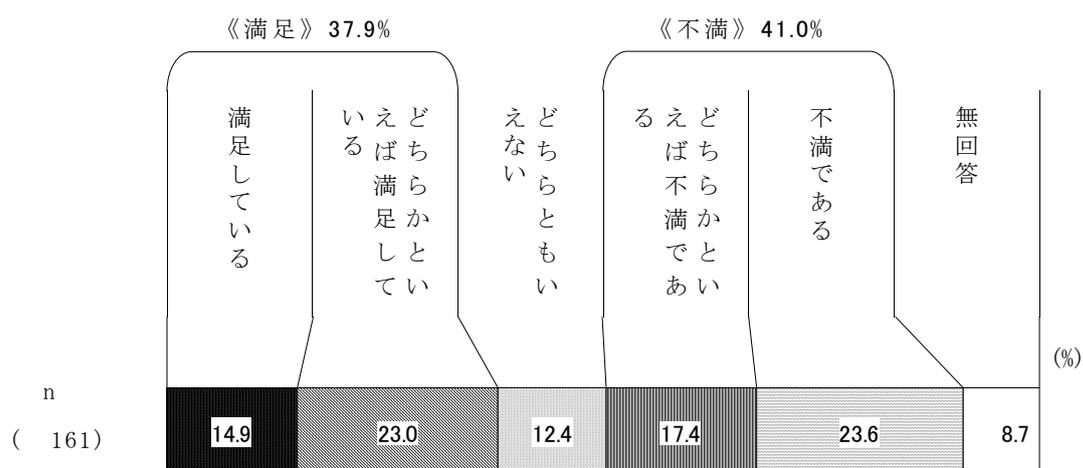
3. 意見・要望・提案を伝達した結果の満足度

《満足》と《不満》が並ぶ。

(問9で「1」と回答した方に)

問9-2 意見・要望・提案を伝えた結果、区役所や市役所の対応に満足しましたか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図6-3-1



意見・要望・提案を伝達した結果の満足度は、「満足している」(14.9%)と「どちらかといえば満足している」(23.0%)を合わせた《満足》は37.9%となっており、「不満である」(23.6%)と「どちらかといえば不満である」(17.4%)を合わせた《不満》(41.0%)と並んでいる。「どちらともいえない」は12.4%であった。(図6-3-1)

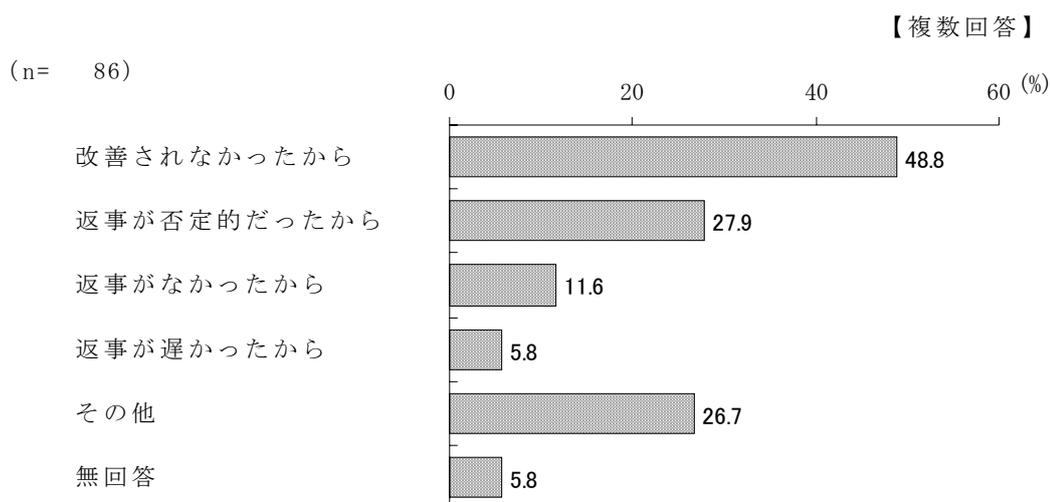
4. 意見・要望・提案を伝達した結果に不満な理由

「改善されなかったから」が約半数。

(問9-2で「3」「4」「5」と回答した方に)

問9-2-1 不満を感じた、または、どちらともいえない理由は何ですか。
あてはまるものをいくつでもお選びください。

図6-4-1



意見・要望・提案を伝達した結果に不満な理由は、「改善されなかったから」が48.8%と約半数で最も高く、「返事が否定的だったから」(27.9%)が2割台後半で続いている。「その他」には、「職員の態度が悪かったから」や「各課にたらい回しにされたから」などの記入があった。広聴制度において、制度上行政が実施するのは困難なことを要求されるケースが多いこともこれらの理由が挙がる要素として考えられる。(図6-4-1)

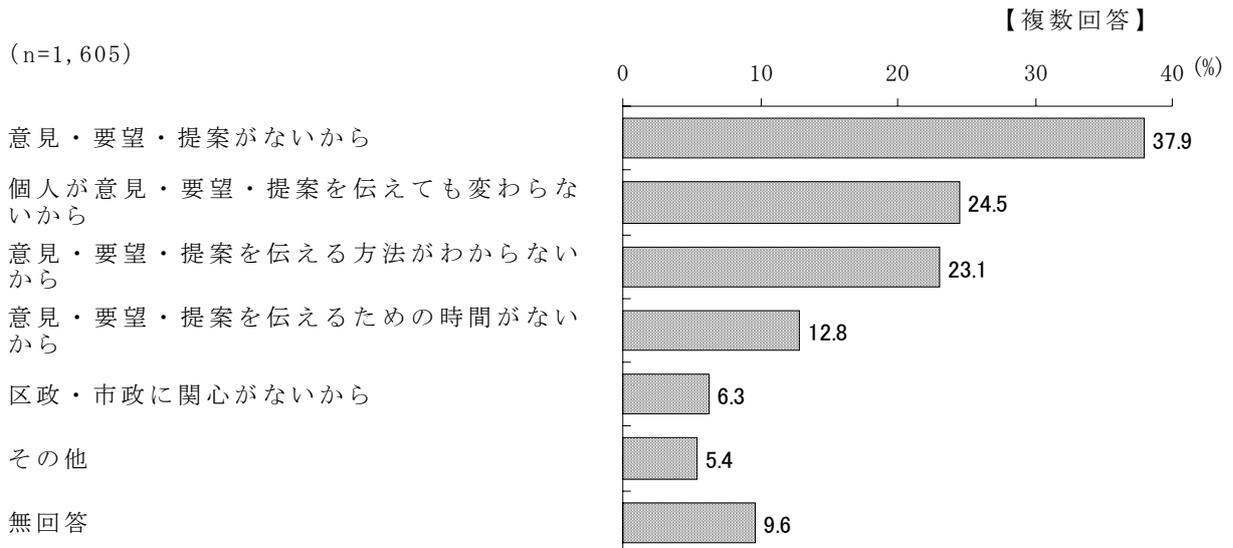
5. 意見・要望・提案を伝えない理由

「意見・要望・提案がないから」が37.9%で最も高い。

(問9で「2」と回答した方に)

問9-3 あなたが意見・要望・提案を伝えない理由は何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図6-5-1

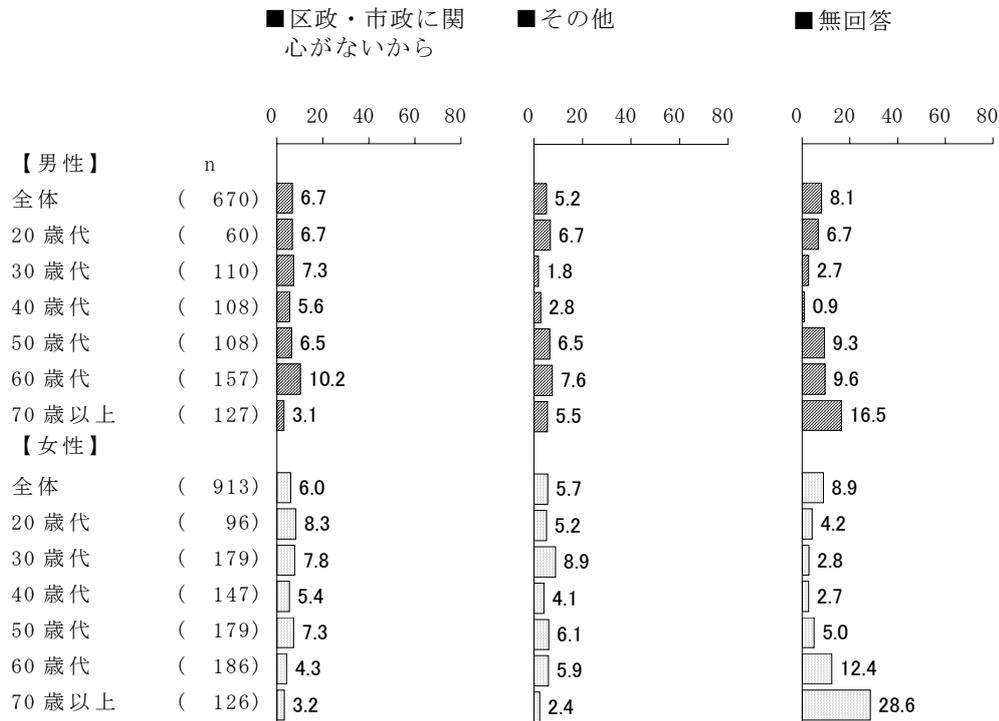
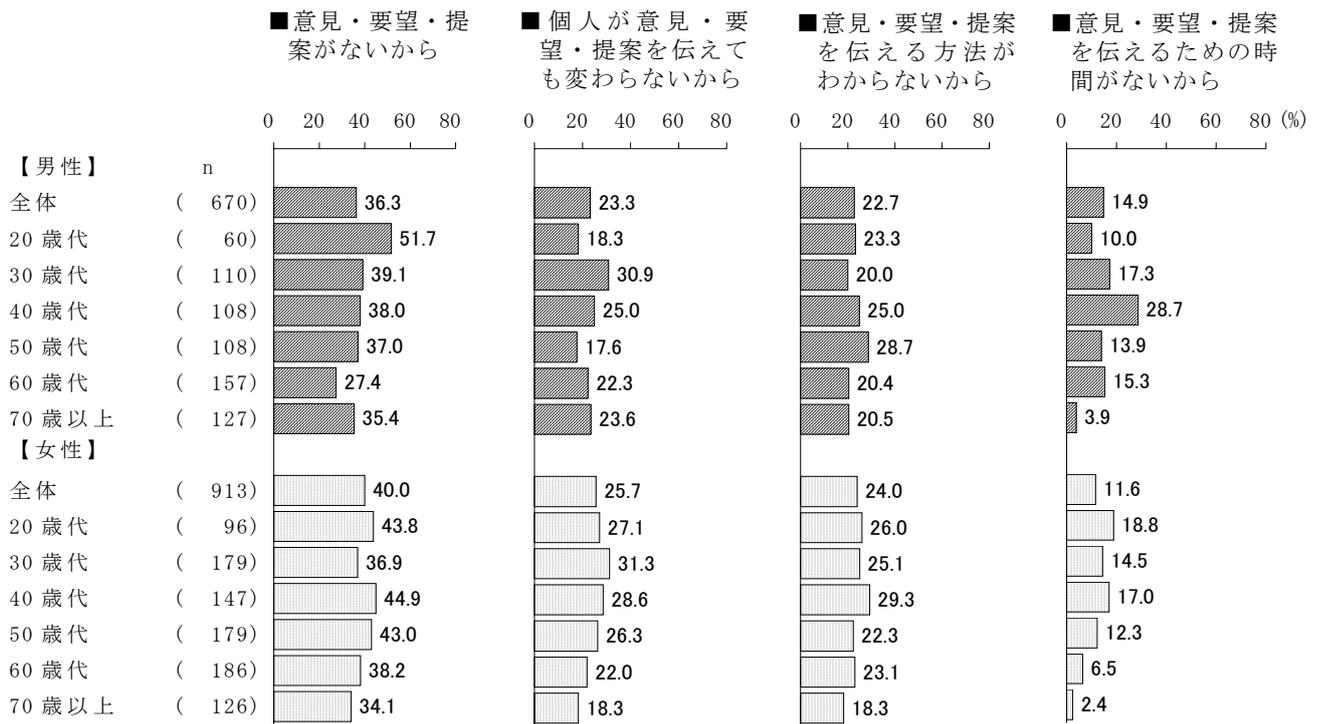


区役所や市役所に意見・要望・提案を伝えない理由は、「意見・要望・提案がないから」が37.9%で最も高く、「個人が意見・要望・提案を伝えても変わらないから」(24.5%)、「意見・要望・提案を伝える方法がわからないから」(23.1%)が2割台で続いている。(図6-5-1)

【性・年齢別 意見・要望・提案を伝えない理由】

性・年齢別にみると、「意見・要望・提案がないから」は、全ての年齢層で最も高く、特に男性の20歳代では51.7%と半数を超えて特に高くなっている。「個人が意見・要望・提案を伝えても変わらないから」では、男女とも30歳代が3割を超え、「意見・要望・提案を伝える方法がわからないから」では、男性の50歳代と女性の40歳代が約3割で、「意見・要望・提案を伝えるための時間がないから」は、男性の40歳代(28.7%)が、それぞれ他の年齢層と比較して高くなっている。(図6-5-2)

図 6-5-2 性・年齢別 意見・要望・提案を伝えない理由



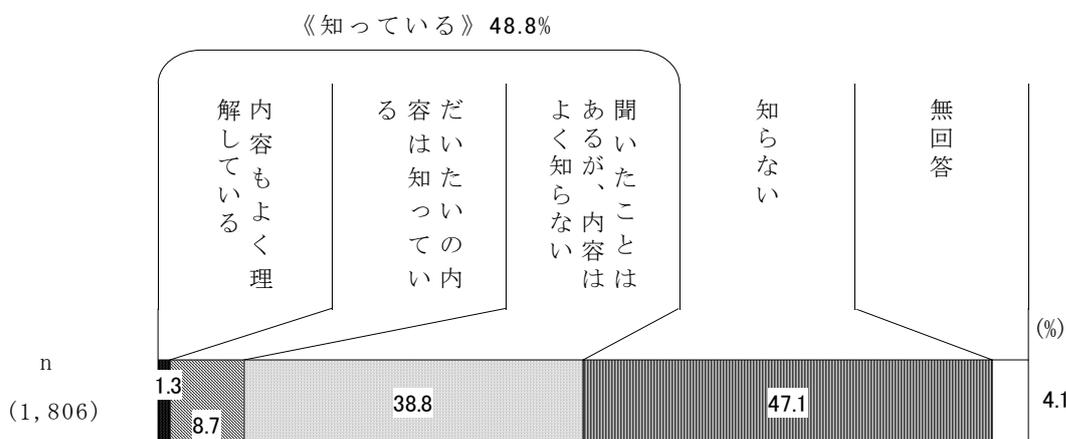
7. 区政の現状について

1. 磯子区制 80 周年記念事業の認知度

「知らない」が47.1%で最も高い。

問10 磯子区は平成19年10月1日に80周年を迎え、磯子区制80周年記念事業実行委員会や区民が主体となった様々な記念事業の実施が予定されています。あなたは、この事業を知っていますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図 7 - 1 - 1

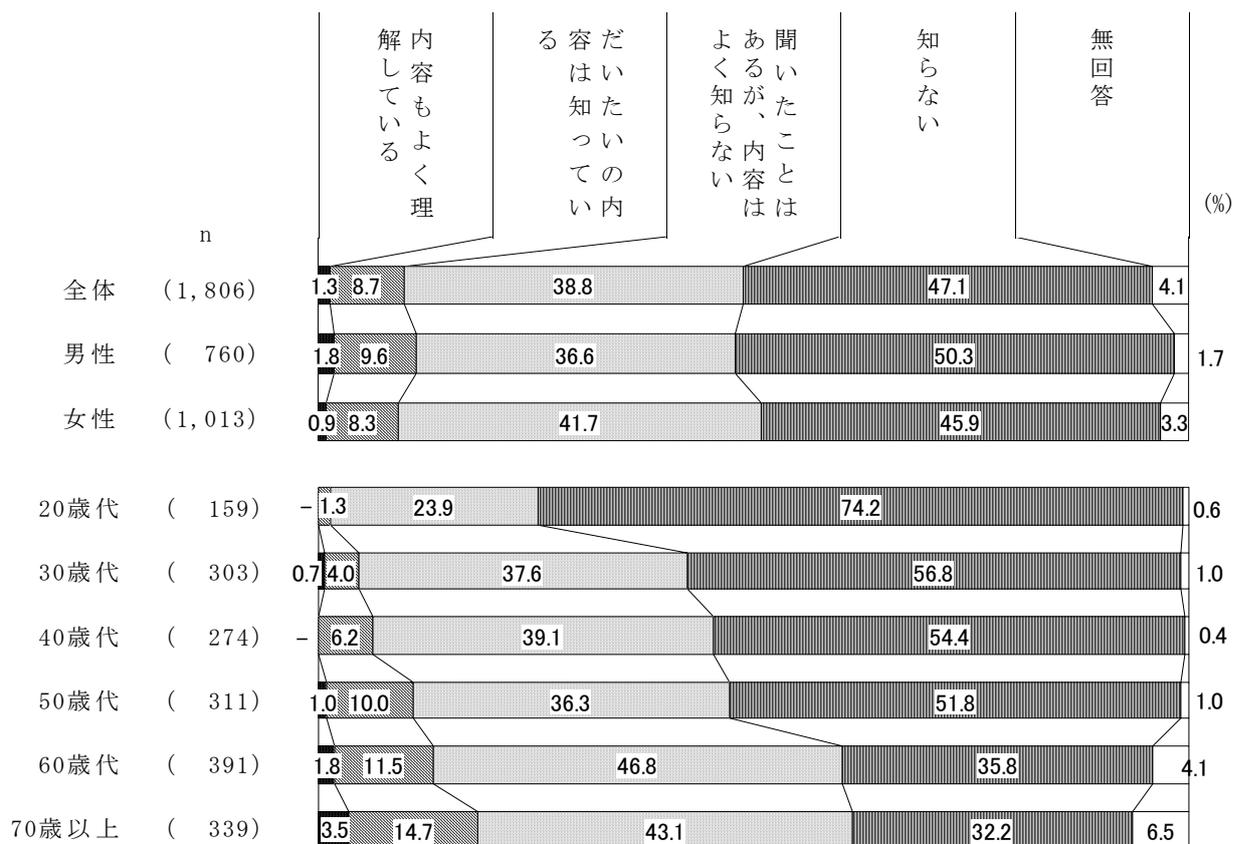


磯子区制80周年記念事業の認知度は、「内容もよく理解している」(1.3%)と「だいたいの内容は知っている」(8.7%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(38.8%)を合わせた《知っている》は、48.8%で約半数となっている。「知らない」は、47.1%で最も高くなっている。(図 7 - 1 - 1)

【性別・年齢別 磯子区政80周年事業の認知度】

20歳代から50歳代では、「知らない」が半数を超え、特に20歳代では、7割を超えて特に高くなっている。60歳代以上では、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が4割台で最も高くなっている。《知っている》は、年齢が上がるにつれて高くなっており、60歳代以上で6割を超えている。(図 7 - 1 - 2)

図 7-1-2 性別・年齢別 区政 80 周年記念事業の認知度

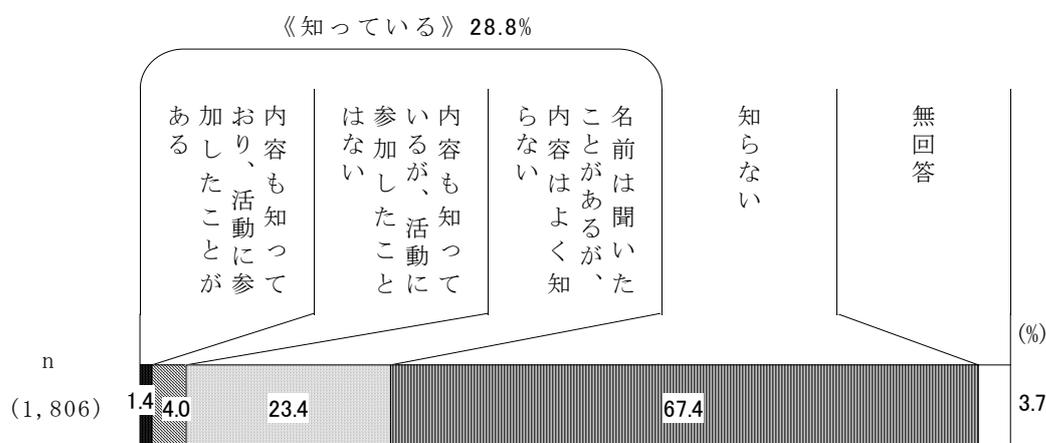


2. 地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度

「知らない」が67.4%で特に高い。

問11 磯子区では、誰もが幸せに暮らせるまちを目指し、地域の福祉や保健を中心とする生活課題に区民が主体的に取り組む計画「スイッチON磯子」を平成18年3月に策定し、推進しています。あなたは、この計画を知っていますか、また活動に参加していますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

図7-2-1



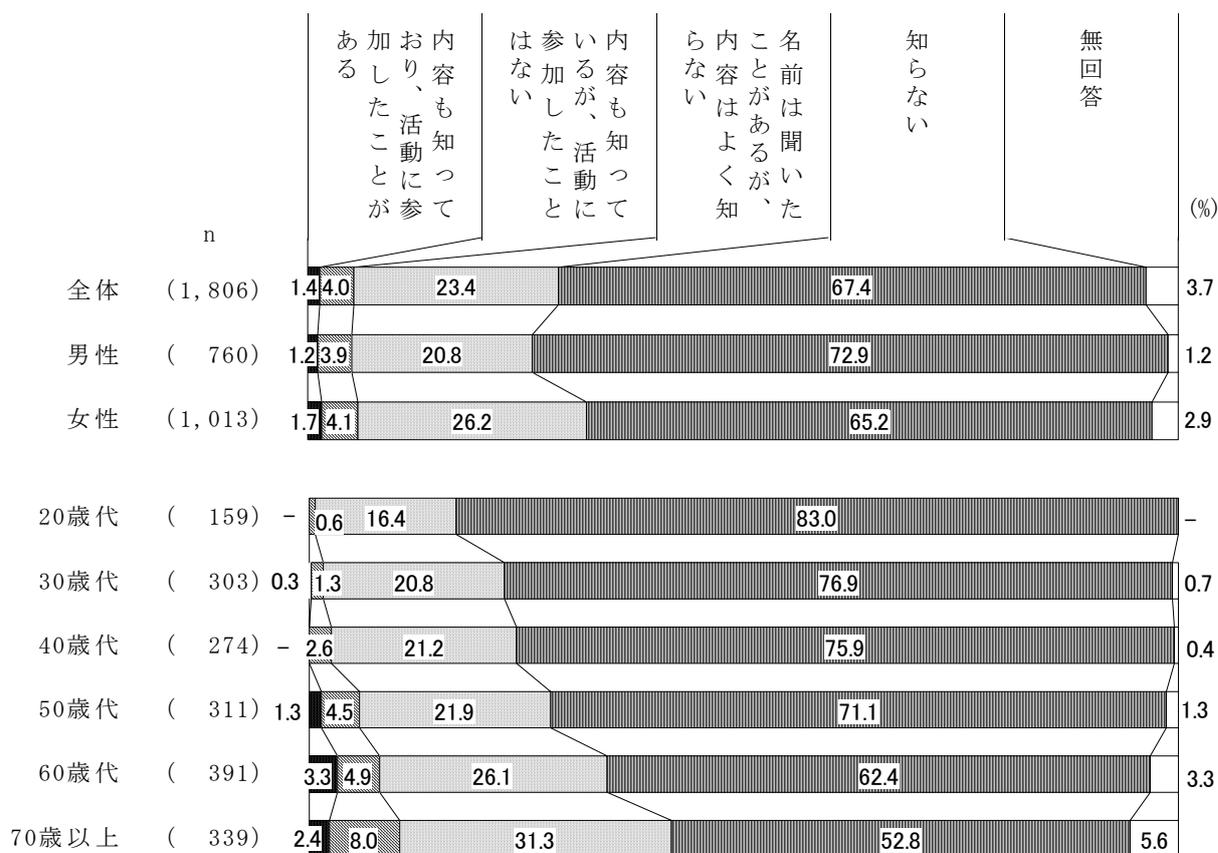
地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度は、「内容も知っており、活動に参加したことがある」（1.4%）と「内容も知っているが、活動に参加したことはない」（4.0%）、「名前を聞いたことがあるが、内容はよく知らない」（23.4%）を合わせた《知っている》は28.8%と約3割にとどまっている。一方、「知らない」は、67.4%と6割を超えている。（図7-2-1）

【性別・年齢別 地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度】

性別にみると、男女とも「知らない」が6割を超えて特に高く、男性の方が女性より、7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、どの年齢層においても「知らない」が半数を超え、かつ年齢が下がるにつれて高くなり、20歳代（83.0%）では8割を超えている。「名前を聞いたことはあるが、内容はよく知らない」は、年齢が上がるにつれて高くなっており、70歳以上（31.3%）では3割台となっている。《知っている》は、年齢が上がるにつれて高く、70歳以上で41.7%となっている。（図7-2-2）

図 7-2-2 性別・年齢別
地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度



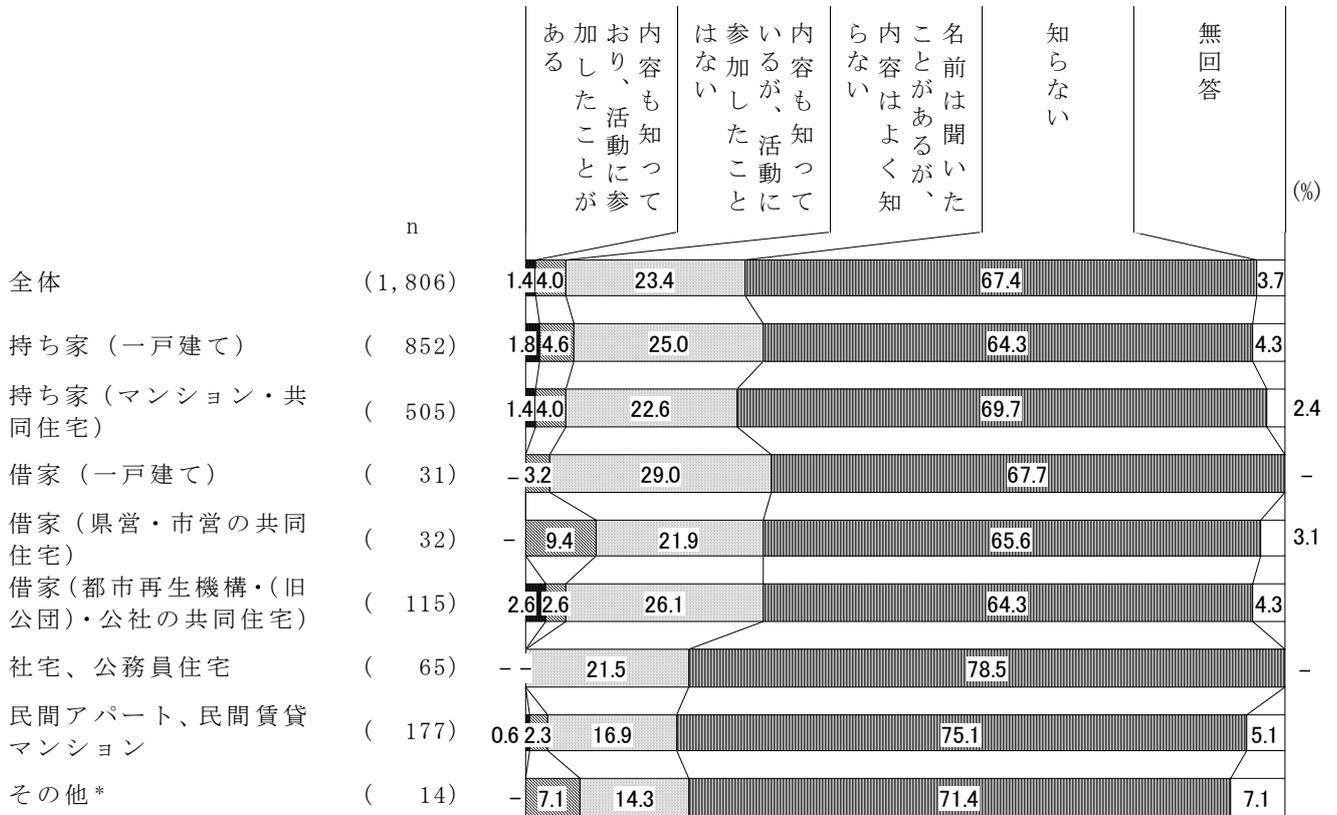
【住居形態別 地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度】

住居形態別にみると、全ての住居形態で「知らない」が6割を超えて高く、特に『社宅、公務員住宅』（78.5%）と『民間アパート、民間賃貸マンション』（75.1%）では7割を超えている。「内容も知っているが、活動に参加したことはない」は、『借家（県営・市営の共同住宅）』（9.4%）が約1割で他の住居形態と比較して高くなっている。（図7-2-3）

【自治会・町内会の参加状況別 地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度】

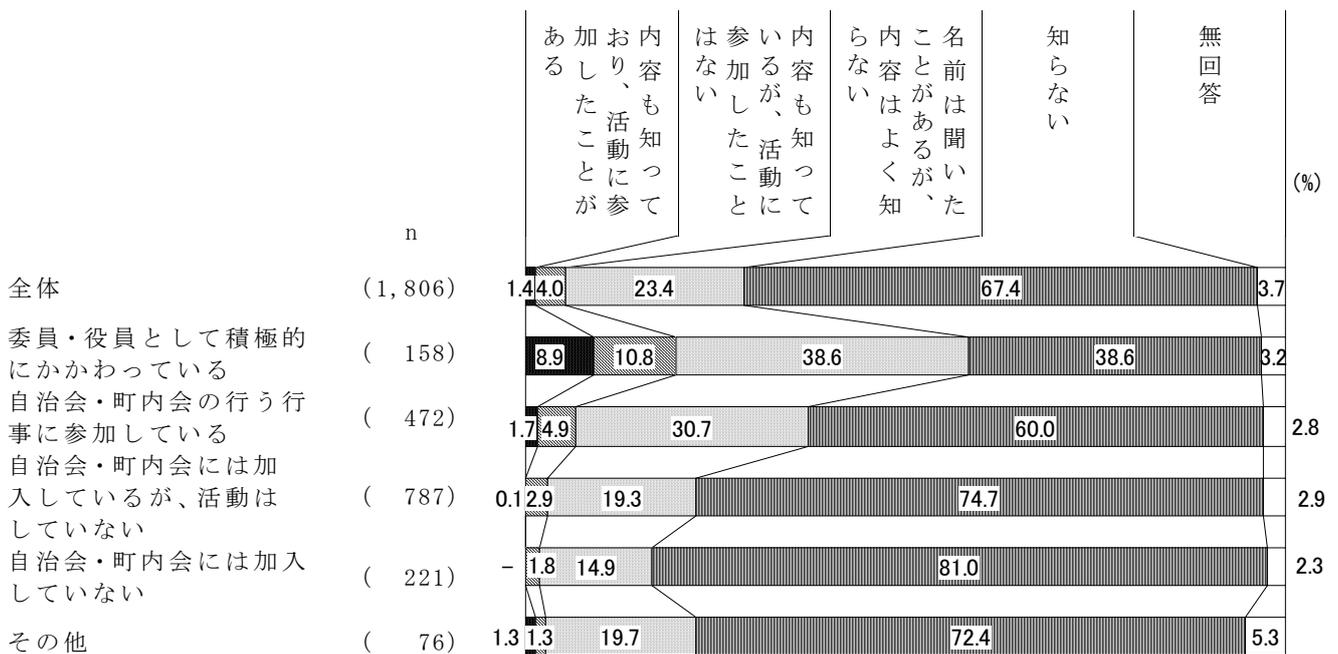
自治会・町内会の参加状況別にみると、『委員・役員として積極的にかかわっている』で「名前が聞いたことがあるが、内容はよく知らない」と「知らない」が38.6%で並んでいるほかは、「知らない」が半数を超えて高く、『自治会・町内会には加入していない』（81.0%）では8割を超えている。《知っている》は、自治会・町内会への関わりが多くなるほど高くなっており、最も高い『委員・役員として積極的にかかわっている』（58.2%）で約6割となっている。（図7-2-4）

図 7-2-3 住居形態別
地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度



*「その他」は基数が少ないため、本文中では言及していない。

図 7-2-4 自治会・町内会の参加状況別
地域保健福祉計画「スイッチON磯子」の認知度・参加度



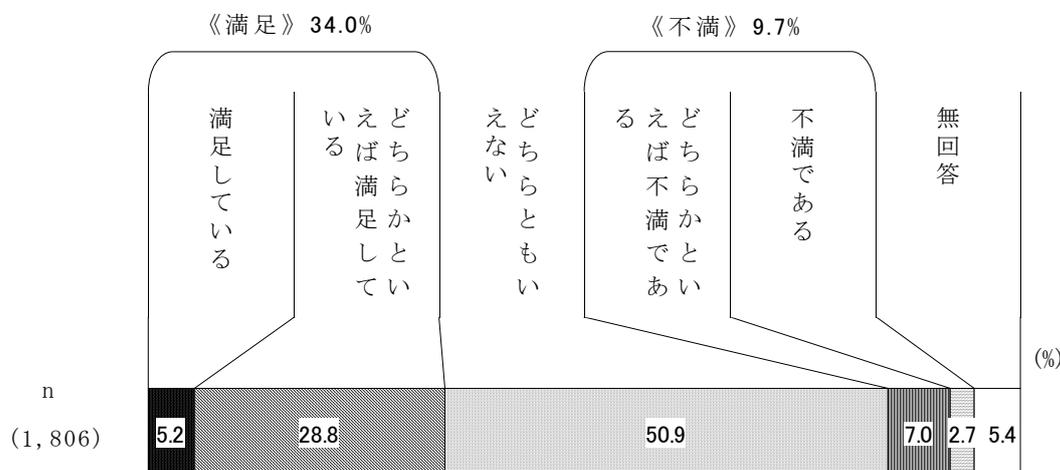
8. 区政全般への満足度について

1. 区政全般への満足度

《満足》は34.0%。

問12 磯子区役所の取り組み全体についてのあなたの満足度はどのくらいですか。別紙の「平成18年度 磯子区区政運営方針 期末振り返り」を参考に、あてはまるものを1つだけお選びください。

図8-1-1

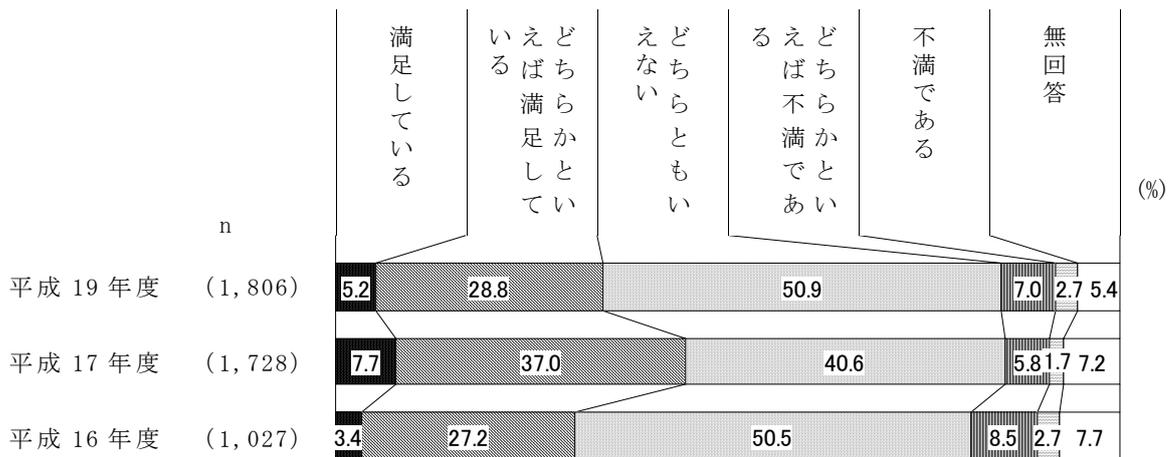


区政全般への満足度は、「満足している」(5.2%)と「どちらかといえば満足している」(28.8%)を合わせた《満足》は34.0%と3割台となっている。「不満である」(2.7%)と「どちらかといえば不満である」(7.0%)を合わせた《不満》は、9.7%と約1割となっている。なお、「どちらともいえない」(50.9%)が半数を占めている。(図8-1-1)

【経年比較 区政全般への満足度】

平成16年度と平成17年度の結果と比較すると、平成17年度よりも「どちらかといえば満足している」が8.2ポイント減少しているが、平成16年度も合わせた3回で比較すると特に大きな変化はない。(図8-1-2)

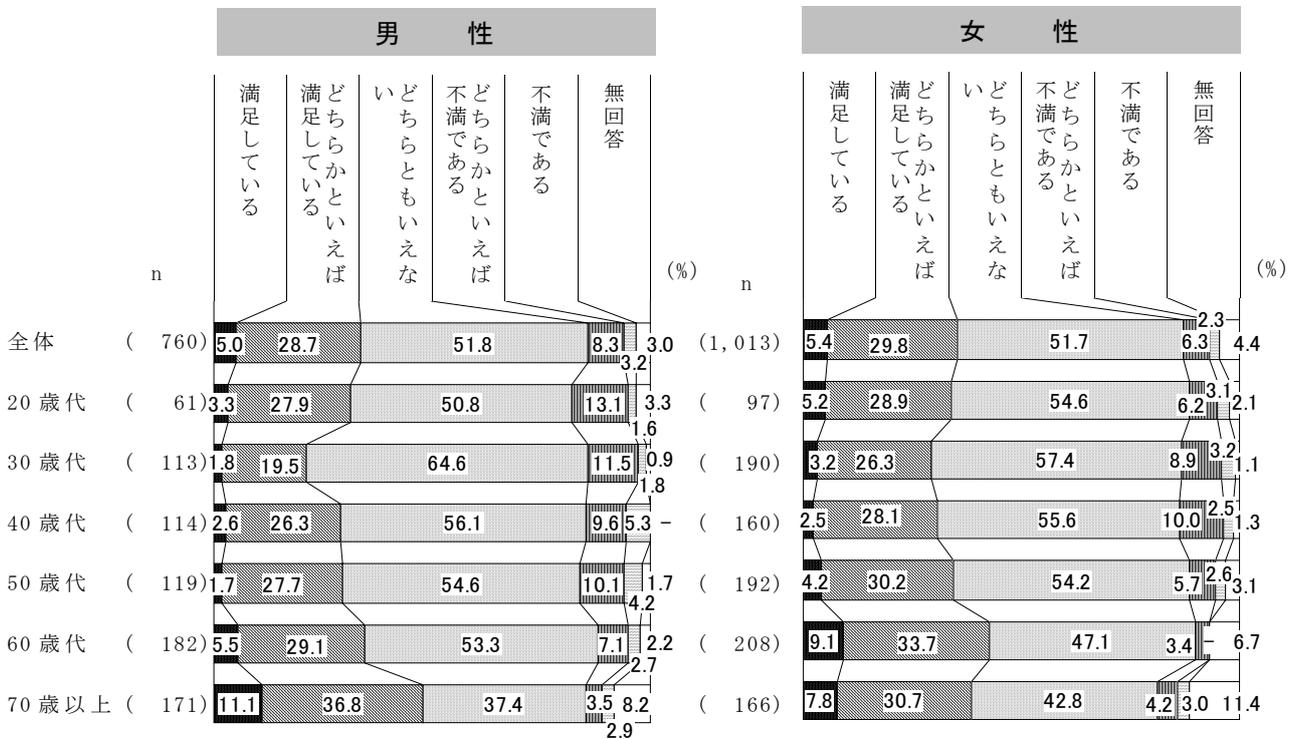
図 8 - 1 - 2 経年比較 区政全般への満足度



【性・年齢別 区政全般への満足度】

性・年齢別にみると、男性では、年齢が上がるにつれて満足度も高くなる傾向があり、70歳以上では《満足》が47.9%となっている。（図 8 - 1 - 3）

図 8 - 1 - 3 性・年齢別 区政全般への満足度



【居住地域別 区政全般への満足度】

地域別にみると、《満足》は、『根岸地域』（41.3%）と『洋光台地域』（39.2%）、『上笹下地域』（37.4%）が4割前後で他の地域と比較して高くなっている。（図8-1-4）

【自治会・町内会の参加状況別 区政全般への満足度】

自治会・町内会の参加状況別区政全般への満足度をみると、《満足》は自治会・町内会への関わりが多くなるほど高くなっており、『委員・役員として積極的に関わっている』では41.1%となっている。（図8-1-5）

【「広報よこはま磯子区版」の閲読状況別 区政全般への満足度】

「広報よこはま磯子区版」の閲読状況別にみると、《満足》は閲読度が高まるほど高くなっており、『よく読んでいる』では、42.9%となっている。一方で『まったく読んでいない』では「どちらともいえない」（63.2%）が6割を超えている。（図8-1-6）

図8-1-4 居住地域別 区政全般への満足度

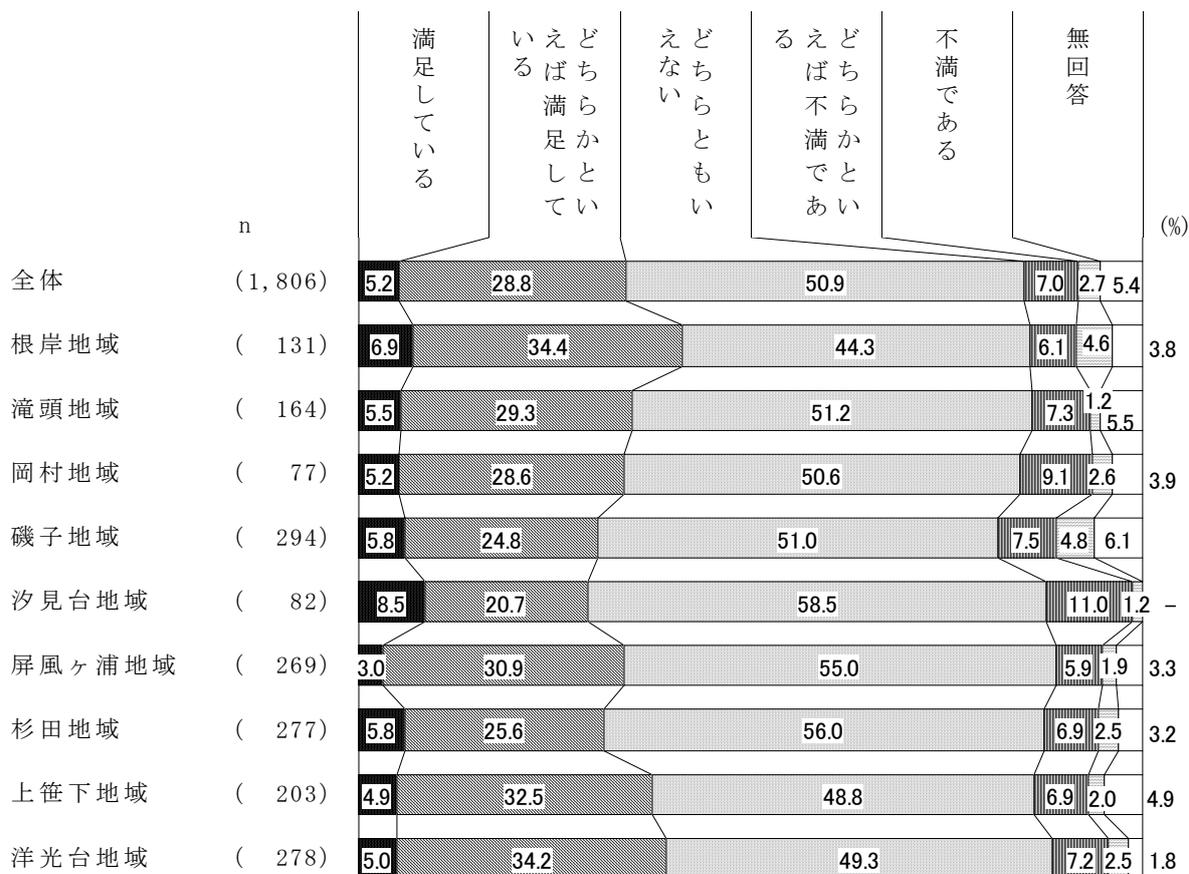


図 8 - 1 - 5 自治会町内会の参加状況別 区政全般への満足度

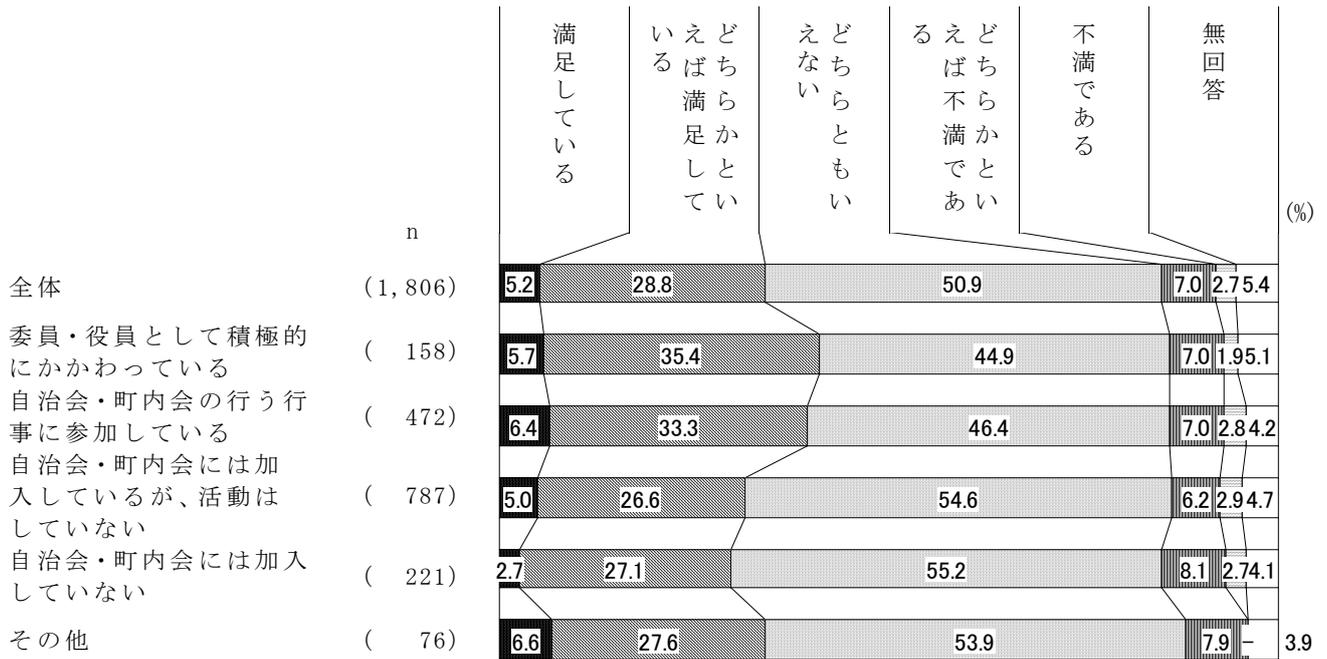
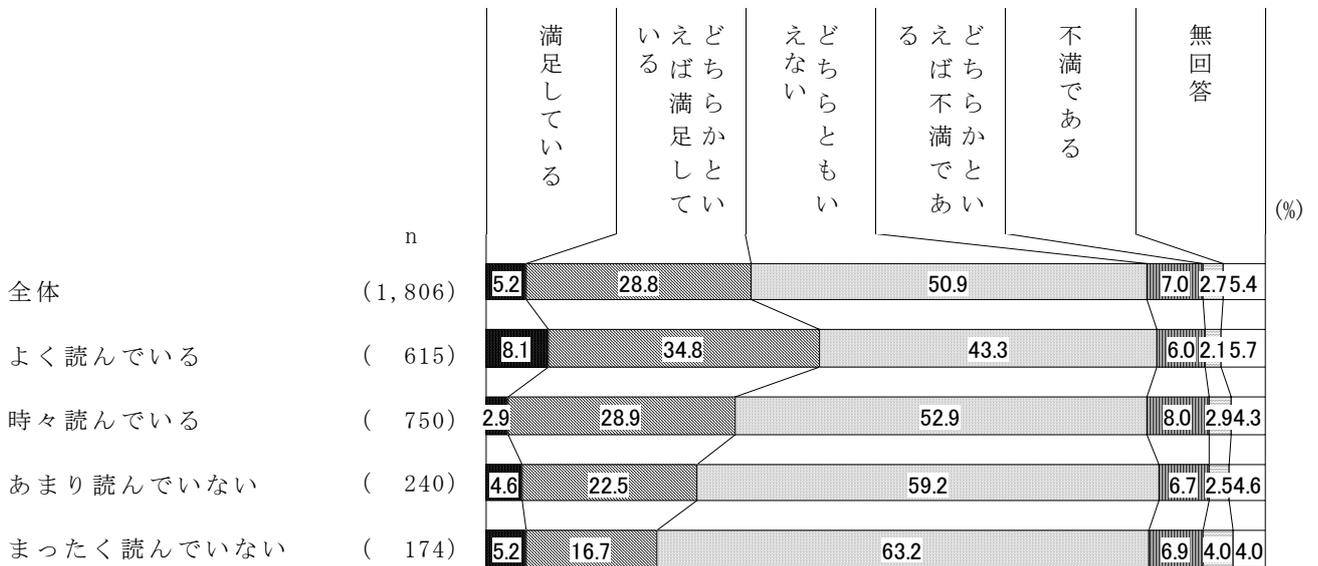


図 8 - 1 - 6 広報よこはま磯子区版の閲読状況別 区政全般への満足度

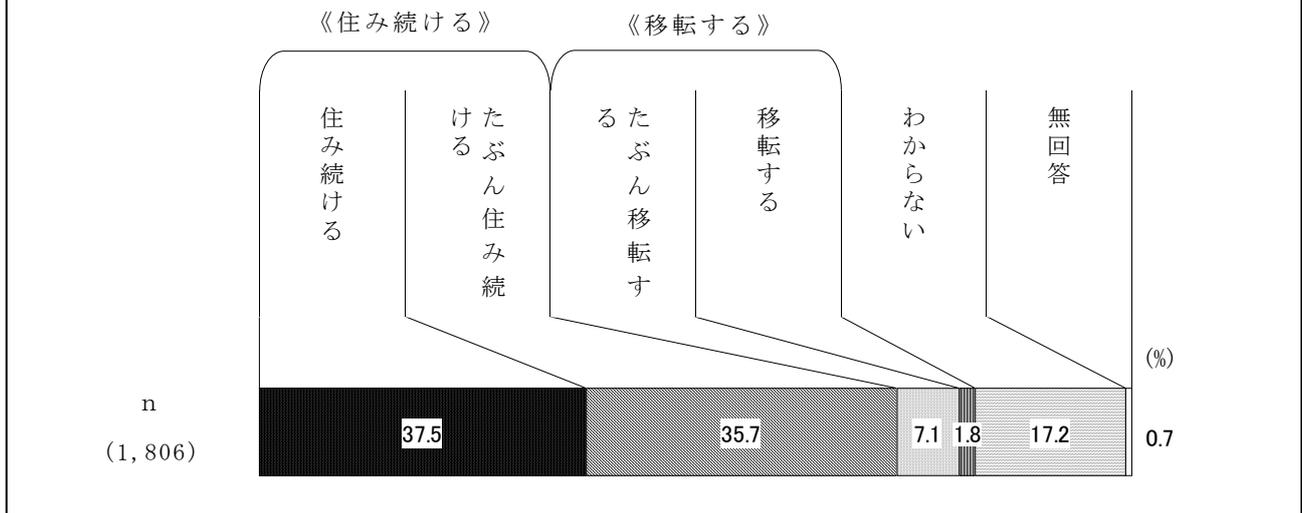


2. 定住意向（再掲）

《住み続ける》が7割を超える。

F7 あなたはこれからもずっと磯子区に住み続けたいですか。

図8-2-1

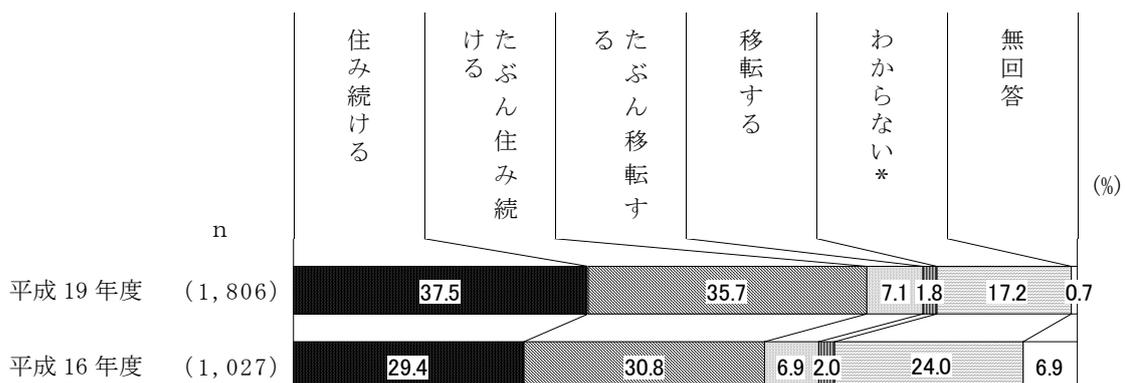


定住意向は、「住み続ける」（37.5%）と「たぶん住み続ける」（35.7%）が並んで高く、2つを合わせた《住み続ける》が73.2%と7割を超えている。一方、「移転する」（1.8%）と「たぶん移転する」（7.1%）を合わせた《移転する》は、8.9%と約1割となっている。なお、「わからない」は、17.2%であった。（図8-2-1）

【経年比較 定住意向】

選択肢に多少違いがあるが、平成16年度の結果と比較すると、「住み続ける」は8.1ポイント、「たぶん住み続ける」は4.9ポイントとそれぞれ増加している。（図8-2-2）

図8-2-2 経年比較 定住意向



*平成16年度は「どちらともいえない」であった。

【性別・年齢別 定住意向】

性・年齢別にみると、「住み続ける」は、男女とも年齢が上がるにつれて高くなっており、男女とも70歳以上では6割を超えている。また、「多分住み続ける」は、男女とも40歳代から50歳代が他の年齢層と比較して高くなっている。「わからない」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向があり、特に男性の20歳代では47.5%となっている。（図8-2-3）

【居住地域別 定住意向】

居住地域別にみると、「住み続ける」は、根岸地域(43.5%)と屏風ヶ浦地域(43.1%)で他の地域と比較して高くなっている。一方、「移転する」は、汐見台地域(24.4%)で2割を超えて高くなっている。（図8-2-4）

【区政全般への満足度別 定住意向】

区政全般への満足度別の定住意向は、満足度が高いほど定住意向も高い傾向があり、「住み続ける」は、『満足している』で67.0%となっている。一方、「移転する」は、満足度が低いほど高く、『不満である』では16.7%となっている。（図8-2-5）

図8-2-3 性・年齢別 定住意向

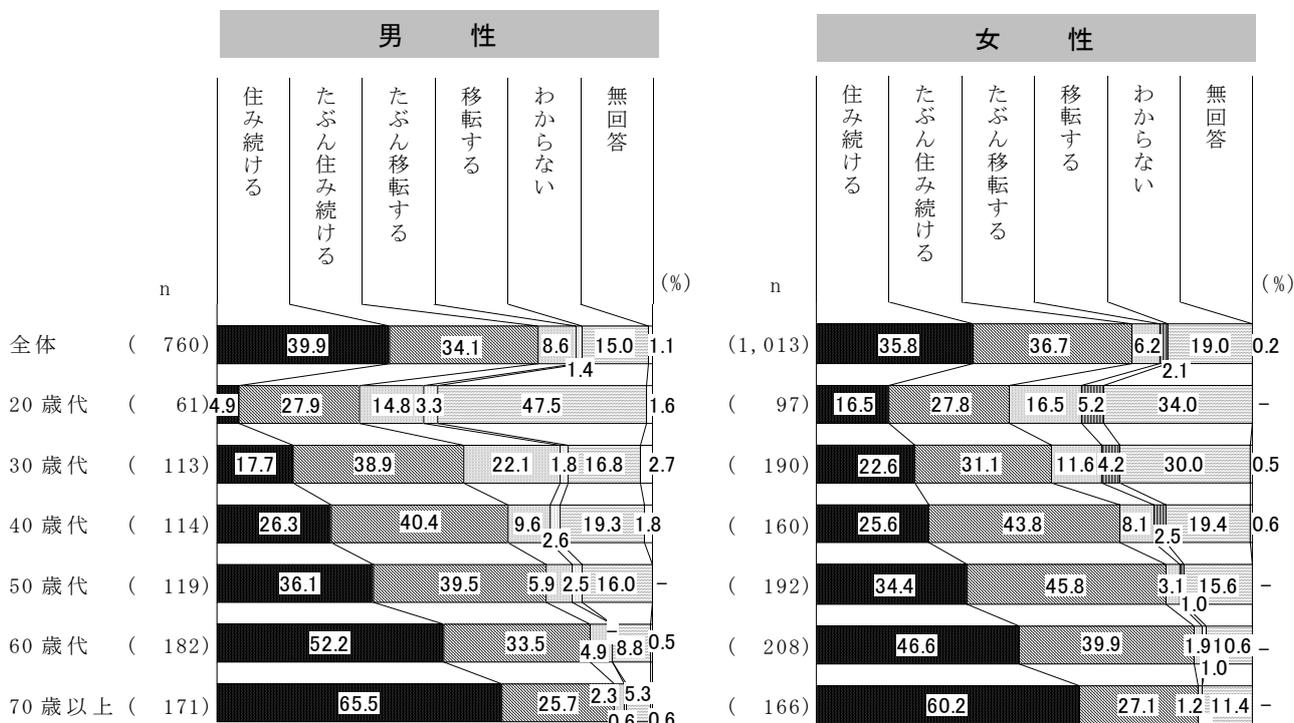


図 8 - 2 - 4 居住地域別 定住意向

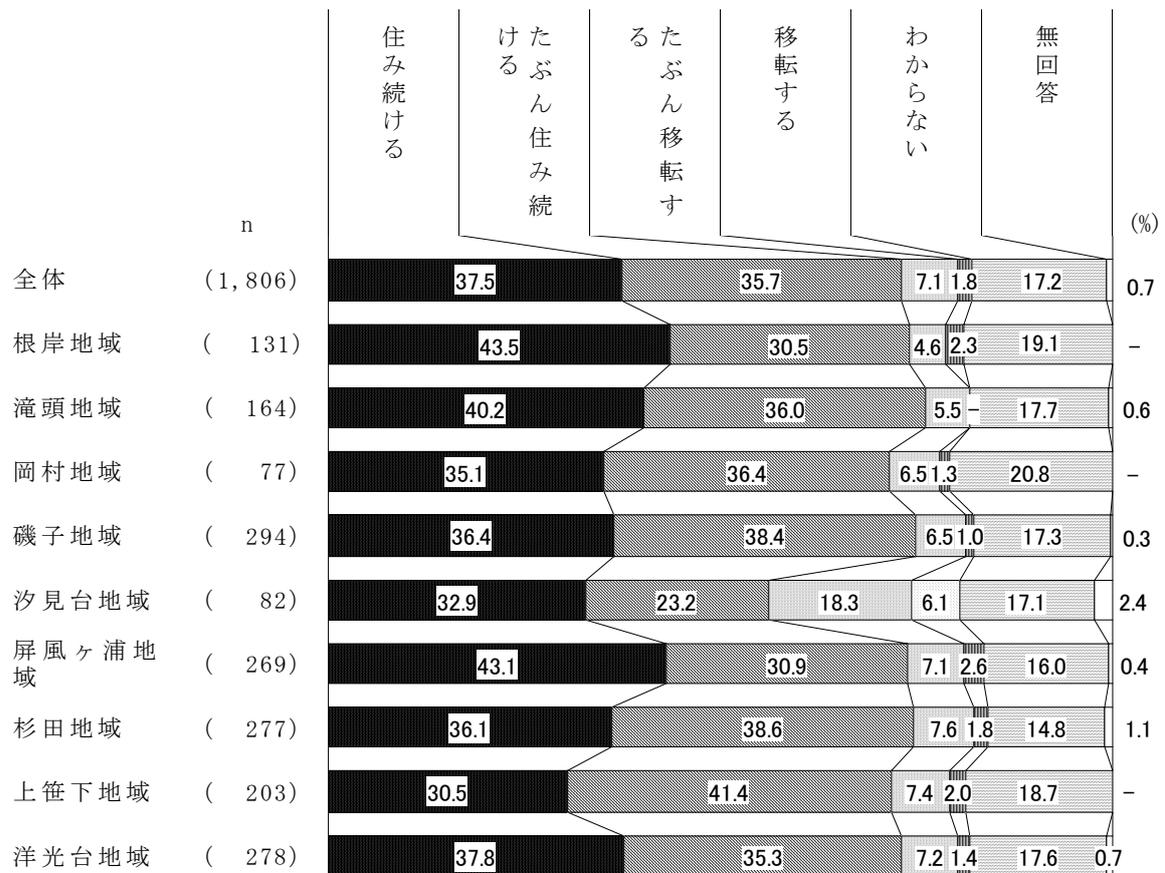
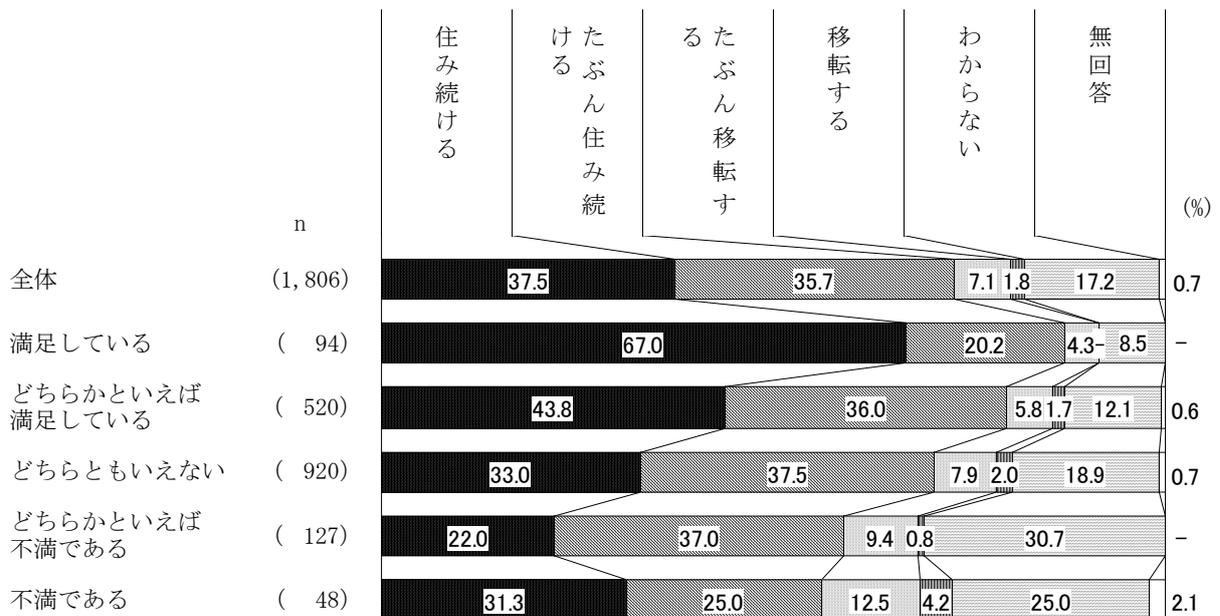


図 8 - 2 - 5 区政全般への満足度別 定住意向



9. 自由意見

区政運営について聞いたところ、643人の方から1,002件の回答があった。なお、1人で複数の内容を回答している場合には、各項目に分けてカウントしている。

横浜市の広聴情報データベースシステムの分類表に従って分類すると、最も意見が多かったのは「16. 交通・道路」について（189件）で、「21. 職員（教職員を除く）」について（91件）、「19. 都市経営・運営」について（88件）の順となっている。

1. 「子育て」について	56 件
・ 保育園について	23 件
・ 子育て支援について	12 件
・ 子育て助成・給付	11 件
・ 児童相談・保護について	5 件
・ 母子保健について	2 件
・ 幼稚園について	2 件
・ 放課後児童育成について	1 件

2. 「教育」について	20 件
・ 教育内容について	17 件
・ 通学について	2 件
・ 教職員について	1 件

3. 「福祉」について	48 件
・ 高齢者福祉について	30 件
・ 障害者福祉について	11 件
・ バリアフリーの推進について	5 件
・ 生活保護・援護対策について	1 件
・ 福祉相談体制について	1 件

4. 「保健・衛生・医療」について	17 件
・ 医療について	16 件
・ 保健について	1 件

5.「ごみ・リサイクル」について	65 件
・ごみ収集について	32 件
・減量・リサイクルについて	17 件
・まちの美化について	16 件

6.「公害・環境保全・緑」について	51 件
・緑地保全・緑化推進について	17 件
・環境汚染について	10 件
・環境保全対策について	10 件
・野生動物対策について	7 件
・騒音振動について	6 件
・その他の公害について	1 件

7.「戸籍・税金・保険年金」について	16 件
・税金について	12 件
・保険・年金について	3 件
・戸籍・登録について	1 件

8.「市民利用施設」について	98 件
・公園について	23 件
・図書館について	22 件
・公会堂・地区センターについて	15 件
・市・区庁舎について	15 件
・スポーツ施設について	11 件
・その他の市民利用施設について	7 件
・コミュニティハウスについて	2 件
・文化施設について	2 件
・動物園について	1 件

9.「文化・スポーツ」について	5 件
・文化について	4 件
・スポーツについて	1 件

10.「市民活動」について	38 件
・市民活動・生涯学習について	28 件
・自治会・町内会について	10 件

11.「人権・男女共同参画」について	1 件
12.「防犯・防災・消防」について	55 件
・ 防災・消防について	29 件
・ 防犯について	26 件
13.「観光・シティセールス」について	4 件
・ シティセールスについて	3 件
・ 観光について	1 件
14.「経済・産業」について	39 件
・ 産業振興について	35 件
・ 労働・雇用について	3 件
・ 消費生活について	1 件
15.「都市整備・開発と住宅」について	29 件
・ 土地利用について	17 件
・ 公的住宅について	6 件
・ 宅地造成・開発許可について	4 件
・ 住宅相談・助成について	1 件
・ 都市景観について	1 件
16.「交通・道路」について	189 件
・ 道路について	65 件
・ バスについて	46 件
・ 駐車・駐輪について	33 件
・ 鉄道について	19 件
・ 交通安全対策について	18 件
・ 総合交通対策について	8 件
17.「上下水道」について	4 件
・ 下水道について	3 件
・ 水道について	1 件

18.「港湾・河川」について	13 件
・ 河川について	12 件
・ 港湾について	1 件

19.「都市経営・運営」について	88 件
・ 計画・調査について	41 件
・ 行政改革・組織について	35 件
・ 財政について	8 件
・ 市有地について	2 件
・ 国際交流・国際協力について	1 件
・ 米軍施設について	1 件

20.「広報・広聴・市民相談」について	58 件
---------------------	------

21.「職員(教職員を除く)」について	91 件
・ 市民対応について	79 件
・ 人事について	9 件
・ 職員の不祥事について	1 件

22.「議会」について	1 件
-------------	-----

23.「選挙」について	4 件
-------------	-----

24.「その他」について	112 件
--------------	-------

磯子区民意識調査 報告書

発行日 平成19年12月

発行 磯子区 総務部 区政推進課

〒235-0016 横浜市磯子区磯子三丁目5番1号

 045 (750) 2331

FAX 045 (750) 2533